



2023(令和5)年度

沖縄県平和祈念資料館年報 第24号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激しい戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：2023（令和5）年度 第33回児童・生徒の平和メッセージ

図画部門：小学校（低）の部

最優秀賞：「せかい中のみんななかよし」

世界中のみんなが仲良くしてほしいと思ってかきました。

人間だけではなく動物たちも平和にいらしてほしいという気持ちでかきました。

図画／東村立高江小学校2年 もり 森 つぐみ

2023(令和5年度)

沖縄県平和祈念資料館年報 第24号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



はじめに

史上まれに見る苛烈を極めた沖縄戦から、79年目を迎え、戦争を知らない世代が増える中、沖縄の歴史的体験と、平和への教訓を、次の世代へ継承することが、大きな課題となっております。

このため、沖縄県平和祈念資料館では、開館以来、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に広く発信し、世界の恒久平和の実現に寄与するため、様々な取り組みを行ってまいりました。

令和5（2023）年度は、新たに、JICA 草の根技術協力事業「地雷対策を通した平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり」として、カンボジア地雷対策センターが運営する平和博物館建設への支援を開始しました。

30年前に紛争を終え、戦後も地雷や不発弾の被害に苦しめられてきたカンボジアでは、沖縄県と同様、特に若い世代において紛争の記憶や平和の重要性を語り継ぐことが、再び悲劇を繰り返さないための大きな課題であると聞いております。

これまでの沖縄県の平和発信のノウハウを活かし、カンボジアの平和博物館建設における、人材育成や展示などの技術協力を通して、沖縄県とカンボジアとの、国際協力・国際理解の場につなげ、アジア地域の平和のネットワーク構築に努めてまいりたいと考えております。

「第33回児童・生徒の平和メッセージ事業」においては、県内98校から2,243点の作品が寄せられ、図画・作文・詩の3部門から216点の優れた作品が選ばれました。児童・生徒の作品では、様々な地域で紛争が起こっている世界情勢への理解と、沖縄戦の悲惨さを通して「周りへの感謝の心」や「命と平和の尊さ」への気づき、「二度と戦争は繰り返さない」という強い決意が図画や文章を通して表現されており、各作品は、県内外へ広く発信されています。

また、アジアの戦争経験国の若者と、沖縄、広島、長崎の若者が一緒に学び、共通理解を通して、アジア・太平洋地域の安定と平和の構築を目指す、『『平和への思い』発信・交流・継承事業』のほか、令和4（2022）年度に収録した、「アメリカ世の記憶」として米国施政権下時代の証言映像（20名）の多言語編集・WEB公開を行いました。

特別企画展では、「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」をテーマに、地域の視点から沖縄戦を見つめ直すとともに、ギャラリー展においては、「体験者が描いた沖縄戦」を開催し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会としました。

子ども・プロセス企画展では、「沖縄が戦場になった日」、「チャレンジ！夏休み自由研究—沖縄戦について調べてみよう—」、「戦争と人びとの暮らし」など、子どもたちが理解しやすく、平和学習に興味・関心を持ってもらえるような企画を開催しました。

八重山平和祈念館における企画展では、「八重山の戦争」や「絵と絵本で語り継ぐ沖縄戦」をテーマに、八重山地域における戦時中の出来事に、子ども達に改めて向き合ってもらい、自分事として、我が身に置き換える「共感力」や、「危機感」を引き出せるよう工夫しました。

当館及び八重山平和祈念館は、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“学びの場”として、今後とも多くの皆さまに利活用して頂くことを願っています。

活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただければと思います。

令和6年9月

沖縄県平和祈念資料館
館長 前川 早由利

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概要

1 沿革	1
2 日誌(抄)2023(令和5)年度	6
3 施設	8
4 組織	11
5 2023(令和5)年度歳入歳出決算(本館及び分館)	17
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念部会	18
7 施設の改修等の状況	20

II 調査研究事業

1 第30回日本平和博物館会議	22
-----------------	----

III 展示企画事業

1 常設展	23
2 企画展	25
(1) 新収蔵品展(令和3年・令和4年度寄贈受け入れ資料)	25
(2) 第22回特別企画展「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」	26
(3) 子ども・プロセス企画展	28
(4) ギャラリー展	30

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	31
(1) 実物資料	31
(2) 購入図書資料	31
2 資料貸出実績	35
(1) 資料の貸出	35
(2) 証言映像の貸出	38
3 撮影・掲載等利用一覧	39

V 教育普及事業

1 教育普及事業	44
(1) 第33回「児童・生徒の平和メッセージ」事業	44
(2) 「こどもの日」(5月5日)ビデオ上映会	47
(3) 「慰霊の日」(6月23日)沖縄戦関連ビデオ上映会	47
(4) 夏休み子ども向け企画	47
2 教育機関等との連携	49
(1) 平和講話	49
(2) 離島・遠隔地講師派遣事業	49
(3) 児童・生徒の職場体験(インターンシップ)の受け入れ	49
(4) 沖縄少年院連携事業	50
(5) 大学連携事業	51
(6) 博物館学芸員実習の受け入れ	51
(7) 大人のための平和学習(入門編)	51

3	講座・講習会・研修会	52
(1)	県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会	52
(2)	島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修	52
(3)	県立学校初任者研修	52
(4)	養護教諭初任者研修	52
(5)	島尻教育事務所初任者研修	53
(6)	幼稚園・認定こども園初任者研修	53
(7)	那覇教育事務所 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修	53
(8)	学校栄養職員初任者研修	53
(9)	JICA 日系社会研修	54
(10)	JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」 〔対象国：インドネシア他14ヶ国〕	54
(11)	沖縄県平和祈念資料館講習会	54

VI 広報活動・出版等

	刊行物	55
--	-----	----

VII その他の事業

1	沖縄平和啓発プロモーション事業	56
2	「平和への思い」発信・交流・継承事業	57
3	カンボジア地雷対策センター (CMAC) 博物館支援事業	59

VIII 入館者状況

1	月別入館者数	62
2	年度別入館者数	63
3	月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況	64
4	市町村別団体入館者数	65
5	都道府県別団体入館者数	66
6	県内小・中・高校の地区別入館状況	67
7	県外修学旅行団地方別入館者割合	68
8	平和祈念資料館入館者数	69

IX 八重山平和祈念資料館

1	概要	70
2	施設	72
3	事業概要	74

X 沖縄県平和祈念資料館 友の会

1	活動紹介	78
2	申込方法	78
3	申込条件	78
4	講話・ガイド活動状況	78
5	活動内容	79

XI 関係条例・規則・要綱

1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	80
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施工規則	84
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要項	107
4	沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項	108
5	沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・放映・利用許可要項	122

XII 沖縄県平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

127

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972(昭和47)年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974(昭和49)年に鉄筋コンクリート2階建て(延床面積1,003㎡)の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975(昭和50)年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000(平成12)年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000(平成12)年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間 盛治	2000(平成12)年4月	2002(平成14)年3月
阿波根 昌安	2002(平成14)年4月	2003(平成15)年3月
島袋 記美子	2003(平成15)年4月	2005(平成17)年3月
川満 茂雄	2005(平成17)年4月	2007(平成19)年3月
宮城 智子	2007(平成19)年4月	2009(平成21)年3月
大川 芳子	2009(平成21)年4月	2011(平成23)年3月
呉屋 禮子	2011(平成23)年4月	2013(平成25)年3月
上與那原美和子	2013(平成25)年4月	2014(平成26)年3月
國 仲 功	2014(平成26)年4月	2016(平成28)年3月
原田 直美	2016(平成28)年4月	2019(平成31)年3月
外間 裕朋	2019(平成31)年4月	2021(令和3)年3月
雉鼻 章郎	2021(令和3)年4月	2022(令和4)年3月
前川 早由利	2022(令和4)年4月	～

[主な事項]

1993(平成5)年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体(商工美術(株) ㈱沖縄ノムラ)と締結する。
	1月31日	
1994(平成6)年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995(平成7)年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞 team DREAM に決定
1996(平成8)年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)展示設計プロポーザル競技により(株)乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館(仮称)監修委員会開催
1997(平成9)年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)・資料収集広報キャンペーンを開催(巡回展、講演会)
1999(平成11)年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行

	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会（最終）開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館（旧資料館）閉館
2000(平成12)年度	4月1日	開館（一般公開始まる）
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市（～27日）
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催（～23日） アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001(平成13)年度	4月25日	入館者50万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者100万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始（～12月18日）平成18年度まで
2005(平成17)年度	4月7日	入館者200万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店（運営：沖縄県平和祈念財団）
	7月6日	入館者300万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業（～2012年3月）
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備（英文表記追加）
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え（～3月31日）
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え（～3月19日）
2010(平成22)年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託（～H24年3月31日）
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託（～H24年3月31日）
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月3日	入館者450万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始（～10月30日）
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催

2012(平成24)年度	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」(～H24年3月27日)
	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業
2013(平成25)年度	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館
2014(平成26)年度	2月7日	入館者600万人達成
2015(平成27)年度	10月10日	デービッド・イゲハワイ州知事来館
	10月16日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 JICA理事長賞受賞
	3月1日	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始
2016(平成28)年度	6月15日	入館者650万人達成
	7月	沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」事業 ※JICA草の根技術協力事業(～2017年6月)
2017(平成29)年度	4月19日	李俊揆(イ ジュンギョ)駐日大韓民特命全権大使視察
	11月9日	入館者700万人達成
	11月13日	ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察
2018(平成30)年度	6月22日	韓国済州島済州道立美術館のギム・シュンギ館長一行来館
	7月20日	ハリール・アルムーサウイー駐日イラク大使視察
2019(令和1)年度	4月20日	入館者750万人達成
	12月28日	マハティール・ビン・モハマド首相(マレーシア)視察
2020(令和2)年度	10月17日	戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式
	12月10日	ミハイル Y. ガルージン 駐日ロシア連邦大使視察
2021(令和3)年度	7月29日	キャロリン・グラスマン広報・文化交流担当公使視察
2022(令和4)年度	4月27日	ラーム・エマニュエル駐日米国大使来館
	7月20日	入館者800万人達成
	9月23日	インガ M.W. ニーハマル駐日ノルウェー大使来館
	10月22日	天皇陛下・皇后陛下行幸啓
	12月1日	館内工事のため休館(～4月30日まで)
2023(令和5)年度	5月1日	館内工事終了につき開館
	6月18日	韓国済州道副知事来館
	6月23日	韓国済州4・3平和財団コ・フェボム理事長来館
	8月27日	高円宮妃殿下来館
	10月27日	在日フィリピン大使来館
	11月5日	カンボジア地雷対策センター(CMAC)ヘン・ラタナ長官来館
	12月5日	ペドロ・オイアルサバル博士(バスク研究者)来館

[主な企画展等、その他催し]

- 2000(平成12)年度 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
- 2001(平成13)年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会(2回)
- 2002(平成14)年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003(平成15)年度 企画展「銃後を護れー戦時下のくらしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004(平成16)年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005(平成17)年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006(平成18)年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007(平成19)年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世(イカサ)の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座(2回)
- 2008(平成20)年度 特別企画展「カンボウヌクェヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
- 2009(平成21)年度 特別企画展「イクサユヌワラビー戦時下の教育と子どもたちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!! 平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010(平成22)年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパ・レデ・イ・スカッション」、「『NAHA マラソンの道』ー走る道、逃げる道ー」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
- 2011(平成23)年度 特別企画展『「アメリカ世(ユー)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたきウチナンチューー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012(平成24)年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展
- 2013(平成25)年度 特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
- 2014(平成26)年度 特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「日系二世ウチナンチューが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につながる平和のウムイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサズトーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展

- 2015(平成27)年度 特別企画展『ウチナンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)
 沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展(平成25年度・26年度寄贈)」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
- 2016(平成28)年度 特別企画展『ウチナンチュが見た満洲～『旧満州国』・『偽満洲国』～』児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)
 子ども・プロセス企画展(5回)、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」
 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2017(平成29)年度 特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やししが～』児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と芝居の視点からー」、企画展「新収蔵品展(平成27年度・28年度寄贈)」、新企画展「ギャラリー展」(5回)、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄県平和祈念資料館講習会、第24回日本平和博物館会議(当館開催)
- 2018(平成30)年度 特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」
 児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所、国外1カ所)
 特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」
 新企画展「ギャラリー展」(4回)
 子ども・プロセス企画展(4回)
 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2019(令和1)年度 特別展「武田美通・鉄の造形30作品展 戦死者たちからのメッセージ」
 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)
 ギャラリー展(4回)
 子ども・プロセス企画展(4回)
- 2020(令和2)年度 戦後75年事業「戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展」
 特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」
 児童・生徒の平和メッセージ展(県内3カ所)
 ギャラリー展(4回)
 子ども・プロセス企画展(4回)
 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2021(令和3)年度 特別展「戦時体制下の国民の生活」～制限下の庶民の暮らし～
 企画展「新収蔵品展(令和元年度・2年度寄贈)」
 児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所)
 ギャラリー展(3回)
 子ども・プロセス企画展(4回)
 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2022(令和4)年度 特別企画展「アメリカ世の記憶～日本復帰50周年記念企画展～」
 特別講座「島ぐるみ闘争から復帰まで」
 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)
 ギャラリー展(2回)
 子ども・プロセス企画展(3回)
 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2023(令和5)年度 特別企画展「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」
 児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)
 ギャラリー展(2回)
 子ども・プロセス企画展(4回)
 沖縄県平和祈念資料館講習会

2 日誌（抄）2023（令和5）年度

- 4月20日 資料館内消防訓練（当館、ライブラリー職員、委託業者）
4月24日 常設展示室・地下収蔵庫燻蒸作業（～25日）
4月25日 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修
4月29日 友の会フィールドワーク
浦添城間アイテムポケットとマチナト飛行場
4月30日 臨時休館終了（R4.12月～）
5月1日 通常開館
第1回ギャラリー展（～11/6）
「体験者が描いた沖縄戦～言葉だけではない、絵で伝える記憶～」
5月5日 子どもの日親子ビデオ上映会
5月11日 県立学校初任者研修
5月16日 養護教諭初任者研修（県総合教育センター）
5月21日 友の会フィールドワーク
「首里城周辺の埋没した戦跡壕を巡る」
5月28日 大人のための平和学習（入門編）
6月1日 台風2号来襲による業務停止（10時30分～6月2日3時45分）
" 島尻教育事務所初任者研修
（台風のため、オンデマンド方式に変更実施6/16～6/30）
6月8日 第1回子ども・プロセス企画展（～7月9日）
「沖縄が戦場になった日（前期）」
6月8日 幼稚園・認定こども園初任者研修（県総合教育センター）
6月18日 韓国済州道副知事来館
6月23日 慰霊の日に係る常設展示室無料公開
" 韓国済州4・3平和財団来館
" 浜田防衛大臣来館
" 山田外務副大臣来館
" 慰霊の日ビデオ上映会
" 児童・生徒の平和メッセージ展（当館）
6月25日 大人のための平和学習（入門編）
7月5日 インターンシップ（南部商業高校～7月7日）
7月6日 沖縄少年院連携事業
7月11日 インターンシップ（沖縄水産高校～7月13日）
7月12日 児童・生徒の平和メッセージ展（石垣市）（～7月21日）
7月21日 沖縄県地域史協議会研修会（Zoom）
7月22日 第2回子ども・プロセス企画展（～8月31日）
「チャレンジ！夏休み自由研究 - 沖縄戦について調べてみよう !! -」
" 夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】（～8月31日）
7月23日 大人のための平和学習（入門編）
7月24日 那覇教育事務所初任者及び中堅教諭等資質向上研修
7月28日 児童・生徒の平和メッセージ展（宮古島市）（～8月6日）
島尻教育事務所初任者研修（展示室案内）
7月30日 夏休み子ども教室【情報ライブラリー】
8月1日 台風6号来襲による業務停止（7時30分～8月3日1時8分）
8月3日 台風6号来襲の影響による停電のため臨時休館（～8月4日）
8月4日 台風6号再来襲による業務停止（16時～8月6日4時28分）
8月5日 平和アニメ上映会①（台風6号再来襲による臨時休館のため中止）
8月6日 親子で学ぶ沖縄戦（講話・常設展示室見学）（台風6号再来襲の影響による臨時休館のため中止）
8月7日 平和アニメ上映会②
" 親子平和フィールドワーク（平和祈念公園内）（台風6号来襲の影響による公園閉鎖のため中止）
8月16日 教職10年経験者研修（～8月18日）
8月17日 学校栄養職員初任者研修
8月19日 児童・生徒の平和メッセージ表彰式（当館）展示会（～8月31日）
8月20日 第18回 沖縄県平和祈念資料館友の会定期総会
平和学習会「被爆体験伝承講話」
（広島市の被爆体験伝承者：山岡美知子さん）

- 8月23日 平和祈念資料館運営協議会（八重山部会）
- 8月23日 学芸員実習【沖国大生2名】（～8月31日）
- 8月27日 大人のための平和学習（入門編）
- 8月27日 高円宮妃殿下来館
- 9月6日 第1回子ども・プロセス企画展（～10月9日）
「沖縄が戦場になった日（後期）」
- 9月7日 児童・生徒の平和メッセージ展（名護市）（～9月16日）
- 9月24日 大人のための平和学習（入門編）
- 9月27日 児童・生徒の平和メッセージ展（那覇市）（～10月9日）
- 10月12日 JICA「日系社会研修」
- 10月13日 特別企画展（～1月24日）
「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」
- 10月19日 第3回子ども・プロセス企画展（～3月3日）
「戦争と人びとの暮らし」
- 10月22日 大人のための平和学習（入門編）
- 10月27日 在日フィリピン大使来館
- 10月30日 第1回平和祈念資料館運営協議会
- 11月1日 琉球歴史文化の日に係る常設展示室無料公開
- 11月5日 カンボジアCMACヘン・ラタナ長官来館
- 11月12日 「カンボジアCMAC博物館支援事業」専門家派遣
（学芸班；仲程、呉屋～11月19日）
- 11月9日 第30回日本平和博物館会議（オンライン会議）
- 11月16日 広島市議会議員団行政視察
- 11月20日 平和への思い開会式・共同学習（平和祈念資料館他～11月24日）
- 11月25日 平和への思いシンポジウム・閉会式（自治会館ホール）
- 11月26日 大人のための平和学習（入門編）
- 12月5日 ペドロ・オイアルサル博士（バスク研究者）来館
- 12月11日 JICA「課題別研修事業」講話・展示室案内
「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」
- 12月20日 第2回ギャラリー展（～3/14）
「戦禍と獅子展」
- 12月24日 大人のための平和学習（入門編）
- 12月29日 ～1月3日（休館日）
- 1月15日 「カンボジアCMAC博物館支援事業」本邦研修（～2/8）
- 1月28日 大人のための平和学習（入門編）
- 1月31日 大学連携事業（当館展示室案内）
- 2月15日 福島県雪だるま親善大使児童来館
- 2月25日 大人のための平和学習（入門編）
- 3月1日 新収蔵品展【企画展示室】（～令和6年6月10日）
- 3月8日 第4回子ども・プロセス企画展（～令和6年5月19日）
「太平洋戦争と南洋群島-日本に支配された南の島々-」
- 3月14日 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 3月18日 第2回平和祈念資料館運営協議会



沖縄県平和祈念資料館外観と平和の火

3 施 設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた 20 万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成 5 年度～平成 11 年度

イ 事業規模 地下 1 階地上 2 階 R C 造り

敷地面積 約 1 2,8 0 8 平方メートル

延床面積 1 0,1 7 9 平方メートル

ウ 総事業費 約 7,2 9 1 百万円 (県債 6,510、施設整備基金 139、一般 642)

工 事 費 4,9 0 0 百万円

設 計 費 1 5 5 "

展 示 工 事 費 1,5 3 5 "

展 示 設 計 費 1 2 6 "

情 報 シ ス テ ム 1 7 1 "

そ の 他 4 0 4 "

エ 主な施設

常設展示室 (1～5 室) 1,3 6 0 平方メートル

企画展示室 2 5 5 "

子ども・プロセス展示室 5 1 8 "

情報ライブラリー 4 7 2 "

平和祈念ホール 2 4 5 "

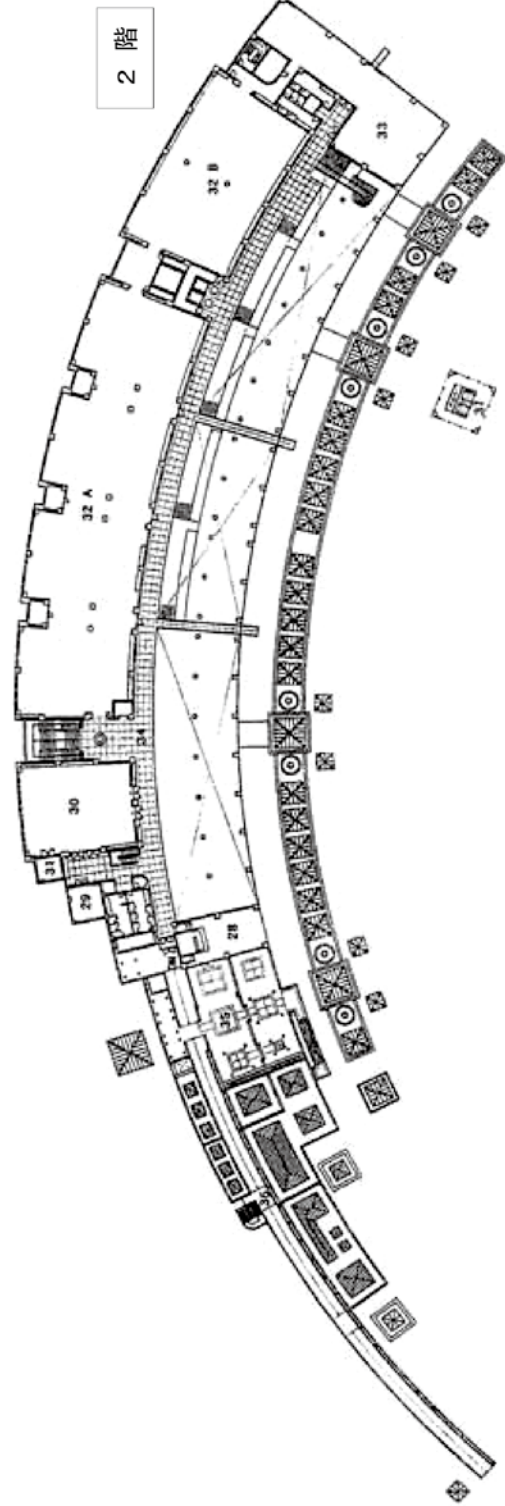
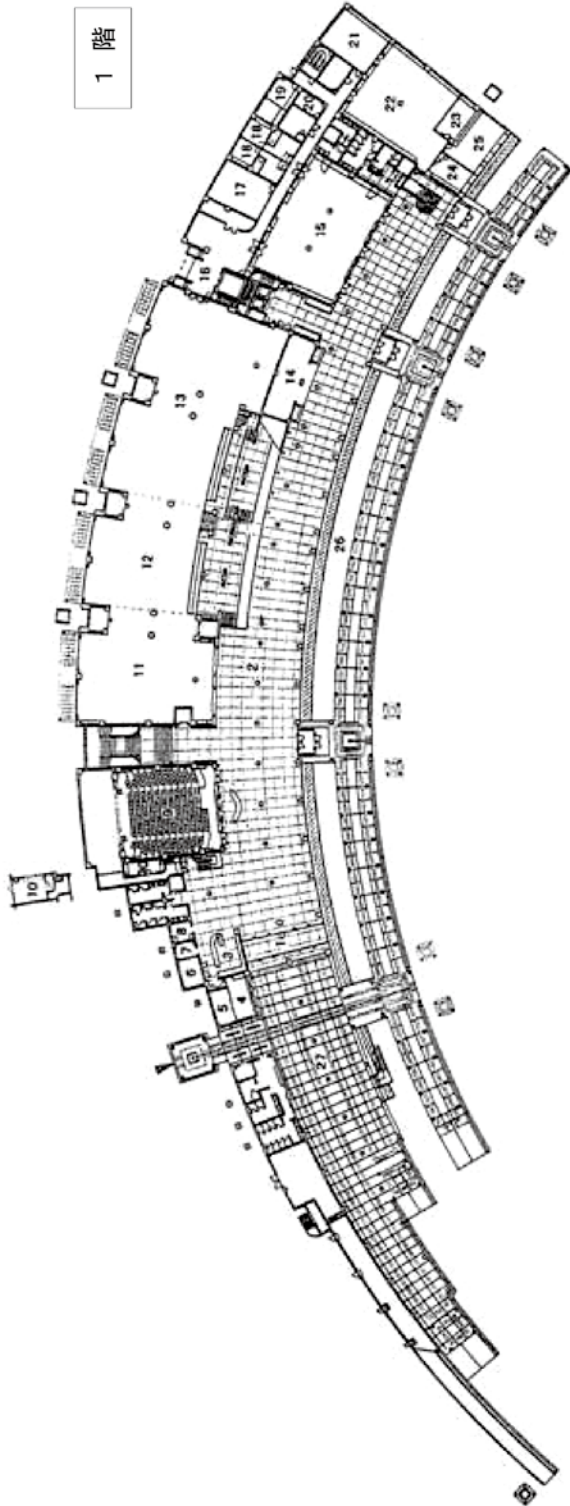
海と礎の回廊 2 5 6 "

会 議 室 2 0 0 "

一般収蔵庫 1,2 0 1 (1F、2F) "

特別収蔵庫 2 8 1 (1F、2F) "

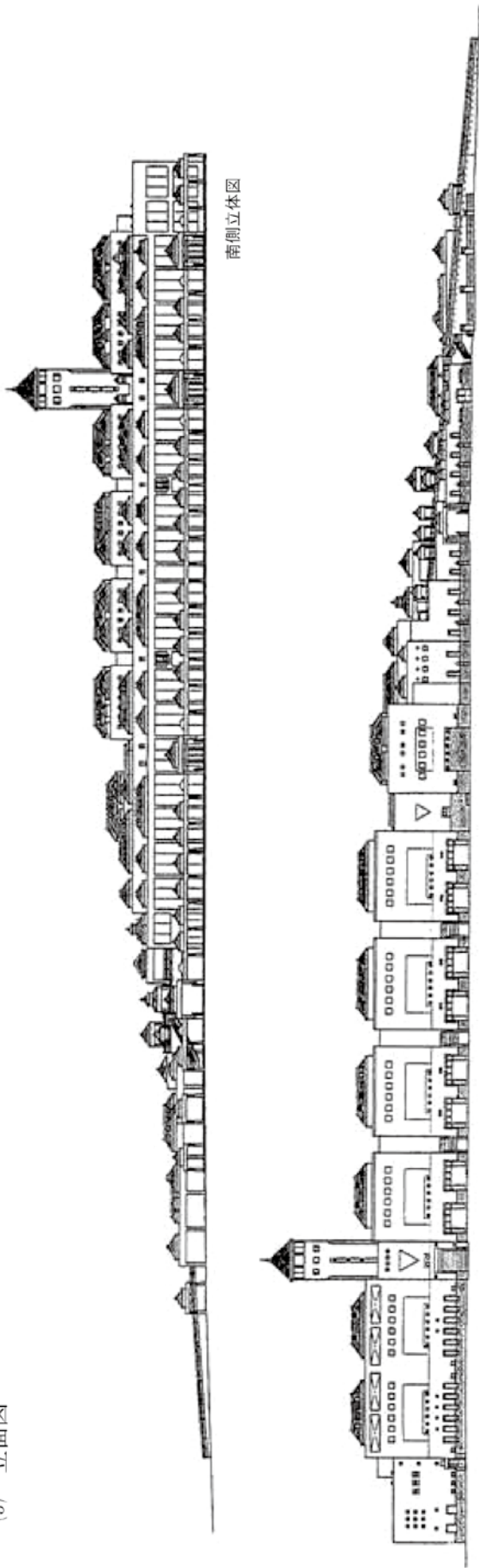
- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 (調整中:旧ミュージアムショップ)(28㎡)
- 4 事務スペース・倉庫
- 5 ボランティア室
- 6 授乳・救護室
- 7 自販機室
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコーブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室
- 17 情報処理室(49㎡)
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティー



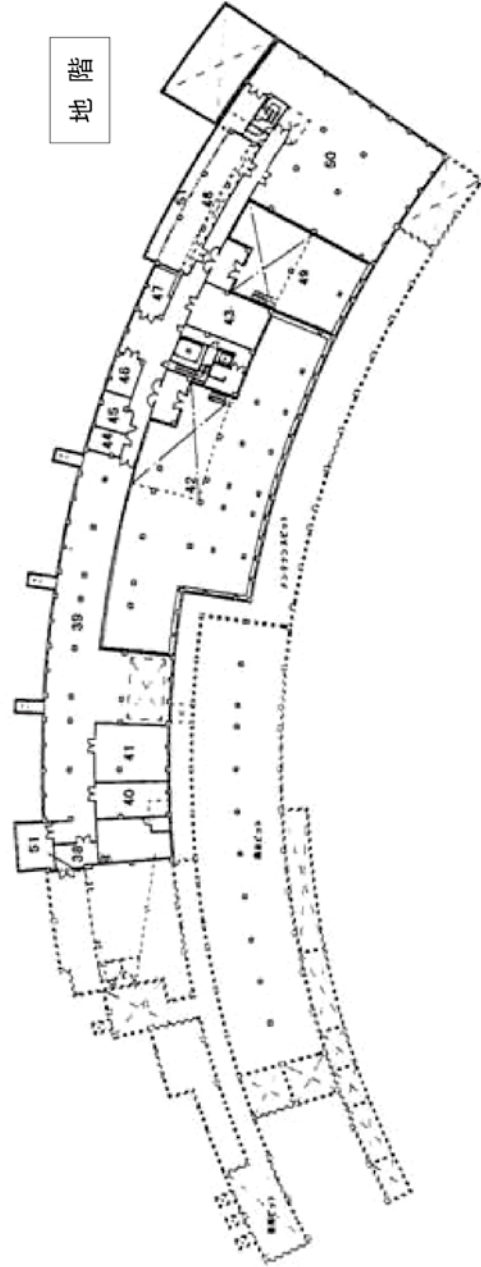
- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務スペース・倉庫
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室1~4(957㎡)
- 32B 常設展示室5(403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 ギャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

2 階

(3) 立面図



(4) 平面図

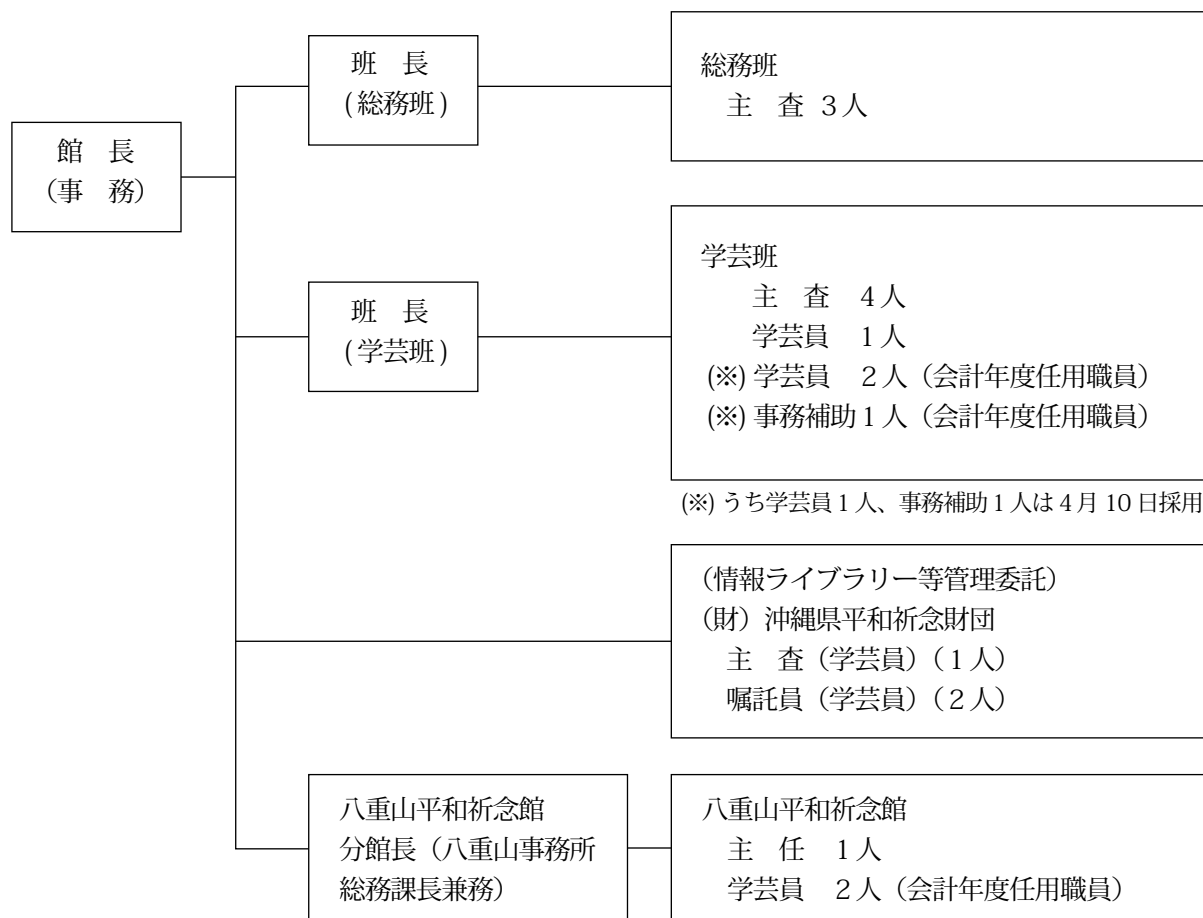


- 38 消防ポンプ室
- 39 機械室 (426㎡)
- 40 発電室
- 41 電気室
- 42 一般収蔵庫 (1F=658㎡、2F=543㎡)
- 43 仮置き場倉庫 (60㎡)
- 44 メンテナンス室
- 45 ポンベ室
- 46 くん蒸室
- 47 写真撮影室 (25㎡)
- 48 資料調査研究室 (95㎡)
- 49 特別収蔵庫 (1F=186㎡、2F=95㎡)
- 50 機械室 (415㎡)
- 51 ドライエリヤ

地階

4 組織

(1) 機構 2023（令和5）年4月1日現在



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (3人)、警備 (2人)、清掃 (2人)、機械設備管理 (1人)

(2) 職員構成 (令和5年4月1日現在)

職名	氏名	担当業務
館長	前川 早由利	資料館業務の総理に関すること

総務班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長	平田 淳 (出納員)	総務班業務の総括に関する事項 出納員に関する事項 平和祈念資料館中長期計画の進捗に関する事項 予算、決算、監査の総括に関すること 人事、組織・定数に関すること 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 労働・安全衛生に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募に関する事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他総務班に関する事項 その他特に上司の命ずる事項
主査	松本 章一	備品の事務に関する事項（R4・R5改修工事に伴う引き継ぎ備品等の手続き含む）（正） 予算執行（備品購入費）に関する事項（正） 旅費に関する事項（正） 団体入館及び会議室予約に関する事項（サインージへの入力業務含む）（正） 電子申請予約への対応及び混雑予想のHP掲載に関すること（正） 会議室・ホールの使用許可書発行の補助に関する事項（正） 歳入事務（分館の観覧料）に関する事項（正） ホームページの更新（総務班関連）に関すること（正） 文書の收受、発送、保管に関する事項（正） 公印に関する事項（保管を除く）（正） リーフレットの送付に関する事項 拾得物に関する事項 その他庶務会計に関する事項（共通） その他特に上司の命ずる事項
主査	与那嶺 一史	出納事務に関する事項（日計表の確認含む）（正） 公有財産等の事務に関する事項（正） 財産の使用許可業務に関する事項（正） 予算執行（委託料、修繕費、工事請負費）に関する事項（正） 歳入事務（観覧料等）に関する事項（分館の観覧料を除く）（正） 個別施設計画に関する事項（R4-R5改修工事含む）（正） R4・R5改修工事に伴う財産・備品等の担当者への引き継ぎに関する事項（正） 音響・映像機器（音声ガイダンス含む）の管理に関する事項（正）

職名	氏名	担当業務
主査	与那嶺 一史	窓口管理（受付）システムの更新に関する事項（正） その他庶務会計に関する事項（共通） 備品等の事務に関する事項（副） 予算執行（備品購入費）に関する事項（副） 団体入館及び会議室予約に関する事項（サインージへの入力業務含む）（副） 歳入事務（分館の観覧料）に関する事項（副） 情報化推進に関すること（副） その他特に上司の命ずる事項
主査	安里 綾香	予算執行（他の職員の執行に係るものを除く）に関する事項 （予算要求資料作成を含む）（正） 郵便切手の受払・消耗品の出納管理・運営費の単価契約に関する事項（正） 資金前渡・歳入歳出外現金（雑入（保険料等））に関する事項（正） 月報及び執行予算の報告に関する事項（正） 決算、監査及び検査に関する事項（正） 法定帳簿の整理保管・支払証の管理並びに証拠書類の編綴業務に関する事項（正） 職員の福利厚生、健康・安全管理（健康診断・人間ドック）、共済組合・ 公務災害に関する事項（正） 服務、出勤簿及び休暇台帳の整理、社会保険料・労働保険料に関する事項（正） 会計年度任用職員の雇用手続き及び賃金支払に関する事項（正） 諸手当の認定、給与支払い事務に関する事項（正） 運営協議会等に関する事項（開催の庶務的事項） 入館者の日報月報等統計業務に関する事項（正） 情報システム等機器のリース・運用に関する事項（正） その他庶務・会計に関する事項（共通） 旅費に関する事項（副） 文書の收受、発送、保管に関すること（副） 公印に関する事項（保管を除く）（副） 団体入館及び会議室予約に関する事項（サインージへの入力業務含む）（副） 電子申請予約への対応及び混雑予想のHP掲載に関する事項（副） ホームページの更新（総務班関連）に関する事項（副） その他特に上司の命ずる事項

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (総括)	新垣 光史	<p>学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項（主） 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項（主） 予算・決算・議会对応の総括に関する事項（学芸的事項）（主） 資料館の展示内容更新に関する事項（主） 語り継ぎ手養成に関する事項（主） R6 正規学芸員採用に関する事項（主） 運営協議会総括に関する事項（主） 教育庁、県庁、JICA 等研修の講師に関する事項（主） 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り（主） 沖縄県平和祈念資料館中長期計画に関する事項（主） 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項（主） JICA、国外関係機関等との連携に関する事項（カンボジア地雷対策センター博物館支援を含む）（副） 消防防災に関する事項（副） 「平和への思い」発信・交流・継承事業（副） 「戦後の証言映像収録・公開事業（多言語編集）」（副） その他学芸業務に関する事項（共） その他上司の命ずる事項（共）</p>
主査	スナール 静華	<p>県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 収蔵品展（主）※令和5年度実施予定（隔年実施） 展示物等の撮影許可・著作権申請等及びマニュアル作成に関する事項（主） 「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 「年報」の発行に関する事項（主） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） 資料館の展示内容更新に関する事項（共） JICA、国外関係機関等との連携に関する事項（カンボジア地雷対策センター博物館支援を含む）（副） 平和講話に関する事項（共） 英語に関する業務（共） 質問照会の回答に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）</p>
主査	浦添 充志	<p>児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（主） 八重山平和資料館との連携に関する事項（主） 少年院連携事業に関する事項（主） 資料館講習会の企画等に関する事項（主） 情報化推進に関する事項（主） 質問照会の回答及び割り振りに関する事項（主） 子どもプロトタイプ展示室・情報ライブラリーの管理運営に関する事項（主） 資料館の展示内容更新に関する事項（共） 運営協議会総括に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共） その他上司の命ずる事項（共）</p>
主査	棚原 和宏	<p>「平和の思い」発信・交流・継承事業（主） 語り継ぎ手養成に関する事項（副） 広報に関する業務（主） 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項（主） キャリア教育（職場体験・インターンシップ）に関する事項（主） 常設展示室（第1・2室）の管理運営に関する事項（主） 資料館の展示内容更新に関する事項（共） サイネージ、常設展示室タブレットの管理に関する事項（主） 収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主）</p>

職名	氏名	担当業務
主査	棚原 和宏	特別企画展の企画・立案に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） 英語に関する業務（共） 質問照会の回答に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共） その他上司の命ずる事項（共）
主査	呉屋 広徳	「戦後の証言映像収録・公開事業（多言語編集）」（主） 収蔵資料・証言映像の貸出に関する事項（主） 夏休み親子平和学習に関する事項（主） こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項（主） 大学との連携模索に関する事項（主） 千羽鶴の受理に関する事項（主） 離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 常設展示室（第3・4室）の管理に関する事項（主） JICA、国外関係機関等との連携に関する事項（カンボジア地雷対策センター博物館支援を含む）（副） 資料館の展示内容更新に関する事項（共） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） 質問照会の回答に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共） その他上司の命ずる事項（共）
学芸員	仲程 勝哉	資料館の展示内容更新に関する事項（主） 特別企画展の企画・立案に関する事項（主） 特別講座に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（主） 収蔵資料の管理に関する事項（主） JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 （カンボジア地雷対策センター博物館支援を含む）（主） 博物館会議関連に関する事項（日本平和博物館会議、沖縄県博物館協会、 沖縄県地域史協議会等）（主） 収蔵品展（副）※令和5年度実施予定（隔年実施） 平和講話に関する事項（共） 質問照会の回答に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共） その他上司の命ずる事項（共）
会計年度 任用職員 （学芸員）	狩俣 友美 村山 由生	展示活動の企画・準備・実施に関する事項 質問照会の回答担当に関する事項 資料・収蔵品の登録・整理・管理に関する事項 ギャラリー展に関する事項 HPの更新に関する事項 その他学芸業務の補助に関する事項 ・館内事業案内掲示など広報等に関する事項 ・沖縄戦、平和教育に関わる記事の整理・保存等に関する事項 その他上司の命ずる事項（共）
会計年度 任用職員 （事務補助）	糸満 祐香	電話・来客対応等 学芸班業務全般の補助 ・展示活動、資料発送等に関わる事項 ・沖縄戦、平和教育に関わる記事の整理・保存等に関する事項 その他上司の命ずる事項（共）

委 託 (沖縄県平和祈念財団)

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 子ども・プロセス企画展の開催 施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言 その他上司の命ずる事項 (共)
嘱託員	神尾 史扇 仲地 華	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項 その他上司の命ずる事項 (共)

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分館長	比嘉 丞	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 任	上原 峻斗	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 施設・設備、財産の使用・貸出等の手続きに関する事項 企画展に関する事項 (企画立案、資料収集、広報、展示等) 運営協議会・八重山部会に関する事項 教員向け説明会に関する事項 要人 (大臣、国会議員等) の来館時対応に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項 その他上司の命ずる事項 (共)
会計年度 任用職員 (学芸員)	綿貫 円 鈴木 理紗	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項 その他上司の命ずる事項 (共)

5 令和5年度歳入歳出決算（本館及び分館）

歳入

単位：円

		常設展示室	ホール、会議室等使用料	自動販売機（財団・友の会・母子募帰）	自動販売機（公募）	自販機電気料金、雇用保険料	合計
資料館 観覧料		41,856,015	0	0	0	0	41,856,015
	本館	41,568,690					41,568,690
	分館	287,325					287,325
資料館 使用料		0	682,590	0	0	0	682,590
	本館		681,590				681,590
	分館		1,000				1,000
建物 使用料		0	0	44,110	0	0	44,110
	本館			44,110			44,110
	分館						0
建物貸付料（本館）					122,210	0	122,210
寄附金							0
雑入		0	0	0	0	178,315	178,315
	本館				0	153,280	153,280
	分館					25,035	25,035
合計		41,856,015	682,590	44,110	122,210	178,315	42,883,240
	本館	41,568,690	681,590	44,110	122,210	153,280	42,569,880
	分館	287,325	1,000	0	0	25,035	313,360

歳出

単位：円

科目		管理運営事業	展示活動事業	「平和への思い」発信・交流・継承事業	沖縄平和啓発プロジェクト推進事業	公共施設マネジメント推進事業	合計
報酬		176,700	9,145,052	0	0	0	9,321,752
	本館	176,700	5,481,162				5,657,862
	分館		3,663,890				3,663,890
職員手当		0	1,225,072	0	0	0	1,225,072
	本館		734,367				734,367
	分館		490,705				490,705
報償費							0
旅費		275,075	569,570	6,720	0	0	851,365
	本館	198,075	451,210	6,720			656,005
	分館	77,000	118,360				195,360
需用費		37,380,577	437,949	0	0	0	40,631,356
	本館	35,293,219	381,051			2,812,830	38,487,100
	分館	2,087,358	56,898				2,144,256
役員費		1,252,724	16,280	0	0	0	1,269,004
	本館	1,139,758	16,280				1,156,038
	分館	112,966					112,966
委託料		67,764,551	15,581,148	25,579,718	7,490,780	0	116,416,197
	本館	65,853,180	15,581,148	25,579,718	7,490,780		114,504,826
	分館	1,911,371					1,911,371
使用料及び賃借料		4,363,716	0	0	0	0	4,363,716
	本館	4,350,970					4,350,970
	分館	12,746					12,746
工事請負費		0				7,326,000	0
備品購入費		3,520,781	0	0	0	0	3,520,781
	本館	3,520,781					3,520,781
	分館						0
負担金補助及び交付金（本館）		10,000					10,000
合計		114,744,124	26,975,071	25,586,438	7,490,780	10,138,830	184,935,243
	本館	110,542,683	22,645,218	25,586,438	7,490,780	10,138,830	176,403,949
	分館	4,201,441	4,329,853	0	0	0	8,531,294

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

任期：2022（令和4）年5月18日～2024（令和6）年5月17日

区分	役職名	氏名	現職名
教育関係者	会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	副会長	里井 洋一	沖縄県立博物館・美術館館長
学識経験者	委員	下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー会長
	委員	安谷屋 幸勇	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	前泊 克美	ひめゆり平和祈念資料館学芸員
	委員	大仲 るみ子	多文化ネットワーク f u ふ！設立代表者
教育関係者	委員	田里 一寿	宜野座村教育委員会
	委員	船附 初江	社会福祉法人理事長（保育園園長）
	委員	平良 正栄	元豊見城市教育委員会指導主事
行政経験者	委員	大城 貴代子	公益財団法人おきなわ女性財団理事長
	委員	玉城 律子	元平和援護・男女共同参画課長
公募	委員	出井 香	自営業（元公立小学校教諭）

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
学識関係者	部会長	里井 洋一	沖縄県立博物館・美術館館長
教育関係者	委員	平良 正栄	元豊見城市教育委員会指導主事
行政経験者	委員	玉城 律子	元平和援護・男女共同参画課長

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

①2023（令和5）年度 第1回運営協議会

日時：令和5年10月30日（月）10:00～12:00

場所：平和祈念資料館2階 大会議室

内容：(1) 議 題

- ① 平和祈念資料館及び八重山平和祈念館のリニューアルについて
- ② 沖縄戦の「次世代の語り継ぎ手養成講座」について
- ③ カンボジア地雷対策センター（CMAC）博物館支援事業について
- ④ 濟州4.3平和財団との交流について

(2) 報 告

- ・令和4～5年度沖縄県平和祈念資料館の入館状況

(3) 展示室案内（内覧会）

- ・常設展示室・子どもプロセス展示室・ライブラリー



第1回運営協議会の様子



館内の内覧会の様子

②2023（令和5）年度 第2回運営協議会

日時：令和6年3月18日（月）14:00～16:00

場所：平和祈念資料館2階 大会議室

内容：(1) 議 題

- ① 令和6年度組織編成及び新規事業について
- ② 令和6年度歳入歳出の当初予算（案）について
- ③ 令和5年度沖縄県平和祈念資料館の入館状況
- ④ 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館の展示更新事業について
- ⑤ カンボジア地雷対策センター（CMA C）博物館支援事業について
- ⑥ 沖縄県平和祈念資料館 令和5年度年度事業報告及び令和6年度事業計画（案）
- ⑦ 八重山平和祈念館 令和5年度年度事業報告及び令和6年度事業計画（案）



第2回運営協議会の様子

(4) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

②2023（令和5）年度 八重山祈念館部会

日時：令和5年8月23日（水）9:30～14:30

場所：八重山平和祈念館

内容：(1) 議 題

- ① 展示内容の整理・更新について
- ② その他 意見交換



八重山部会の様子



展示室案内の様子

7 施設の改修等の状況

これまでの改修等の状況

年度	事業内容等	事業費 (千円)
2009（平成21）年度	屋根瓦修繕工事	19,453
〃	非常用バッテリー等修繕	5,565
〃	特別収蔵庫空調機	2,048
〃	その他修繕	694
2010（平成22）年度	外壁等改修工事	38,870
〃	その他修繕	1,341
2011（平成23）年度	空調機室外機9台	546
〃	その他修繕	2,072
2012（平成24）年度	全自動循環及び全自動活性炭ろ過装置ろ材取替	1,995
〃	その他修繕	1,860
2013（平成25）年度	一般収蔵庫の恒温恒湿空調機修繕	4,935
〃	電話交換機修繕	945
〃	その他修繕	1,898
2014（平成26）年度	各展示室、事務学芸員室、大会議室LED化工事	13,824
〃	ブラインチラー等更新工事	35,316
〃	業務用エアコン更新工事	18,954
〃	その他修繕	1,710
2015（平成27）年度	映像機器修繕	924
〃	自動制御設備不具合修繕	864
〃	石材修繕	1,782
〃	展示室スクリーン・プロジェクター修繕	1,696
〃	その他修繕	1,163
2016（平成28）年度	浄化槽修繕	904
〃	中央監視修繕	2,376
〃	その他修繕	3,035
2017（平成29）年度	給水管修繕	994
〃	屋上排気口、天井ダクト修繕	1,815
〃	突風被害緊急対応	1,553
〃	二次冷水管保温材修繕（地下機械室）	756
〃	汚水処理施設微細目スクリーン修繕	756
〃	その他修繕	1,691
2018（平成30）年度	排煙ダクト修繕	1,782
〃	突風被害箇所及び関連場所補修工事	15,358
〃	非常用発電機装置整備修繕	2,484
〃	中水用圧力タンクポンプユニット取替修繕	2,754
〃	直流電源装置用蓄電池更新取替	4,860
〃	天井補修2箇所（台風被害）	676
〃	送風機異音修繕（空調）	929
〃	水中ポンプ取替	1,603
〃	その他修繕	3,597
2019（令和元）年度	1階ガラス壁及び屋根瓦補修工事	101,183
〃	発電機起動用蓄電池修繕	957
〃	消防設備修繕	671
〃	1F多目的ホール前トイレ排気ファン交換修繕	583
〃	2F東側トイレ排気ファン交換修繕	583
〃	その他修繕	1,620
2020（令和2）年度	各トイレ排気ファン交換修繕	1,375
〃	地下オイルタンク埋設配管改修工事	2,200
〃	中央監視装置リモートコントローラ3系統修繕	2,497

年度	事業内容等	事業費 (千円)
〃	自動制御設備機器電磁流量計修繕	1,760
〃	高圧引込埋設配管漏水修繕工事	2,035
〃	1階大ホール部分NO1系統AHU-3送風機修繕	528
〃	エレベーター1・2号機各種部品取替修繕	827
〃	東側事務所窓9箇所台風対策雨戸設置	1,210
〃	消防設備修繕	2,497
〃	電話機器一式修繕工事	2,491
〃	防災設備更新工事	12,595
〃	その他修繕	1,695
2021(令和3)年度	差圧発信器修繕	1,278
〃	リモートコントローラ4系統修繕	3,630
〃	照明制御盤更新工事	5,170
〃	消防設備修繕	1,278
〃	上水加圧給水ポンプ更新工事	3,190
〃	直流電源装置更新工事	5,148
〃	空調機予防保全工事	2,496
〃	消防設備修繕	770
〃	海と礎の回廊窓フィルム取替修繕	661
〃	その他修繕	3,007
2022(令和4)年度	デジタルサイネージ修繕	1,804
〃	誘導灯及び誘導標識修繕	979
〃	キュービクル内換気扇取替	737
〃	常設展示室タブレット端末バッテリー交換	524
〃	消火器取替及び誘導灯更新	550
〃	排煙設備及び防排煙制御設備修繕工事	2,860
〃	貯留槽及び機械室界壁修繕工事	4,598
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(建築)	57,345
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(空調)	109,428
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(衛生)	17,600
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事(電気)	69,212
〃	その他修繕	2,835
2023(令和5)年度	令和5年度平和祈念資料館改修工事(建築)	104,751
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事(空調)	167,541
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事(衛生)	26,510
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事(電気)	108,229
〃	消防設備修繕	521
〃	防煙防火ダンパー及び温度ヒューズ更新工事	3,158
〃	空調機器修繕工事(台風被害)	2,009
〃	排煙窓等修繕工事	7,095
〃	浄化槽調整槽エア配管取替	984
〃	計装盤避雷器設置	878
〃	その他修繕	3,819
	事業費合計	1,064,280

※ 50万円以上の修繕を記載し、それ以下の修繕は「その他修繕」としてまとめた。

Ⅱ 調査研究事業

1 第30回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、1993(平成5)年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

令和5年度は、長崎原爆資料館が事務局を担当した。11月9日(木)に同館会議室での対面参加とオンライン参加のハイブリッド形式で討議になった。

- (1) 期間：2023(令和5)年11月9日(木)
- (2) 開催場所：オンライン討議
- (3) 参加博物館 (10館)
 - ①埼玉県平和資料館【埼玉県】
 - ②川崎市平和館【神奈川県】
 - ③立命館大学国際平和ミュージアム【京都府】
 - ④ピースおおさか【大阪府】
 - ⑤広島平和記念資料館【広島県】
 - ⑥長崎原爆資料館【長崎県】
 - ⑦沖縄県平和祈念資料館【沖縄県】
 - ⑧神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)【神奈川県】
 - ⑨ひめゆり平和祈念資料館【沖縄県】
 - ⑩対馬丸記念館【沖縄県】
- (4) 開催までの流れ
 - 7月5日 開催館より開催方法についてのアンケートを各館に送信
 - 8月7日 開催館より開催通知(現地開催及びオンライン)、参加申込書、協議題・聴取事項アンケートを各館に送信
 - 8月25日 参加申込書提出締切、協議題・聴取事項アンケート回答締切
 - 10月5日 協議題・聴取事項、入館者数調査の回答依頼
 - 10月23日 協議題・聴取事項、入館者数調査の回答締切
 - 11月2日 会議接続テスト(オンライン参加者のみ)
 - 11月9日 第29回日本博物館会議開催(オンライン)
- (5) 定例会(オンライン会議)次第
 - 2023(令和5)年11月9日(木)定例会 15:00～17:00(於:Webex ミーティング)
 - ア 事務局館挨拶 長崎市原爆資料館長 井上 琢治
 - イ 会議日程説明
 - ウ 出席館紹介
 - エ 議長選出
 - オ 議事
 - 協議題1「新型コロナウイルスが5類へ移行後の変化や新たに始めた取り組みについて」
 - 協議題2「大型資料群の寄贈申し出への対応について」
 - 協議題3「昨今のDX技術を用いた効果的な展示の制作について」
 - 協議題4「学芸員体制の現状と次代の学芸員の人材育成について」
 - 協議題5「日本平和博物館会議申し合わせの見直しについて」
 - 聴取事項について報告
 - 次回開催館の紹介(川崎市平和館)

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ（自然の鍾乳洞）とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。



第1展示室



第2展示室



第3展示室

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

「わらびなー(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほか、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスクへ)を刷新した。(平成22年度)
- ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。(平成22年度)
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成22年度)
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成26年度)
- ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。(平成26年度)
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)を進めた。(平成27年度)
- ⑦常設展示室音声ガイドシステム機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。(平成27年度)
- ⑧デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)
- ⑨第4室 住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター4台設置(平成30年度)



第4展示室



第5展示室



情報ライブラリー

2 企画展

(1) 新収藏品展（令和3・4年度寄贈資料）

本展示会では、令和3年度から令和4年度にかけて8名の方からご寄贈いただいた資料を沖縄戦関係資料・軍隊関係資料・「730（ナナサンマル）」関係資料に分けて公開した。

本展示会を通して、新たな収藏品資料を県民財産として公開するとともに、資料に託された想いを感じ取ってもらい、沖縄戦及び戦前から戦後の歴史に対する理解を深め、次世代につなげていく場とした。

[日 時] 2024（令和6）年3月1日（金）～6月10日（月）

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 1階企画展示室



オープニングのテープカット

令和5年度 沖縄県平和祈念資料館 企画展
新収藏品展
（令和3・4年度 寄贈資料）
入場無料
2024（令和6）年 3月1日（金）～6月10日（月）
沖縄県平和祈念資料館 1階 企画展示室 開館時間：午前9時～午後5時
※3月1日はオープニングセレモニー実施のため午前11時から開場となります。 ※館末設置展示室の最終入場は午後4時半
沖縄県平和祈念資料館
〒904-0333 沖縄県糸島市字原文C614-1番地
TEL 098-997-3544 FAX 098-997-3947
E-MAIL okimuseum@peacemuseum.okinawa.jp <http://www.peacemuseum.okinawa.jp>



取材を受ける寄贈者の方々



観覧の様子

(2) 令和5年度第22回特別企画展

「 沖縄島北部の戦争遺跡・跡地 」

ア 開催趣旨：

沖縄戦体験者が減りつつある中、戦争遺跡は沖縄戦の実態を後世に伝える場として、その存在は注目されるようになった。体験者の証言や説明を聞くことと併せて、戦争遺跡を調べて歴史を学ぶことは、沖縄戦の歴史的背景を多面的・多角的に知る上で重要である。

沖縄島北部に残る戦争遺跡・跡地展示を通して、来館された方が戦争遺跡等の形成過程や保存状況等について確認し、様々な視点で沖縄と平和について捉える事により、平和を希求する「沖縄のこころ」を発信する機会とする。

イ 開催日時：令和5年10月13日(金)～令和6年1月24日(水)

ウ 展示会場：沖縄県平和祈念資料館 企画展示室

エ 観覧者数：23,326名

オ 展示構成

展示資料は、戦争遺跡の写真や図面を中心とし、部分的に実物資料や模型を展示する。対象とする年代は、主に昭和19(1944)年から昭和20(1945)年の戦争遺跡を中心とするが、記念碑関係はそれ以前に建立されたものも取り扱う。また、消失した戦争遺跡(跡地)については現状の写真(個人の権利に差し支えない範囲で)を展示した。

第1部 沖縄戦以前の戦争遺跡

沖縄戦以前に建立された忠魂碑や天皇・皇室関係記念碑など、戦時体制下において愛国心の発揚や戦意高揚の場として利用された戦争遺跡や防空監視哨跡を概観。

※博物館学芸員実習で実習生が製図した本部防空監視哨跡の模型を展示

第2部 沖縄戦の戦争遺跡

沖縄戦に伴って構築・利用・形成された、陣地、住民避難壕、防空壕、自然洞穴、御真影奉護壕、被災痕跡、収容所跡地について紹介。

※測量データを元に作成した大湿帯の御真影奉護壕の模型を展示

第3部 その他の戦争遺跡・跡地

沖縄戦に関連して構築された米軍飛行場跡や、消失或いは埋没した戦争遺跡の跡地について展示。

第4部 戦争遺跡の現状

沖縄島北部地域に分布する戦争遺跡をめぐる現状と課題について展示。



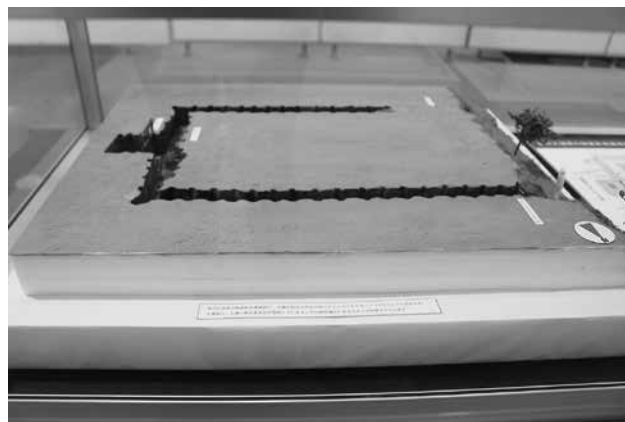
来場者の感想 (アンケートより)

- 「御真影奉護壕の展示が印象に残っています。沖縄島の北部に限定しても多くの戦跡や跡地があることに驚きました。座間味などの離島バージョンも見てみたい。(55歳/那覇市)」
- 「北部の壕や弾痕跡、忠魂碑…私が知らなかった新たな学びです。これからも特別企画展で学びたいです。(69歳/八重瀬町)」
- 「北部地域限定の展示は初めて見た。戦争というと南部のイメージが強いので興味深かった。(24歳/那覇市)」
- 「源河大湿帯の壕が印象的です。忠魂碑から始まり、北部にこれだけの戦争に関連する遺跡があることにびっくりしました。戦争遺跡が開発で失われていたり、ゴミの不法投棄があったりという現状も教えて頂きました。なんとか後世にのこせれば良いのですが..良い展示ありがとうございました。(46歳/県内)」

●「模型で再現した展示はとっても観やすいです。写真で紹介されていたキレイな景色の中にある様々な戦争遺跡、その情景が心に残っています。(16歳 / 静岡県)」
「知らないことがいっぱい。せんそうがなければぼう空ごう作らなくていいのにね、せんそうのとき人はへんですね、かえったら友だちにおしえます。(7歳 / 広島県)」



展示状況



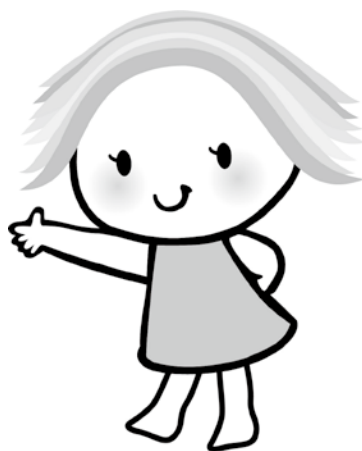
源河大湿帯の御真影奉護壕再現模型



観覧状況 (陣地壕・トーチカの展示)



観覧状況 (源河大湿帯の御真影奉護壕再現模型)



アカナちゃん

(3) 子ども・プロセス企画展

第1回「沖縄が戦場になった日」

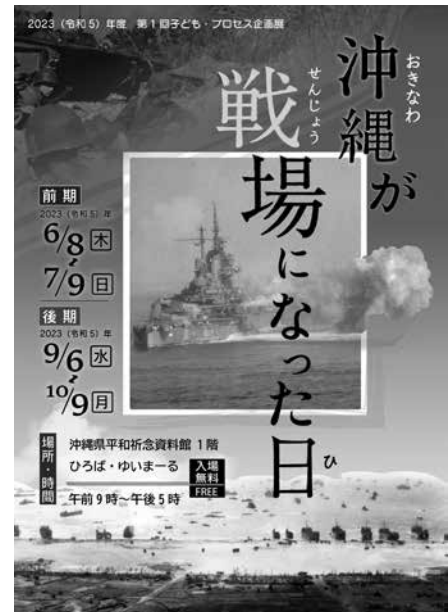
沖縄戦は、太平洋戦争で最大規模の戦闘だったといわれています。激戦地となった沖縄本島では、多くの住民が戦闘に巻き込まれて犠牲となりましたが、被害の状況は地域によって大きな違いがありました。子どもたちが地域の歴史に関心を持ち、沖縄戦の実相についてより深く考える機会となりました。

[期 間] 2023（令和5）年6月8日（木）～7月9日（日）
9月6日（水）～10月9日（月）

[観覧者数] 16,122名



展示の様子



ポスター

第2回「チャレンジ！夏休み自由研究ー沖縄戦について調べてみよう!!ー」

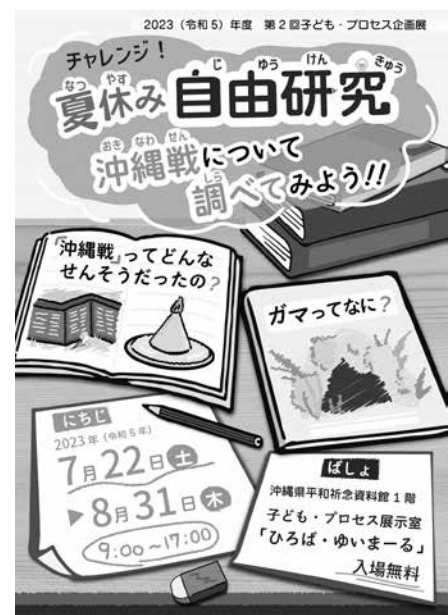
夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行いました。情報ライブラリー内に、自由研究学習コーナーを設置し、子どもたちが学習に集中して取り組めるようにしました。また、子どもたちへの助言・指導のため、会期中に自由研究相談室や子ども教室を開催しました。

[期 間] 2023（令和5）年7月22日（土）～8月31日（木）

[観覧者数] 3,856名



展示の様子



ポスター

第3回「戦争と人びとの暮らし」

満州事変から太平洋戦争終結までの約15年間を中心に、国民の生活がどのように変化したのかを様々な面から展示しました。戦争によって日本各地が壊滅的な被害を受けたことや日本がアジアの各地に大きな被害を与えたことについても取り上げました。戦時下の人びとの姿を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会としました。

[期 間] 2023（令和5）年10月19日（木）～2024（令和6）年3月3日（日）

[観覧者数] 18,359名



展示の様子



ポスター

第4回「太平洋戦争と南洋群島ー日本に支配された南の島々ー」

戦時下の日本は、南洋群島を統治して開発を進めました。沖縄県からも多くの人びとが移民しましたが、太平洋戦争がおこると南洋群島の各地は激しい戦場となりました。南洋群島の歴史や移民の暮らし、そして戦争の被害の実態について展示し、戦争がおこると一般住民が悲惨な被害を受けるといふ歴史的教訓について学習する機会としました。

[期 間] 2024（令和6）年3月8日（金）～5月19日（日）

[観覧者数] 10,261名



展示の様子



ポスター

(4) 2023 (令和5) 年度 ギャラリー展

第1回ギャラリー展「体験者が描いた沖縄戦」

第1回ギャラリー展「体験者が描いた沖縄戦」では、6月23日の慰霊の日に合わせて、当館が所蔵する「沖縄戦の絵」を展示しました。

沖縄戦体験者の方々が自身の過酷な体験を思い出しながら描いた「沖縄戦の絵」を通して、体験者が忘れ去ることが出来なかった沖縄戦の記憶を追体験し、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会としました。

[期間] 2023 (令和5) 年5月2日 (火) ~ 11月6日 (月)



第2回ギャラリー展「戦禍と獅子展」

沖縄戦では約3か月にも及ぶ激しい戦闘で、多くの人命が奪われただけでなく、貴重な文化財なども被害を受けました。その中には、沖縄で古くから地域の守り神として人々に親しまれてきた歴史ある獅子(シーサー)も含まれていました。

そこで、第2回ギャラリー展「戦禍と獅子展」では、沖縄戦の戦禍を受けつつ現在も姿を残すいくつかの獅子について、写真を交え、獅子が辿った歴史を紹介しました。人命を奪い、文化をも破壊する戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会としました。

[期間] 2023(令和5)年12月20日(水)~2024(令和6)年3月14日(木)



第1回ギャラリー展 観覧風景



第2回ギャラリー展 観覧風景

IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録【令和5年4月1日～令和6年3月31日】

(1) 実物資料

個人及び団体より4件(35点)の寄贈の申し出があり、収蔵資料として受け入れました。

番号	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	令和5年7月20日	『おきなは決戦』及び『おきなは決戦』新聞切り抜き	1	内畑 博行
2		冊子『SOBRE GIANTS』	1	
3		冊子『山根部隊に関する冊子』	1	
4		楚辺収容所内作成のメモ	1	
5		『日本名勝地誌』明治34年刊行	1	
6		書籍『COMMODORE PERRY'S VISIT TO OKINAWA』	1	
7		書籍『OKINAWA THE LAST BATTLE PHOTOGRAPHS』	1	
8		書籍『沖縄戦記録写真』	1	
9		書籍『これが沖縄戦だ』	1	
10	令和5年8月4日	アルバム(海軍佐世保鎮守府関係)	1	宮城 ひとみ
11	令和6年2月7日	川平賀徳氏の軍服(昭和18年製)防寒衣 上衣(上着)・ズボン(軍袴)	2	川平 賀彦
12		川平賀徳氏の背景に関する資料(名簿・写真類・書類等)	17	
13	令和6年3月16日	平和の火のランプ	1	沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課
14		平和の礎刻銘板見本	2	
15		平和の礎エリアで使用されている石材見本	2	
16		平和の礎刻銘削除の見本	1	

(2) 図書資料

【受入図書】 2023(令和5)年度は、個人及び県外諸機関より196点の書籍を受け入れました。

【購入図書】 2023(令和5)年度は、81点の図書を購入しました。当館1階の情報ライブラリー、新着資料コーナーで閲覧できます

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
1	令和6年2月22日	忘れられた島々「南洋群島」の現代史	井上 亮	1
2	令和6年2月22日	南洋の日本人町	太田 尚樹	1
3	令和6年2月22日	太平洋諸島の歴史を知るための60章 日本とのかかわり	石森 大和 [編著]	1
4	令和6年2月22日	南太平洋を知るための58章 メラネシア ポリネシア	吉岡 政徳 [編著]	1
5	令和6年2月22日	地図でスッと頭に入るオーストラリアと太平洋の島々	黒崎 岳大 [監修] 昭文社出版編集部 [編]	1
6	令和6年2月22日	地球の歩き方 aruco 33 サイパン テニアン ロタ	地球の歩き方編集室 [編]	1
7	令和6年2月22日	るるぶ パラオ 2017	田中 美穂 [編]	1
8	令和6年2月22日	るるぶ サイパン マニャガハ島 ガラパン 2020	高橋 香理 [編]	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
9	令和6年2月22日	ペリリユー1 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
10	令和6年2月22日	ペリリユー2 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
11	令和6年2月22日	ペリリユー3 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
12	令和6年2月22日	ペリリユー4 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
13	令和6年2月22日	ペリリユー5 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
14	令和6年2月22日	ペリリユー6 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
15	令和6年2月22日	ペリリユー7 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
16	令和6年2月22日	ペリリユー8 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
17	令和6年2月22日	ペリリユー9 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
18	令和6年2月22日	ペリリユー10 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
19	令和6年2月22日	ペリリユー11 楽園のゲルニカ	武田 一義	1
20	令和6年2月22日	ペリリユー—外伝—1	武田 一義	1
21	令和6年2月22日	平和学事典	日本平和学会 [編]	1
22	令和6年2月22日	捕虜収容所・民間人抑留所事典 日本国内編	POW 研究会事典編集委員会 [編]	1
23	令和6年2月22日	美術と戦争 1937-1945	針生 一郎 ほか [編]	1
24	令和6年3月12日	ヨシちゃんの沖縄戦 13歳少女の体験より	中地 フキコ	1
25	令和6年3月12日	B a s i c 沖縄戦 沈黙に向き合う 沖縄戦聞き取り47年	石原 昌家	1
26	令和6年3月12日	黒い記憶—戦場の摩文仁に在りし九歳の—	大城 静子	1
27	令和6年3月12日	なきむしせいとく 沖縄戦にまきこまれた少年の物語	たじま ゆきひこ	1
28	令和6年3月12日	死闘伊江島戦—不沈空母にされたシマー—前編	しんざと けんしん	1
29	令和6年3月12日	死闘伊江島戦—激闘下の女性たち—後編	しんざと けんしん	1
30	令和6年3月12日	沖縄県民スク戦へり 大田實海軍中將一家の昭和史 新装版	田村 洋三	1
31	令和6年3月12日	海に生きる島に祈る —沖縄の祭祀・移民・戦争をたどる—	加藤 久子	1
32	令和6年3月12日	ヤギと少年、洞窟の中へ	池澤 夏樹 [文] 黒田 征太郎 [絵]	1
33	令和6年3月12日	マンガ沖縄・琉球の歴史 新装版	上里 隆史	1
34	令和6年3月12日	日本復帰50年 今昔 未来 沖縄のこと考えてみませんか！ 大人のためのウチナー総合学習書	新城 俊昭	1
35	令和6年3月12日	いまこそ知りたい！沖縄が歩んだ道③ 世界遺産になった沖縄の文化と自然	新城 俊昭 [監修]	1
36	令和6年3月12日	ポスト島ぐるみの沖縄戦後史	古波藏 契	1
37	令和6年3月12日	大学で学ぶ沖縄の歴史	宮城 弘樹 [編]	1
38	令和6年3月12日	戦後沖縄史の諸相 何の隔てがあろうか (ヌーフイダティヌアガ)	齋木 喜美子 ほか [編]	1
39	令和6年3月12日	散策&観賞 沖縄本島編 体験学習スポットガイド	ユニプラン編集部 [編]	1
40	令和6年3月12日	写真が語る銃後の暮らし	太平洋戦争研究会	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
41	令和6年3月12日	戦下のレシピ 太平洋戦争下の食を知る	斎藤 美奈子	1
42	令和6年3月12日	占領下の女性たち 日本と満洲の性暴力・性売買・「親密な交際」	平井 和子	1
43	令和6年3月12日	ラジオと戦争 放送人たちの「報国」	大森 淳郎	1
44	令和6年3月12日	戦時用語の基礎知識 新装版	北村 恒信	1
45	令和6年3月12日	戦争と文化的トラウマ 日本における第二次世界大戦の長期的影響	竹島正 ほか [編]	1
46	令和6年3月12日	「慰安婦」問題ってなんだろう？ あなたと考える戦争で傷つけられた女性たちのこと	梁澄子	1
47	令和6年3月12日	知らなかった、ぼくらの戦争	アーサー・ビナード	1
48	令和6年3月12日	フロッグマン戦記 第2次世界大戦米軍水中破壊工作部隊	アンドリュー・ダビンス	1
49	令和6年3月12日	博物館とコレクション管理 ポスト・コロナ時代の資料の保管と活用 増補改訂版	金山 喜昭 [編]	1
50	令和6年3月12日	改正博物館法詳説・Q & A 地域に開かれたミュージアムをめざして	博物館法令研究会 [編]	1
51	令和6年3月12日	博物館と学芸員のおしごと―博物館概論―	柴 正博	1
52	令和6年3月12日	戦争の時代 1926～1945 上 満洲事変／二・二六事件／日中戦争	半藤 一利	1
53	令和6年3月12日	戦争の時代 1926～1945 下 三国同盟／太平洋戦争／原爆投下	半藤 一利	1
54	令和6年3月12日	戦時下日本の娯楽政策 文化・芸術の動員を問う	戸ノ下 達也	1
55	令和6年3月12日	戦争と平和 子どもと読みたい絵本ガイド	草谷 桂子	1
56	令和6年3月12日	昭和のくらしと道具図鑑 衣食住から年中行事まで	小泉 和子	1
57	令和6年3月12日	戦時下のくらし (別冊太陽 日本のこころ)	小泉 和子 [監修] 竹内 希世乃 ほか [編]	1
58	令和6年3月12日	日本の歴史 20 コンパクト版 激動する世界と日本	安田 常雄 [監修] 鍋田 吉郎 [編]	1
59	令和6年3月12日	戦時下女学生の軍事教練 女子通信手と「身体の兵士化」	佐々木 陽子	1
60	令和6年3月12日	爆弾になったひいじいちゃん	のぶみ	1
61	令和6年3月12日	女性画家たちと戦争	吉良 智子	1
62	令和6年3月12日	女も戦争を担った～昭和の証言～	川名 紀美	1
63	令和6年3月12日	へいわとせんそう	たにかわ しゅんたろう [文] Noritake [絵]	1
64	令和6年3月12日	こども調べ方教室 なぜ調べることが大切なのかがわかる本	バウンド [著] 茂木秀昭 [監修]	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
65	令和6年3月12日	こども気候変動アクション30 未来のためにできること	高橋 真樹	1
66	令和6年3月12日	SDGs自由研究 こどものチカラで未来をつくる	高橋 真樹, 岩崎 由美子	1
67	令和6年3月12日	こころをそだてるSDGsのおはなし かんがえようなかよしのルール	講談社 [編] 榊原 洋一 [監修]	1
68	令和6年3月12日	マンガでわかる!小学生のくらしと日本国憲法	なのなのな [漫画] 木村 草太 [監修]	1
69	令和6年3月12日	まるわかり!日本の防衛 はじめての防衛白書	防衛省大臣官房 広報課防衛白書事務室	1
70	令和6年3月12日	マイマイは美味しいのか 人とカタツムリの関係史	盛口 満	1
71	令和6年3月12日	ドラえもん社会ワールド世界がわかる地政学	藤子・F・不二雄 [まんが] 出口治明 [監修]	1
72	令和6年3月12日	忘れられた島々「南洋群島」の現代史	井上 亮	1
73	令和6年3月12日	南洋群島 國語讀本 第一巻	宮脇弘幸 [監修]	1
74	令和6年3月12日	南洋群島 國語讀本 第二巻	宮脇弘幸 [監修]	1
75	令和6年3月13日	南洋群島 國語讀本 第三巻	宮脇弘幸 [監修]	1
76	令和6年3月13日	南洋群島 國語讀本 第四巻	宮脇弘幸 [監修]	1
77	令和6年3月13日	南洋群島 國語讀本 第五巻	宮脇弘幸 [監修]	1
78	令和6年3月13日	南洋群島 國語讀本 第六巻	宮脇弘幸 [監修]	1
79	令和6年3月13日	南洋群島 國語讀本 第七巻	宮脇弘幸 [監修]	1
80	令和6年3月13日	南洋群島 國語讀本 第八巻	宮脇弘幸 [監修]	1
81	令和6年3月13日	南洋群島 國語讀本 補遺	宮脇弘幸 [監修]	1



本を読むアカナちゃん

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

令和5年度(4/1～3/31)は、県内外あわせて計(75)件、(719)点の貸出を行った。

[県内 51件 398点]

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	那覇市立与儀小学校	平和学習キットA・B	2	4/12～4/26
2	那覇市立高良小学校	平和のウムイ地域版セット(那覇南部) 平和学習キットA	2	4/25～5/13
3	糸満市立喜屋武小学校	平和学習キットA・B	2	5/15～5/29
4	那覇市立城東小学校	平和学習キットA・B	2	5/15～5/29
5	東村立東小中学校	沖縄戦実物資料(7点)	7	5/16～6/5
6	糸満市立真壁小学校	平和学習キットA・B 平和のウムイ地域版セット(那覇南部) 沖縄戦実物資料(15点)	18	5/29～6/11
7	県立大平特別支援学校	児童生徒平和メッセージ作品(9点) 沖縄戦の絵パネル(10点)	19	5/30～6/30
8	県立森川特別支援学校	児童生徒平和メッセージ作品(9点) 平和学習キットB 沖縄戦実物資料(7点)	17	5/30～6/28
9	那覇市立城北小学校	沖縄戦実物資料(4点) 沖縄戦の写真パネル(10点)	14	5/30～6/13
10	県立南部商業高等学校	沖縄戦実物資料(11点)	11	6/1～6/30
11	那覇市立大名小学校	沖縄戦実物資料(4点) 沖縄戦の絵パネル(8点)	12	6/1～6/27
12	西原町立坂田小学校	沖縄戦の写真パネル(13点)	13	6/1～6/30
13	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キットB	1	6/1～6/14
14	北大東村立北大東小中学校	平和学習キットC	1	6/1～6/12
15	豊見城市立わくわく児童館	平和学習キットA・D	2	6/2～6/9
16	糸満市立糸満南小学校	沖縄戦の絵パネル(12点)	11	6/1～6/10
17	那覇市立城東小学校	沖縄戦実物資料(5点)	5	6/2～6/30
18	県立美咲特別支援学校	平和学習キットA・D	2	6/3～6/17
19	那覇市立小祿南小学校	平和学習キットA・D	2	6/4～6/18
20	那覇市立石嶺中学校	平和学習キットA	1	6/4～6/12
21	県立西原高等学校	児童生徒平和メッセージ作品(13点)	13	6/5～6/30
22	与那原町立与那原小学校	平和学習キットD	1	6/5～6/16
23	県立美咲特別支援学校	沖縄戦実物資料(3点)	3	6/5～7/5
24	県立沖縄ろう学校	沖縄戦実物資料(8点)	11	6/6～6/23
25	糸満市立中央図書館	沖縄戦実物資料(7点) 沖縄戦の写真パネル(2点) 沖縄戦の絵パネル(18点) 平和学習キットA・B	29	6/8～6/28
26	浦添市立前田小学校	平和学習キットC 児童生徒平和メッセージ作品(4点)	5	6/8～6/22

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
27	浦添市立浦添小学校	平和学習キット C・D	2	6/8～6/22
28	豊見城市役所	児童生徒平和メッセージ作品 (6点) 沖縄戦の絵パネル (4点) 沖縄戦実物資料 (4点)	14	6/9～6/26
29	県立北山高等学校	平和学習キット B 沖縄戦実物資料 (7点)	8	6/10～6/23
30	渡名喜村立渡名喜小中学校	平和学習キット C	1	6/10～6/24
31	西原町立西原中学校	平和学習キット A	1	6/11～6/25
32	今帰仁村立今帰仁中学校	沖縄戦の絵パネル (4点) 児童生徒の平和メッセージ作品 (2点)	6	6/11～6/25
33	JP 労組沖縄地方本部	沖縄戦の写真パネル (11点)	1	6/13～6/27
34	西原町立西原東中学校	平和学習キット B・C	4	6/12～6/26
35	浦添市立港川小学校	平和学習キット B・C	20	6/12～6/26
36	県立那覇高等学校	沖縄戦実物資料 (8点) 沖縄戦の写真パネル (16点) 児童生徒平和メッセージ作品 (1点) 平和のウムイ地域版 (那覇南部地区)	26	"6/14～7/11 6/14～6/28"
37	沖縄高等特別支援学校	平和学習キット A	1	6/17～6/30
38	ゆたか認定こども園	平和学習キット D 沖縄戦の絵パネル (4点)	5	6/17～6/22
39	西原町立西原小学校	平和学習キット A・B	2	6/18～7/1
40	浦添市立当山小学校	平和学習キット A 沖縄戦実物資料 (5点)	6	6/18～7/2
41	県立開邦高等学校	沖縄戦実物資料 (8点)	8	6/19～6/24
42	浦添市立浦西中学校	沖縄戦実物資料 (15点) 沖縄戦の絵パネル (6点)	21	6/17～7/1
43	浦添市役所	平和のウムイ地域版セット (中部地区)	1	6/21～6/26
44	宗教法人本願寺沖縄別院	児童生徒平和メッセージ作品 (14点)	14	6/22～7/19
45	県立美来工科高等学校	平和学習キット A・B	2	6/27～7/10
46	県立辺土名高等学校	平和学習キット A	1	6/29～7/13
47	県立名護高等学校	沖縄戦実物資料 (9点) 沖縄戦写真パネル (6点)	15	7/4～7/8
48	豊見城市立とよみ小学校	沖縄戦実物資料 (6点) 平和学習キット A・B	8	7/26～7/28
49	嘉手納町役場	沖縄戦の写真パネル (18点) 平和のウムイ地域版 (中部地区)	19	8/7～8/18
50	コープおきなわ	沖縄戦実物資料 (2点)	2	2/20～2/23
51	コープおきなわ	沖縄戦実物資料 (4点)	4	3/19～3/29

[県外 24件 256点]

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	(京都府) 城陽市役所	沖縄戦の写真パネル (20点)	20	6/16～7/14
2	(島根県) 浜田東中学校	沖縄戦の写真パネル (10点)	10	6/19～7/14
3	(埼玉県) 朝霞市役所	沖縄戦の絵パネル (20点)	20	7/7～8/4
4	(三重県) 松阪 平和の会	沖縄戦の絵パネル (10点) 沖縄戦実物資料 (10点)	20	7/24～7/31
5	(東京都) 港区役所	沖縄戦実物資料 (9点) 沖縄戦の写真パネル (11点)	20	7/25～8/25
6	(埼玉県) 入間市役所	沖縄戦実物資料 (11点) 沖縄戦の写真パネル (16点) 平和のウムイ地域版 (北部地区) 平和のウムイ地域版 (石垣地区)	29	7/26～8/8
7	(東京都) 東京 YMCA	平和学習キット C	1	7/31～8/13
8	(大阪府) 岸和田市役所	沖縄戦の写真パネル (20点)	20	7/31～8/10
9	(富山県) 戦時下の暮らし展 実行委員会	沖縄戦実物資料 (14点)	14	8/1～8/23
10	(神奈川県) 厚木市役所	沖縄戦の写真パネル (8点)	8	8/1～8/15
11	(静岡県) 非核平和都市ふじえだ・ 市民の会	平和学習キット C・D	2	8/1～8/15
12	(大阪府) 藤井寺市役所	沖縄戦実物資料 (17点)	17	8/1～8/7
13	(岐阜県) 大垣市役所	平和学習キット C	1	8/2～8/10
14	(奈良県) 三笠中学校	平和メッセージ入賞作品 (4点)	4	8/4～8/24
15	(愛知県) 長久手市役所	沖縄戦の写真パネル (20点)	20	8/4～8/10
16	(福岡県) 沖縄から学ぶ会	平和学習キット C	1	8/4～8/18
17	(埼玉県) NPO 法人文化活動支援会 まつり	沖縄戦実物資料 (2点)	2	8/7～8/21
18	(静岡県) 掛川市勤労者協議会	沖縄戦の写真パネル (20点)	20	8/9～8/14
19	(三重県) 九条の会すずか	平和学習キット A・B	2	8/14～8/24
20	(静岡県) 函南・九条の会	平和学習キット B・C	2	8/28～9/8
21	(兵庫県) 播磨町役場	平和学習キット B・C	2	9/20～10/6
22	(愛知県) 松平高等学校	沖縄戦の写真パネル (14点) 沖縄戦実物資料 (4点)	18	10/16～11/10
23	(栃木県) 鹿沼平和写真展実行委員会	平和学習キット B・C	2	11/1～11/6
24	(埼玉県) 医療生協さいたま生活 協同組合さいわい診療所	平和学習キット B	1	11/20～11/27

当館では、以下の資料を貸出している。

沖縄戦写真パネル (201点)、沖縄戦実物資料 (20種類)、子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セット、
児童・生徒平和メッセージ展入選作品パネル (図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式、
沖縄戦絵パネル (52点)、平和学習キット (4種類)

(2) 証言映像の貸出

令和5年度(4/1～3/31)の貸出実績 12件(30本)〔県内5件15本、県外7件15本〕

県内外の方々により深く沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に、戦争体験証言ビデオ(DVD・Blu-ray)の貸し出しを行っている。県内外の団体や学校が、沖縄戦を取り上げた展示や授業等の資料として活用した。また、修学旅行で資料館を訪れる際の事前学習教材としても活用されている。

当館では、以下の戦争体験証言ビデオ(DVD・Blu-ray)を貸出している。

- ①戦争体験証言ビデオ・DVD(全28巻)・・・1巻に1～3名収録〔全79名〕
- ②DVD『やーさん ひーさん しからーさん～集団疎開学童の証言～』【通常版・ダイジェスト版】
- ③DVD『そしてぼくらは生き残った』・・・米軍撮影の記録映像。捕虜住民の収容所での生活。
- ④DVD『強制集団死(集団自決)に係わる証言映像』
- ⑤DVD『平和のウムイ』(全36巻)・・・1巻に10名収録〔全300名〕
- ⑥DVD『戦争体験者証言多言語吹き替え映像』・・・1枚に1名収録
- ⑦DVD『日系二世が見た戦中・戦後』(全4巻)1巻に4～6名収録〔全19名〕【日本語版・英語版】
- ⑧Blu-ray『住民の見た沖縄戦証言』(2枚1組セット〔全70名〕)
- ⑨戦後の戦争体験者証言映像収録「戦世からのあゆみ」(日本語版DVD6枚に30名収録)
- ⑩戦後の証言映像「世替わりを生きて」(DVD1枚に1名収録)《20名分》



アカナちゃん

3 撮影・掲載等利用一覧

令和6年3月31日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	東京書籍株式会社 代表取締役社長 渡辺 能理夫	○沖縄戦米軍記録写真 227 ○手榴弾（2012年当館資料を北島清隆氏が撮影したもの） [教育資料への掲載]	2	2月21日
2	株式会社ユニフォトプレス インターナショナル 代表取締役 太田 智徳	○沖縄戦米軍記録写真 0233 [学習教材への掲載]	1	3月24日
3	日本親子読書センター 世話人代表 佐藤マリ	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞作品「へいわってすてきだね」 ○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞作品「こわいをして、へいわがわかった」 [機関誌への掲載]	2	4月6日
4	大刀洗町長 中山 哲志	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞作品「『今』必要なこと」 [朗読のための利用]	1	4月12日
5	山梨日日新聞社デジタル推進局 局長 広瀬 直之	○第18回（平成20年度）「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校の部 最優秀賞「世界を見つめる目」 [書籍への掲載]	1	4月25日
6	四日市市総務部人権センター 所長 森 清志	○沖縄戦の戦闘経緯（地図） [配布資料への掲載]	1	4月26日
7	沖縄戦若手研究会 顧問 吉浜 忍	○「鹿山文書」（1945年6月15日） ○久米島での鹿山隊の降伏式写真 [書籍への掲載]	2	4月26日
8	株式会社RBCビジョン 代表取締役社長 川畑 弘樹	○沖縄戦で使用された砲弾（第2展示室内） ○ガマ（第3展示室） ○証言文展示風景（第4展示室） ○展示むすびのことば [撮影及び番組内での放映]	4	5月10日
9	被ばく2世の会ひとり事務局 代表 嶋田 貴子	○沖縄戦の戦闘経緯（図） [講演会用スライドとして複製]	1	5月13日
10	岸和田市長 永野 耕平	○沖縄戦米軍記録写真 226（パネルB-050）、233（パネルE-021）、（パネルB-015） [広報用チラシへの掲載]	3	5月16日
11	岸和田市長 永野 耕平	○沖縄戦米軍記録写真 78（パネルB-051）、267（パネルB-267）、（パネルB-002） [広報用チラシへの掲載]	3	5月19日
12	株式会社RBCビジョン 代表取締役社長 川畑 弘樹	○沖縄戦の絵（W-12）「水を求めて撃たれる人々」 [番組内での放映]	1	5月25日
13	宜野湾市立博物館 館長 平敷 兼哉	○戦争体験証言ビデオ（貸出用DVD資料） NO.30「やーさん ひーさん しからーさん～集団疎開学童の証言～」（通常版） NO.32「そしてぼくらは生き残った」 [展示会場内での放映]	2	5月26日
14	被ばく2世の会ひとり事務局 代表 嶋田 貴子	○沖縄戦米軍記録写真 009、126、140、211、233、234、236、248、287、303、308、353、553、554、560、613、622、653、パネル写真E-23、パネル写真E-069 [講演用スライドとして複製]	20	5月31日
15	株式会社自由国民社 代表取締役社長 石井 悟	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年部 最優秀賞作品「へいわってすてきだね」 [書籍への掲載]	1	6月9日
16	琉球放送株式会社メディア本部ラジオ局 局長 狩俣 倫太郎	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」作文部門 入賞作品 ①小学校低学年の部 最優秀賞「へいわだからたのしいね」 ②小学校高学年の部 優秀賞「平和な時間」 ③小学校高学年の部 優良賞「チムグクル」 ④中学校の部 最優秀賞「大自然の中で平和を願う」 ⑤高等学校の部 最優秀賞「バスケットに込められた思いを胸に」 [ラジオ番組内での放送・利用]	5	6月9日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
17	公益社団法人映像文化製作者連盟 会長 善方 隆	○「やーさん ひーさん しからーさん—集団疎開学童の証言—」 [放映および利用]	1	6月12日
18	株式会社琉球新報社 代表取締役社長 普久原 均	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」作文部門 入賞作品 ①小学校低学年の部 最優秀賞「せかい中にとどきますように」 ②小学校高学年の部 最優秀賞「命ぬバトン」 ③中学校の部 最優秀賞「曾祖父の口癖」 ④高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [ラジオ番組内の放送・利用]	4	6月12日
19	西原町長 崎原 盛秀	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [パンフレットへの掲載、展示資料として複製、朗読のための利用]	1	6月15日
20	沖縄タイム社編集局社会部 部長 赤嶺 由紀子	○当館事業「大人のための平和学習」実施風景写真 [新聞への掲載]	1	6月15日
21	三田市立八景中学校 校長 細見 和孝	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [学校だよりへの掲載]	1	6月16日
22	有限会社ちゅるんカンパニー 代表 三好 和也	○当館外観および柱廊の映像 [撮影及びWEB用映像の放映]	1	6月20日
23	甲斐市立竜王図書館 館長 保坂 俊和	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀作品「へいわってすてきだね」 [スライドとして複製及び朗読のための利用]	1	6月20日
24	草津市人権センター 代表 一浦 暁美	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [広報誌への掲載]	1	6月21日
25	早島町立図書館 館長 吉見 一成	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校(低)の部 最優秀作品「へいわってすてきだね」 [スライドとして複製及び読み聞かせのための利用]	1	6月22日
26	富山県戦時下の暮らし展実行委員会 会長 蒲地 誠	○当館貸出用実物資料写真 ①砲弾の破片(E-06) ②防毒マスク一式(K-02) ③薬品ビン(L-02) ④めがね(M-02) ⑤時計(P-03) [展示会広報チラシへの掲載]	5	6月23日
27	とやま朗読劇の会 代表 浅田 陽子	○第28回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「てをつなごう」 [朗読のための利用]	1	6月25日
28	Mr. Thomas Feldmann	○屋部憲通の軍刀(当館常設展示室内展示資料) [書籍への掲載]	1	6月26日
29	京都府立大学文学部歴史学科 共同研究員 奥谷 三穂	○オリオン座関係写真 ①沖縄捕虜収容所オリオン座のスター ②オリオン座の舞台 ③オリオン座スターたち ④牧港収容所内のオリオン座のスケッチ [書籍への掲載]	4	6月28日
30	東京書籍株式会社 代表取締役社長 渡辺 能理夫	○当館外観写真(数学編集部 熊谷直貴氏撮影) [教科書への掲載]	1	6月29日
31	九条の会すずか 代表世話人 稲垣 恵美子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [複製及び読み聞かせのための利用]	1	6月29日
32	下目黒図書の会 代表 北見 美由貴	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [複製及び読み聞かせのための利用]	1	6月30日
33	日本友和会 理事長 水戸 潔	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [機関誌への掲載]	1	7月2日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
34	三田市立けやき台中学校 校長 古井 善喜	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 優秀賞「いくさ世を知ること」 [学校だよりへの掲載]	1	7月7日
35	高石市人権推進課 課長 木寺 康晴	○沖縄戦米軍記録写真 009、098、113、197、220、226、253、256、268、270、297、298、300、302、307、516、678、714、758、771 [展示用パネルとして複製]	20	7月10日
36	NHK 札幌放送局 旗手 啓介	○沖縄戦証言ビデオ 岡襄氏の証言ビデオ(平成17年収録) [番組内での放映]	1	7月11日
37	多摩住民自治研究所 理事長 荒井 文昭	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [機関誌への掲載]	1	7月12日
38	株式会社小学館 代表取締役社長 相賀 信宏	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 [学習教材への掲載]	1	7月14日
39	沖縄市立図書館 館長 宮城 善章	○第31回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 中学校の部 最優秀賞「みるく世の謳」 ○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「こわいをして、へいわがわかった」 ○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [展示用資料として複製]	3	7月14日
40	桶川市役所 市長 小野 克典	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [朗読のための利用]	1	7月19日
41	みよた9条の会 代表 山本 宗補	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [告知資料への掲載]	1	7月19日
42	株式会社テレビ宮崎 報道部長 寺田 健吾	○沖縄戦写真パネルの写真(B-002、B-005、B-013、B-021、B-023、B-036) ○沖縄戦米軍記録写真(0041、0042) [番組内での放映]	8	7月27日
43	朗読の会「海の音」 代表 富樫 則子	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [朗読のための利用]	1	7月31日
44	株式会社自由国民社 代表取締役社長 石井 悟	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [書籍への掲載]	1	8月14日
45	高原 綾子	○宮國恵助氏関連資料(1999年度寄贈受入資料) [遺族として資料を保管するための複製]	2	8月15日
46	毎日放送 報道情報局 斉加 尚代	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	8月22日
47	日本郵政グループ労働組合信 越地方本部 執行委員長 塚野 秀一郎	○第32回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「おばあちゃんの名前」 [研修レポートへの掲載]	1	8月31日
48	稚内市立図書館 館長 近藤 みのり	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	9月1日
49	音楽と絵本の読み語りグループ SORA 代表 中島 進	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [読み聞かせのための利用]	1	9月2日
50	女声合唱団彩(栗友会) 代表 瀧井 ひさの	○第25回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 [演奏会プログラムへの掲載及び合唱曲としての演奏]	1	9月3日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
51	生活協同組合パルシステム東京 理事長 松野 玲子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校 低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [情報誌への掲載]	1	10月4日
52	蓼沼 紘明	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校 低学年の部 最優秀賞 「へいわってすてきだね」 [書籍への掲載]	1	10月10日
53	健康よろずプラザ 代表顧問 安藤 純夫	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学 校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」 [パンフレットへの掲載及び朗読のための利用]	1	10月27日
54	綿貫 円	○沖縄戦の絵:「伊江島、集団自決1」・「伊江島、集団自決 2」、「日本兵に壕に入るのを拒まれる」、「スパイ容疑をか けられた私」、「手榴弾を配られるひめゆり学徒隊」、「苗原陸 軍病院のひめゆり学徒隊」 ○沖縄戦米軍記録写真 0061、 0085、0132、0234、03710562、0613 [抗議用スライドとして複製・利用]	13	11月3日
55	勢理客 宗吉	○平成9年度収録・編集 戦争体験証言映像(証言者:勢理 客宗英・勢理客宗吉) 関連資料 ①収録映像全編 ②編集 版映像:「本島北部東海岸の戦争」 ③編集版映像の反訳文 [証言者遺族及び本人として保管するため]	3	11月7日
56	ケンタッキー大学現代古典言 語・文学・文化学部 教授 井上 雅道	○「展示むすびのことば」 ○『沖縄県平和祈念資料館総 合案内』(2001年発行) P98～99 掲載写真 [学術書への掲載]	2	11月13日
57	しょうけい館(戦傷病者史料館) 事務局長 北村 明	『沖縄県平和祈念資料館 総合案内』掲載写真 ①鉄の暴風(展 示室風景) ②地獄の戦場(避難民・日本兵) ③傷の手当 を受ける少女 6月21日(沖縄戦米軍記録写真212)	3	11月14日
58	ケンタッキー大学現代古典言 語・文学・文化学部 教授 井上 雅道	○沖縄戦米軍記録写真 032、303(沖縄戦写真パネル E-002-01) [学術書への掲載]	2	11月17日
59	サイバー・ネット・コミュニ ケーションズ株式会社 代表取締役 山路 熟	○沖縄戦米軍記録写真 0147、0253(写真パネル B-042)、 0282(写真パネル E-026-1) ○沖縄戦の絵 W-42「みじ ぐわぬま(みずをおくれ)」 ○当館外観写真 [学習教材への掲載]	5	11月20日
60	三原字誌作成委員会 委員長 浦島 悦子	○戦争体験者証言映像(証言者:勢理客宗英氏・勢理客宗吉 氏)の証言映像(全収録分)から勢理客宗英氏の証言内容 の一部(伊江島徴用に関わる部分)文字起こし資料 [記念誌への掲載]	1	11月21日
61	沖縄県平和祈念資料館友の会 会長 久保田 暁	○沖縄戦米軍記録写真 0191、0311、0421、沖縄戦写真パ ネル E-069 [平和学習資料への掲載]	4	11月22日
62	琉球放送株式会社 代表取締役社長 中村 一彦	○常設展示室第3展示室およびガマ(壕)の展示 [撮影及び番組内での放映]	1	11月22日
63	株式会社山川出版社 代表取締役 野澤 武史	○沖縄戦米軍記録写真 0613 [教科書への掲載]	1	12月7日
64	株式会社マガジンハウス Casa BRUTUS 編集部 編集長 西尾 洋一	○当館外観および内観(エントランスや通路など) [WEB マガジンへの掲載]	1	12月15日
65	広島合唱団 団長 寺本 美和子	○第25回「児童・生徒の平和メッセージ」高等学校の部 詩部門 最優秀賞「みるく世がやゆら」 [パンフレットへの掲載及び演奏としての利用]	1	12月25日
66	RSK 山陽放送株式会社 ラジオ局長 種艸 智和	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校 低学年の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [朗読のための利用]	1	12月27日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
67	(株) ゴールドバリュークリエーション 代表取締役 金見 義教	○常設展示室(第3室・第4室)、子どもプロセス展示室 [沖縄観光 WEB サイトへの掲載]	3	1月18日
68	同志社国際学院初等部 校長 栢田 昌彦	○沖縄戦の絵 [八重山平和祈念館令和5年度企画展「絵と絵本で語りつぐ沖縄戦」展示資料] 及びキャプション ① 10/10 空襲で燃える那覇 ②木にぶら下がった死体 ③家族の悲劇 ④麻酔無い手術 ⑤手榴弾を配られるひめゆり学徒隊 ⑥「赤ちゃんを泣かすな」 ⑦南風原陸軍病院の生き地獄の状況 ⑧銃撃の盾になってくれた特攻隊長 [展示資料として複製]	8	1月22日
69	株式会社毎日新聞社 代表取締役社長 松木 健	○常設展示室「展示むすびのことば」 [新聞記事への掲載]	1	1月26日
70	実教出版株式会社 代表取締役社長 小田 良治	○沖縄戦米軍記録写真 0032 [教科書への掲載]	1	2月2日
71	株式会社 COLEYO 代表 川村 哲也	○沖縄戦の絵 [八重山平和祈念館令和5年度企画展「絵と絵本で語りつぐ沖縄戦」展示資料] 及びキャプション ① 10/10 空襲で燃える那覇 ②木にぶら下がった死体 ③家族の悲劇 ④麻酔無い手術 ⑤手榴弾を配られるひめゆり学徒隊 ⑥「赤ちゃんを泣かすな」 ⑦南風原陸軍病院の生き地獄の状況 ⑧銃撃の盾になってくれた特攻隊長 [プレゼンテーション資料として複製]	8	2月6日
72	徳島県中学校人権教育研究会 代表 森北 博文	○沖縄戦米軍記録写真 0613 ○展示むすびのことば [教育資料への掲載]	2	2月14日
73	東京都世田谷区立武蔵丘小学校 校長 今宮 直樹	○第33回「児童・生徒の平和メッセージ」図画部門 ①小学校(高)の部 最優秀賞「平和の笑顔が続きますように」 ②小学校(高)の部 優秀賞「美しい平和を願って」 ③小学校(低)の部 優秀賞「平和のポケット」 [展示のための複製]	3	2月16日
74	株式会社吉川弘文館 編集 部長 堤 崇志	○大浦崎収容地区(写真資料) ○「鹿山文書(写真資料)」 ○久米島での鹿山隊の降伏式(写真資料) [書籍への掲載]	3	2月19日
75	こえのとびら 代表 鍋島 菜穂子	○第23回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 小学校(低)の部 最優秀賞「へいわってすてきだね」 [朗読のための利用]	1	3月1日
76	株式会社エディターズ 代表取締役 荒田 栄作	○当館外観写真、エントランス、常設展示室(第3展示室、第4展示室) [観光 WEB サイトへの掲載]	4	3月7日
77	沖縄テレビ株式会社 代表取締役社長 船越 龍二	○常設展示室(第3展示室、第4展示室等) [番組内放送のための撮影・放映]	1	3月15日
78	有限会社 代表 大島 善徳	○当館外観写真、常設展示室(第1展示室、第3展示室ガマ)、子ども・プロセス展示室 [書籍への掲載]	4	3月18日
79	一般社団法人音楽樹 理事長 藤井 宏樹	○第25回「児童・生徒の平和メッセージ」詩部門 高等学校の部 最優秀賞「みるく世がやゆら」 [合唱曲演奏のための利用]	1	3月25日
80	株式会社北海道新聞社 代表取締役社長 宮口 宏夫	○第32軍司令官牛島満の肖像写真	1	3月28日

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第33回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえのない文化遺産を失った。戦後78年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



①応募総数 (2,243点)

図画1,032点 作文278点 詩933点

②令和5年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者

私立つくば開成国際高等学校3年 平安名 秋 「今、平和は問いかける」

③展示会

- ・糸満市 (沖縄県平和祈念資料館) 期間：6月23日(木)～7月4日(月)
8月20日(土)～8月31日(水)
- ・石垣市 (八重山平和祈念館) 期間：7月13日(水)～7月22日(金)
- ・宮古島市 (宮古島市未来創造センター) 期間：7月29日(金)～8月7日(日)
- ・名護市 (名護市立中央図書館) 期間：9月8日(木)～9月17日(土)
- ・那覇市 (沖縄県立図書館) 期間：9月28日(水)～10月10日(月)

④表彰式

- ・2023(令和5)年8月19日(土)午後2時～午後3時
沖縄県平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

⑤入賞作品数 (216点)

【小学校低学年の部】 33作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	10	20作品
作文	1	1	1	3	6作品
詩	1	3	3	0	7作品

【小学校高学年の部】 41作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	8	9	20作品
作文	0	1	1	3	5作品
詩	1	2	5	8	16作品

【中学校の部】 50作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	0	10作品
作文	1	2	7	10	20作品
詩	1	2	7	10	20作品

【高等学校の部】 53作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	10	20作品
作文	1	3	5	7	16作品
詩	1	3	5	8	17作品

【特別支援（学校及び学級）の部】 39作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	7	17作品
作文	1	2	3	7	13作品
詩	1	1	2	5	9作品

⑥展示会の様子（沖縄県平和祈念資料館）



展示会開会式（6月23日）



記念撮影（作品の朗読者）（6月23日）



観覧の様子（6月23日）



観覧の様子（表彰式8月19日）



観覧の様子（表彰式8月19日）

⑦ 表彰式の様子



記念撮影
(図画部門)



作品紹介 (図画)



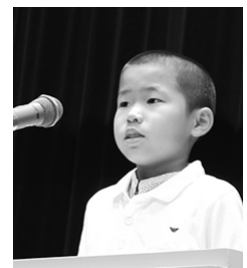
記念撮影
(作文部門)



朗読 (作文)



記念撮影
(詩部門)



朗読 (詩)



賞状授与の様子



(2) 「こどもの日」ビデオ上映会

[期日] 2023 (令和5) 年5月5日 (金)

[場所] 1階平和祈念ホール

[内容] こどもの日は、子どもを対象に無料入館を実施するとともに、沖縄戦に関するアニメの上映会を実施した。



(3) 「慰霊の日」沖縄戦関連ビデオ上映会

[期日] 2023 (令和5) 年6月23日 (金)

[内容] 当館設立理念の普及啓発を図る目的で、慰霊の日は、開館時間を1時間延長するとともに、沖縄戦関連ビデオの上映会を実施している。

(4) 夏休み子ども向け企画

①夏休み自由研究相談室

[期間] 2023 (令和5) 年7月22日 (土) ~ 8月31日 (木) 10:00 ~ 17:00

[場所] 資料館1階 情報ライブラリー

[内容] 沖縄戦に関する自由研究の進め方や分からないことなどの相談を受ける。

[相談者数] 32名

②夏休み子ども教室

[期日] 2023 (令和5) 年7月30日 (日) 13:00 ~ 16:00

[場所] 資料館1階 情報ライブラリー

[内容] 研究シートを使って沖縄戦について学習し、それをまとめて自由研究ノートなどを作る。

[参加者数] 6人



自由研究学習コーナー



夏休み子ども教室

③親子平和フィールドワーク（台風6号襲来の為中止）

〔期日〕8月7日（月）10:00～12:00

〔場所〕糸満市平和祈念公園内

〔参加費〕102円

〔内容〕平和祈念公園内にある戦跡や慰霊碑をまわって、
沖縄戦を追体験しながら考える。

【コース】

- ①平和の礎 ②黎明の塔
- ③第32軍司令部壕
- ④沖縄師範健児の塔
- ⑤金井戸川 ⑥南冥の塔

④親子で学ぶ沖縄戦（台風6号襲来の為中止）

〔期日〕8月6日（日）10:00～12:00

〔場所〕2階大会議室及び常設展示室

〔内容〕親子で平和講話の受講と常設展示室を見学し、
沖縄戦への関心と理解を深める。

⑤平和アニメ上映会

【台風6号襲来の為8月7日（月）のみ開催】

〔期日〕8月5日（土）、7日（月）14:00～16:00

〔場所〕資料館1階 祈念ホール

〔内容〕戦争に関するアニメ作品の鑑賞を通して、
平和の大切さや人権について考える。

沖縄県平和祈念資料館 主催

平和アニメ上映会

8月5日 (土)	90分 原爆の鎮魂歌 (17分)	90分 つばね (40分)	90分 つばね (40分)	90分 つばね (40分)
8月7日 (月)	90分 原爆の鎮魂歌 (17分)	90分 石の島 (24分)	90分 つばね (40分)	90分 つばね (40分)

時間 14:00～16:00

会場 当館1階 祈念ホール

定員 100名程度
(事前または当日申し込み、先着順)

お申込み・お問い合わせ
沖縄県平和祈念資料館
TEL 098-997-3944 (9:00～17:00)
FAX 098-997-3947 HP <http://www.peace-museum.ok.narae.jp/>

入場無料



フィールドワークに行く
アカナちゃん

2 教育機関等との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。

児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、特徴、常設展示室の紹介など、60分程度で要点をおさえて説明するとともに平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。

[平和講話実施状況] 総計 111 校 (117 回) [10,654 人]

- ・小学校 90 校 (91 回) [7,261 人] ・中学校 12 校 (13 回) [1,664 人]
- ・高等学校 6 校 (10 回) [1,325 人] ・特別支援学校 3 校 (3 回) [404 人]



(2) 離島・遠隔地講師派遣事業

[期間] 通年

[実施] 2023 (令和 5) 年 1 月 2 1 日 (火)

恩納村立恩納小学校児童 3 6 名 (6 年生対象)

[場所] 恩納村立恩納小学校 6 年 1 組教室

[講師] 呉屋 広徳 (沖縄県平和祈念資料館 学芸班 主査)

[内容] 所在地が離島又は遠隔地にある沖縄県内の学校 (※) が、当館の展示室見学に係る事前学習又は事後学習として平和講話を依頼する場合、申請理由を検討し当館が当該学校へ講師を派遣する。

【※対象について】

- ① 沖縄県内の学校教育法における小学校、中学校及び高等学校で、所在地が小中学校は国頭地区・恩納村、高等学校・特別支援学校は北部地区にあって、当館での平和講話の受講が困難なもの。
- ② いじめや疾病等の理由で、学校教育法に定める学校に通うことができない児童生徒の教育支援を行っている、いわゆるフリースクールで、所在地が沖縄県内の離島または遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

(3) 児童・生徒の職場体験 (インターンシップ) の受け入れ

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れています。令和 5 年度は、コロナ禍あけで制約なしでの実施になりました。

以下のとおり、県立高校 2 校から 7 名の実習生を受け入れました。

[学校名・人数・期間]

- ・県立那覇商業高等学校（3名） 7月 6日（水）～ 7月 8日（金）
- ・県立沖縄水産高等学校（4名） 7月 12日（水）～ 7月 14日（金）

[実習内容]

- ・貸出資料の点検及び整理 ・展示室の清掃及び管理 ・アンケートの集計作業
- ・平和講話の準備 ・新聞記事のスクラップ ・「平和の礎」の清掃
- ・製本作業の補助 ・パネル作成 ・フィールドワーク

実習生のみなさんは、職場体験で働くことを通して平和について幅広く考える機会となります。また、当館職員にとっても、資料館業務の重要性を再認識し、行政サービスの向上にもつながります。体験した生徒の皆さんが、自分の個性を發揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待しています。



新聞スクラップ作業



資料貸出し業務（梱包・発送作業）



ライブラリーで本の補修



資料館周辺のフィールドワーク

(4) 沖縄少年院連携事業

[期日] 7月6日（木） 10:00～15:30（通年）

[内容] 沖縄少年院の院生を対象に平和講話や常設展示室の案内、
摩文仁の戦跡フィールドワークを実施する。

[実施回数・人数] 1回 2名

(5) 大学連携事業

県内大学のゼミ等と連携した取組を通して、沖縄戦の実相と教訓の継承を担う人材の育成を図る。学芸員養成課程を受講する学生が常設展示室の見学を通して沖縄戦及び平和の大切さについて学習する。

[参加者] 沖縄国際大学 学生18人 教授1名、准教授1名

[日 時] 2024(令和6)年1月31日(水)

13:00～14:00

[内 容] 常設展示室見学



(6) 博物館学芸員実習の受け入れ

[期日] 2023(令和5)年8月23日(水)～8月31日(木)※土日を除く平日7日間

[内容] 県内外の大学で学芸員資格を得ようとする学生を受け入れ、当館事業の一端を学ぶことを通して、学芸員としての資質を磨く。

[受講生] 沖縄国際大学2名



展示パネル作り



フィールドワーク

(7) 大人のための平和学習(入門編)

「1から学ぶ沖縄戦～子・孫と学び会うために～」

[期日] 2023(令和5)年5月28日、6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日、11月26日、12月24日、1月28日、2月25日【10回実施】

[場所] 資料館2階大会議室・常設展示室

[内容] 大人を対象に、平和講話(沖縄戦の経緯と特徴、沖縄戦の記憶の継承)及び常設展示室見学を行う。大人世代が「沖縄戦を1から学ぶ」ことを通して、家庭で子や孫と一緒に沖縄戦や平和について話し合う契機とし、世代間における沖縄戦の実相と教訓の継承に繋げることを目的とする。

[参加者] 合計49名



沖縄戦と継承に関する平和講話



常設展示室における解説

3 講座・講習会・研修会

(1) 県内学校教員向け平和講話等利用案内説明会（臨時休館 R4.12～R5.4.30の為中止）

沖縄戦の実相と歴史的教訓を後世へ正し伝え、平和発信に関する当館の取り組みを広く県内小中高等学校及び特別支援学校等の教育現場に周知し、平和学習における連携を深め、児童・生徒に平和を大切にする「沖縄のこころ」を育むことを目的として、毎年、年度当初に説明会を開催している。

[日 時] 例年4月上旬開催 14:00～15:30

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[参加者] 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等

[内 容] (1) 沖縄県平和祈念資料館について（設立理念、資料館の概要等について）

(2) 2022（令和4）年度事業紹介（児童・生徒の平和メッセージ展等）

(3) 教育機関との連携事業

① 県内学校向け平和講話

② 平和学習キット、証言映像貸出等

③ 離島・遠隔地講師派遣事業

(4) 質疑応答

(2) 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修

教員の中堅教諭を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義及び平和の礎・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[日 時] 令和5年4月25日（火）14時15分～16時45分

[場 所] 各学校及び島尻教育事務所

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校、養護教諭、学校栄養職員、幼稚園・認定こども園 84名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンライン研修

(3) 県立学校初任者研修

県立高等学校及び県立特別支援学校において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 令和5年5月11日（木）14時00分～15時00分

[場 所] 2階大会議室及び常設展示室

[受講者] 県立学校初任者 77名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(4) 養護教諭初任者研修

本年度新採用された養護教諭初任者を対象とする研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 令和5年5月16日（火）10時45分～11時45分

[場 所] 県立総合教育センター 第2研修室（本館3階）

[受講者] 養護教諭初任者 14名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンライン研修

(5) 島尻教育事務所初任者研修

教員の初任者を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義及び常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[日 時] 令和5年6月1日(木) 14時00分～16時45分

[場 所] 2階大会議室及び常設展示室

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校 67名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[変 更] ※台風6号のため、研修内容変更

・オンデマンド配信による各学校での視聴研修(6/16～6/30)

・7月28日(金)13時45分～14時45分(展示室案内：本館学芸班職員)

(6) 幼稚園・認定こども園初任者研修

幼稚園及び認定こども園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 令和5年6月8日(木) 10時50分～12時00分

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 多目的研修等

[受講者] 幼稚園・認定こども園初任者 87名

[内 容] 講義：「学校教育における平和教育の意義と必要性について」

(7) 那覇教育事務所 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修

教員の初任者及び中堅教諭を対象とする那覇教育事務所主催の研修会において講義・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[日 時] 令和5年7月24日(月) 14時30分～16時45分

[場 所] 2階大会議室及び常設展示室

[受講者] 那覇教育事務所管内 小・中学校 27名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(8) 学校栄養職員初任者研修

本年度新採用された学校栄養職員を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、関わり方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。また、児童・生徒が身近に感じる学校給食との関連性から平和を意識させる工夫・改善や、学校教諭との連携を密にしながら平和教育に取り組む姿勢を学ぶことをねらいとしている。

[日 時] 令和5年8月17日(木) 10時00分～12時00分

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 第3研修室(本館3階)

[受講者] 学校栄養職員初任者 5名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

(9) JICA 日系社会研修

沖縄にルーツのある日系人や沖縄県人会等地域社会のリーダーを対象に、沖縄の歴史・文化・戦後復興の歩みを学び、ルーツである沖縄を再認識すると共に、薄れつつある沖縄アイデンティティを強化し、研修員所属日系地域のコミュニティの活性化と発展に寄与する若きリーダーを育成することをねらいとしている。

[日 時] 令和5年10月12日(木) 14時00分～15時00分

[場 所] 2階大会議室(※講義後、常設展示室自由見学)

[受講者] 沖縄にルーツのある県系人 8名

(アルゼンチン、キューバ、ブラジル、ペルー、ボリビア、メキシコ)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウイングス

[内 容] 講義：「沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

(10) JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」

[対象国：インドネシア他14ヶ国]

本研修は、基礎教育行政を担当する開発途上国中央省庁等の行政官を対象とし、教育格差是正にかかる日本や沖縄の経験を学ぶことで、それぞれの国の教育格差に関する課題を明らかにするとともに、実現性・実効性の高い改善策を検討していくことを目的として実施するものである。

[日 時] 令和5年12月11日(月) 14時30分～15時00分

[場 所] 2階大会議室

[受講者] 16名(インドネシア他14ヶ国)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウイングス

[内 容] 講義：「沖縄戦についての講話及び沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

(11) 沖縄県平和祈念資料館講習会

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催している。

[日 時] 令和6年3月14日(木) 13:30～15:45 (15:45～16:45 希望者のみ、展示室見学)

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館2階大会議室、常設展示室

[受講者] 県内観光業、旅行業および案内ガイド等関係機関 28名

[内 容] ・平和祈念資料館の概要について

- ・講話：「沖縄戦の特徴」(講師：平和祈念資料館学芸班学芸員 仲程 勝哉)
- ・平和祈念資料館展示の内容について
- ・館内案内及びポイント解説(希望者のみ)



平和講話の様子



実物資料を手にする受講者



館内を案内する職員

VI 広報活動・出版等

○『沖縄県平和祈念資料館 年報 第23号』

2022（令和4）年度、当館事業の実績報告書に関わる行政資料
入館者の概要、事業内容や活動報告等 A4版116頁、500部
※博物館、図書館等の施設へ配布。

○「資料館だより」 第45号、第46号

資料館の活動報告や事業計画等について掲載。年間2回発行（10月、3月）
A4版8頁、2,500部
※学校団体、公立図書館、博物館施設等へ配布。

○『令和5年度第22回特別企画展 沖縄島北部の戦争遺跡・跡地』

図録：A4版22頁、1,000部 チラシ：A4版2,400枚、ポスターA2サイズ800枚
※学校団体、公立図書館、博物館施設等へ配布。

○「新収蔵品展」 2021年（令和3年）・2022（令和4）寄贈資料

図録 A4版 100部 チラシA4版 500枚
※寄贈者、関係機関等へ配布。

○「第33回児童・生徒の平和メッセージ」

展示会告知ポスターA2サイズ650枚 チラシA4サイズ 3,000枚
次年度作品募集ポスターA3サイズ 4,300枚 報告書：A4版100頁、900部
※県内学校、市町村教育委員会等へ配布。

○『令和5年度「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業報告書』

A4版95頁、850部（日本語版700部・英語版150部）
※参加者（各国・地域）が在籍する大学、国公立図書館、博物館、県内大学、高等学校等に配布。



Ⅶ その他の事業

1 沖縄平和啓発プロモーション事業（戦後の証言映像多言語編集及びWEB公開業務）

（1）実施目的

沖縄戦後の苦難及び復興と発展の道を歩んできた「終戦から復帰までの沖縄」の記憶を次世代に継承し、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に強く発信するために、戦後から日本復帰（1950年代～1972年）までの米国統治下の沖縄に関する証言映像の多言語編集及びWeb公開を行う。

（2）実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 ①戦後の証言映像多言語編集業務：株式会社沖縄コングレ
②戦後の証言映像多言語版 WEB 公開業務：株式会社okicom

（3）事業期間

- ①戦後の証言映像多言語編集業務
2023（令和5）年9月21日～2024（令和6）年1月26日
- ②戦後の証言映像 WEB 公開業務
2023（令和5）年11月14日～2023（令和6）年3月4日

（4）事業内容

2022（令和4）年度に収録・編集（日本語）した27年間に及ぶ米国統治下（「アメリカ世」）の沖縄の諸相を示す証言映像20名分を多言語編集し、Webサイト「世替わりを生きて」において公開した。2023（令和5）年度版Webサイトでは、日本語に加え多言語（英語、中国語、韓国語、スペイン語）に翻訳された字幕映像、略年表、証言文を公開している。

（5）事業成果

当館では、これまで多くの沖縄戦体験者の証言を証言映像として記録し、館内及びWebサイト等。（「戦世の記憶」「戦世からのあゆみ」）を通じて公開している。令和4年度は、新たな取り組みとして、終戦から1972年の日本復帰まで米国統治下におかれた沖縄で、さまざまな体験をされた20名の方々にご自身の体験を語っていただいた。

世界の様々な地域に紛争の火種が見られる昨今、世界の人々と証言者の思いを共有し、平和の尊さと平和構築について考えていくことが重要であると考え、今年度は、多言語（英語・中国語・韓国語・スペイン語）翻訳された字幕映像や証言者の略年表、証言文をWebサイトに新たに加え、公開した。

証言内容は戦後の復興、青年団活動、慰霊と観光、コザの街、高校野球、八重山開拓移民、琉米文化会館、復帰運動など多岐にわたり、当時の沖縄社会の諸相や人々が直面してきた問題などについて知ることができる。映像中には、証言内容に関連した写真や映像等も挿入し、体験内容や当時の状況を理解しやすい構成となっている。国内外、世代を問わず、多くの方々にご覧いただきたい映像ばかりである。



2 令和5年度「平和への思い（ウムイ）発信・交流・継承事業」

(1) 実施目的

沖縄と同様に、悲惨な戦争体験などを有し、体験の継承と平和構築に取り組むアジア諸国と日本の学生が共に学びつつ相互理解を深め、平和について考える機会を提供し、各国・地域の平和教育・平和活動に資するとともに、本事業で培った絆により平和構築のためのネットワーク形成と広く平和のために活動する人材を育成し、事業の成果を平和教育等に継続的に活用する目的で実施しました。

2019(令和元)年から事業が始まり、2022(令和4)年度は、海外の参加者はオンラインで、広島、長崎、沖縄の参加者は対面で参加するという、ハイブリッド形式で事業を実施しました。2023(令和5)年度は、令和元年以来の完全対面実施となり全員沖縄に参集し、共同学習を行いました。

(2) 実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター（OPAC）

(3) 事業期間

- ・2023(令和5)年9月～2023(令和5)年3月15日(金)
- ・共同学習：2023(令和5)年11月20日(月)～11月26日(日)（会場：糸満市観光交流施設くくる糸満ほか）

(4) 参加者

	参加国・地域	学習テーマ	参加者数	
			学生	指導者・通訳
1	カンボジア	カンボジア大虐殺 (ポル・ポト政権下の虐殺)	5名	2名
2	韓国	濟州島4.3事件	5名	1名
3	台湾	2.28事件	5名	1名
4	ベトナム	ベトナム戦争	5名	1名
5	日本(沖縄県)	沖縄戦	5名	1名
6	日本(広島県)	広島県における原爆投下	5名	1名
7	日本(長崎県)	長崎県における原爆投下	5名	1名

注) 学生は、大学生・大学院生である。通訳は指導者が務めた。

(5) 事業成果

今回はコロナ禍あけの開催となり参加者全員が沖縄に一同に会し行うことが出来ました。共同学習では、沖縄戦に関する特別講義のほか、各国・地域から学習テーマの発表及び質疑応答を通して、アジア諸国の学生が戦争等の実相や悲惨な経験を通して得た教訓を学びました。

また、共同学習の日程では、沖縄県平和祈念資料館友の会の上原美智子氏による講話に加え、県平和祈念資料館、平和の礎、糸数アブチラガマ、首里城跡、首里第32軍司令部壕跡及び宜野湾市嘉数高台のフィールドワークに参加し、沖縄戦と戦後復興の歩みを学びました。宜野湾市の嘉数高台では、宜野湾市平和大使の中学生、高校生、大学生のガイドを受けた後に地元の学生らとの意見交換をおこない交流を深めました。さらに、これまで本事業に参加したメンバーとのオンライン交流会を行いました。改めて事業に参加した学生が多面で「平和への思い」を発信し続けている事が伝わりました。最終日には、成果報告会を実施し、各国・地域の学習テーマの発表、「あしたのアジア」というテーマでパネルディスカッションを行いました。

■「平和への思い」発信・交流・継承事業 WEB ページ <http://www.peace-museum.okinawa.jp/umui/>



平和の礎 見学



共同学習



糸数アブチラガマでのフィールドワーク



第3 2軍壕でのフィールドワーク



嘉数高台から普天間基地を眺める



シンポジウム発表



シンポジウム 全員集合

3 カンボジア地雷対策センター (CMAC) 博物館支援事業

1. 事業概要

カンボジア地雷対策センター (CMAC) は長年にわたり過去の戦争や紛争により埋設された地雷や不発弾の除去活動を行い、地域住民に安全な土地を取り戻している。CMAC はカンボジア内外に地雷除去活動を通して平和の大切さを伝える博物館を設立しているが、学芸業務のノウハウを知る職員がおらずメッセージが伝わりにくい施設となっている。

CMAC では令和 8(2026) 年に新博物館の開館を計画しているが、沖縄県平和祈念資料館のような平和を希求する心を伝える「平和博物館」にしたいというニーズがあり、過去にカンボジアのトゥール・スレン虐殺博物館で職員の人材育成を経験した沖縄県が博物館を運営する職員に学芸業務のノウハウを伝える事業を実施する。

本事業は、JICA 草の根技術協力事業 (地域活性型) の一環で、沖縄県 (主管:子ども生活福祉部女性力・平和推進課) が提案団体、特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター (OPAC) を指定団体として実施、県平和祈念資料館は協力機関として本邦研修の受け入れ等を行う。実施期間は令和 5(2023) 年 10 月から令和 8(2026) 年 1 月まで。

2. 第 1 回専門家派遣 令和 5(2023) 年 11 月 12 日 (日) ~ 11 月 19 日 (日)

(1) 派遣員

- ・園原 謙 (専門家/沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員)
- ・新垣 耕 (提案団体担当/女性力・平和推進課 平和推進班 班長)
- ・呉屋 広徳 (沖縄県平和祈念資料館 学芸班 主査)
- ・仲程 勝哉 (沖縄県平和祈念資料館 学芸員)
- ・仲泊 和枝 (プロジェクトマネージャー/沖縄平和協力センター (OPAC) 理事長)

(2) 目的

- ① CMAC と事業全体について目的や活動、ゴールなどの協議・合意
- ② 本邦研修の内容、参加職員の確認
- ③ CMAC 側に「設立理念策定」に関する専門家 (園原氏) によるプレゼンテーションの実施
- ④ シェムリアップの現 PMMA を視察し、新 PMMA の建設状況や展示物などについて協議、収蔵リストなどの確認
- ⑤ カンボジアの歴史、文化などの視察 (派遣団員の事業実施に向けた理解促進)

(3) 日程

- 11/12・移動日 (那覇→仁川→プノンペン)
- 11/13・トゥール・スレン虐殺博物館 (館長表敬、視察)
 - ・キリングフィールド (視察)
- 11/14・CMAC 本部にて協議 (長官への表敬、事業目標・活動・スケジュール等の説明、CMAC 側による事業への期待など、園原氏によるプレゼンテーション「博物館設立理念策定の重要性」)
 - ・JICA カンボジア事務所 訪問 (カンボジア事務所所長表敬、事業実施の今後のスケジュール等説明)
- 11/15・シェムリアップへ移動 (5 時間)
 - ・世界遺産サンポープレクック遺産群 (※CMAC 長官の勧めで急遽視察)
 - ・Peace Museum of Mine Action (CMAC の地雷対策博物館、略称: PMMA) 視察
- 11/16・CMAC 長官による PMMA 屋外展示案内及び、新博物館建設予定地視察
 - ・本邦研修内容の説明 (事業活動内容の確認、事業費執行の説明など)
 - ・CMAC 地雷処理訓練施設の視察 (コロンビアの研修生への訓練 ※当初予定にはなかったが、CMAC のコロンビアに対する協力状況を確認)
 - ・派遣団員打合せ (これまでの協議等を踏まえ、事業内容の再確認、本邦研修内容の確認など)
- 11/17・アンコール遺跡群視察
 - ・プノンペンへ移動 (5 時間)
- 11/18・ウィン・ウイン独立記念塔、周辺公園 (屋外展示やモニュメント) を視察
 - ※当初予定にはなかったが、塔内の展示が新博物館に関係するとのことで視察 (結果的には塔内の展示室は事前申請が必要とのことで参観できず)
 - ・カンボジア国立博物館視察 (カンボジア国立博物館長 (ヴィソット氏) との意見交換)
 - ・カンボジア王宮視察

- ・ JICA 林専門家と意見交換
- ・ 空港へ移動

11/19・移動日(プノンペン→仁川→那覇)

(4) 専門家派遣後の実施方針

- ・ 本邦研修については協議の際に、CMAC 側と実施のスケジュール、研修員数を確認し、第 1 回本邦研修は当初の予定通り、令和 6(2024)年 1 月 14 日～2 月 10 日に実施することを確認。
- ・ 第 2 回本邦研修は、新博物館本体の工事が 4～5 ヶ月遅れることが見込まれ、当初の予定より時期を見直し、2025 年 1 月に実施することとし、こちらも合意。
- ・ 第 1 回本邦研修参加者については、派遣中の協議では未定であったが、12 月 13 日に参加者決定。

3. 第 1 回本邦研修 令和 6(2024)年 1 月 14 日(日)～2 月 10 日(土)

(1) 研修員 (カンボジア地雷対策センター職員 4 名)

- ① Ms. Sim Panha シム パンジャ (副館長、TPM インテリアデザイナー)
- ② Mr. Cheng Sengchhim チェン センチム (TPM サイトマネージャー)
- ③ Mr. Sy Engdararith シー エンダラリット (TPM インテリアデザイナー)
- ④ Mr. Pov Makara ポー マカラ (TPM のデータベースと情報管理担当)

(2) 指導者

- 園原 謙 (沖縄県立博物館・美術館 博物館班 主任学芸員)
 仲程勝哉 (沖縄県平和祈念資料館 学芸員)
 呉屋広徳 (同上 学芸班 主査)
 新垣 耕 (女性力・平和推進課 平和推進班 班長)

スーパーバイザー参加: Mr. Oum Phumro (カンボジア地雷対策センター副長官、2 月 5 日～10 日)

研修監理員: Mr. Kry Menang (日本語⇄クメール語 全日程配置)

プロジェクトマネージャー: 仲泊和枝 (沖縄平和協力センター (OPAC) 理事長 全日程帯同)

(3) 実習概要

本邦研修は、主に沖縄県平和祈念資料館の一室を研修拠点として 4 週間実施した。講師は、主に博物館の運営や展示構成を指導する園原氏が主担当講師となり、沖縄県平和祈念資料館学芸員の仲程が講師補佐を務めた。カリキュラムは週ごとにまとめて行った。

- ・ 1 週目は平和資料館の展示構成、沖縄県の平和行政、博物館の設立理念について座学や演習を通して、博物館運営の基礎知識の研修を行った。
- ・ 2 週目は新博物館の展示構成について研修員から説明を受け、講師と展示物の内容についての助言や意見交換を行った。2 週目の後半は、広島平和記念資料館を視察した。
- ・ 3 週目は教育普及について研修を行った。研修員はカンボジアの歴史や内戦、地雷の状況、CMAC の活動などについて多くの写真を利用しパワーポイント資料にまとめ、県内の小学校と高校で「カンボジアの平和づくり」と題して平和講話を行った。週の後半に、ひめゆり平和祈念資料館、対馬丸記念館、名護博物館、沖縄美ら海水族館を視察し、それぞれの目的を持って設立された館について理解を深めた。
- ・ 4 週目は、写真企画展の準備、開催を行った。研修員には、来沖前にあらかじめ写真展の主旨と使用する写真データを持参するように伝えており、100 枚以上のデータを集めて来ていた。設けていた 3 日間の準備期間で、展示構成を決め、パネル等を作成して、展示場に張り付ける作業を行った。

(4) 研修の所見

- ・ 今回の研修で研修員が得た大きな学びは、博物館を「住民目線で展示する」ということと展示構成の動線や展示の基本的な考え方や手法について理解したことかと思われる。現博物館は地雷、砲弾、武器、義足などが整然と並べられていて、平和を希求する CMAC が発信したいメッセージが分かりにくい展示内容になっているが、今後建設される新博物館はゾーンごとに意味を持たせエピソードには平和な社会を次世代に託し、平和を創造することを学ぶことができる博物館 (Museum for Peace) になるべきであると強く感じてようである。

(5) 写真企画展「カンボジア王国の平和のあゆみ」令和6(2024)年2月7日(水)～2月21日(水)
 開催場所 沖縄県平和祈念資料館 1階 企画展示室
 研修成果発表の一環として、カンボジアの過去の争いの歴史、そして安全・安心の生活ができる
 国土の回復に尽力してきたCMACの平和創造の活動について、広く県民に紹介するための写真企
 画展を開催した。

カンボジア地雷対策センター (CMAC) 博物館支援事業 実施状況写真
 第1回専門家派遣



CMAC 本部での協議 (R5.11/14)



新博物館建設予定地視察 (R5. 11/16)

第1回本邦研修



研修状況 (R5.1/29)



展示物作成状況 (R5.2/5)



写真企画展開会式 (2/7)



研修生取材対応 (2/7)

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館 日数	一日平均 入館者数※1 #DIV/0!	入館者 総数※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
2023年4月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0		0
2023年5月	6,650 (212)	983 (231)	7,633 (443)	2,816 (464)	20,935 (4359)	23,751 (4823)	9,466 (676)	21,918 (4590)	31,384 (5266)	31	1,012	36,190
2023年6月	8,560 (2278)	1,883 (1027)	10,443 (3305)	3,171 (494)	20,466 (5076)	23,637 (5570)	11,731 (2772)	22,349 (6103)	34,080 (8875)	30	1,136	44,437
2023年7月	6,720 (168)	1,607 (18)	8,327 (186)	750 (282)	3,092 (1671)	3,842 (1953)	7,470 (450)	4,699 (1689)	12,169 (2139)	31	393	18,511
2023年8月	6,279 (152)	2,800 (29)	9,079 (181)	499 (176)	319 (0)	818 (176)	6,778 (328)	3,119 (29)	9,897 (357)	25	396	15,316
2023年9月	5,107 (118)	1,188 (22)	6,295 (140)	804 (213)	3,652 (1303)	4,456 (1516)	5,911 (331)	4,840 (1325)	10,751 (1656)	30	358	15,603
2023年10月	6,079 (165)	636 (10)	6,715 (175)	3,223 (129)	35,131 (734)	38,354 (863)	9,302 (294)	35,767 (744)	45,069 (1038)	31	1,454	47,857
2023年11月	6,875 (711)	2,965 (2341)	9,840 (3052)	4,026 (257)	39,761 (1206)	43,787 (1463)	10,901 (968)	42,726 (3547)	53,627 (4515)	30	1,788	56,315
2023年12月	4,801 (155)	824 (18)	5,625 (173)	2,479 (413)	26,106 (889)	28,585 (1302)	7,280 (568)	26,930 (907)	34,210 (1475)	28	1,222	36,673
2024年1月	4,915 (188)	692 (32)	5,607 (220)	912 (163)	7,028 (856)	7,940 (1019)	5,827 (351)	7,720 (888)	13,547 (1239)	28	484	17,845
2024年2月	6,166 (220)	1,176 (17)	7,342 (237)	1,549 (104)	8,916 (131)	10,465 (235)	7,715 (324)	10,092 (148)	17,807 (472)	29	614	22,369
2024年3月	7,355 (219)	2,450 (24)	9,805 (243)	2,237 (165)	4,615 (79)	6,852 (244)	9,592 (384)	7,065 (103)	16,657 (487)	31	537	23,714
合計	69,507 (4586)	17,204 (3769)	86,711 (8355)	22,466 (2860)	170,021 (16304)	192,487 (19164)	91,973 (7446)	187,225 (20073)	279,198 (27519)	324	862	334,830

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧												計	観覧者 総数	開館 日数	平均
	観覧券種別						出身別									
	大人個人 (%)		大人団体 (%)		小人個人 (%)		小人団体 (%)		県内		県外					
2000年度	161,361 (38)	71,140 (17)	24,658 (6)	163,644 (39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552				
2001年度	111,197 (37)	62,902 (21)	18,195 (6)	107,802 (36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074				
2002年度	97,221 (29)	40,624 (12)	17,362 (5)	184,047 (54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206				
2003年度	101,015 (27)	37,618 (10)	17,236 (5)	214,535 (58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284				
2004年度	91,980 (26)	33,004 (9)	16,329 (5)	215,603 (60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263				
2005年度	96,355 (25)	35,303 (9)	18,972 (5)	230,791 (61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325				
2006年度	107,813 (26)	33,767 (8)	21,342 (5)	253,821 (61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253				
2007年度	107,767 (26)	35,679 (9)	20,563 (5)	245,093 (60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228				
2008年度	96,789 (24)	32,933 (8)	18,998 (5)	252,573 (63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207				
2009年度	86,412 (23)	34,241 (9)	16,252 (4)	237,756 (64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135				
2010年度	81,124 (22)	31,767 (9)	15,092 (4)	234,255 (65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116				
2011年度	69,648 (19)	28,662 (8)	11,586 (3)	249,400 (70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103				
2012年度	70,341 (21)	29,600 (9)	10,469 (3)	227,827 (67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044				
2013年度	74,165 (22)	26,641 (8)	11,004 (3)	232,295 (68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046				
2014年度	70,529 (21)	27,000 (8)	10,276 (3)	223,917 (68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026				
2015年度	78,673 (23)	29,449 (9)	12,481 (4)	218,478 (64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037				
2016年度	75,390 (22)	27,261 (8)	12,454 (4)	226,001 (66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046				
2017年度	77,008 (24)	26,842 (8)	13,428 (4)	209,461 (64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002				
2018年度	73,156 (23)	26,482 (8)	13,434 (4)	204,277 (64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999				
2019年度	75,543 (25)	23,743 (8)	11,951 (4)	194,972 (64)	5,424	286,333	14,452	306,209	33,422	339,631	352	965				
2020年度	21,096 (52)	1,838 (5)	4,053 (10)	13,485 (33)	3,542	34,994	1,936	40,472	7,104	47,576	278	171				
2021年度	20,046 (36)	2,780 (5)	4,168 (8)	28,436 (51)	1,732	52,002	1,696	55,430	11,337	66,767	237	282				
2022年度	38,961 (28)	7,931 (6)	8,801 (6)	81,988 (60)	4,163	130,429	3,089	137,681	22,115	159,796	243	658				
2023年度	64,921 (26)	19,606 (8)	13,435 (5)	153,717 (61)	5,930	231,837	13,912	251,679	27,519	279,198	324	862				
累計								7,622,037	756,206	8,378,243	7,942	1,055				

参考

慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数		入館者数		入館者数	
	年度	入館者数	年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2011年度	3,665	2022年度	2,697	
2001年度	3,157	2012年度	3,240	2023年度	2,959	
2002年度	4,750	2013年度	3,797	合計	84,962	
2003年度	4,259	2014年度	3,239			
2004年度	4,849	2015年度	4,007			
2005年度	3,815	2016年度	3,701			
2006年度	2,813	2017年度	3,619			
2007年度	3,785	2018年度	3,333			
2008年度	4,257	2019年度	2,888			
2009年度	4,649	2020年度	1,038			
2010年度	5,479	2021年度	0			

3 月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況

月	児童・生徒・学生														その他 団体見学者 (小人)	合計	
	県内							県外									
	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学			計
4月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	40 (40)	8 (8)	1 (0)	1 (0)	50 (48)	1 (1)	103 (103)	29 (1)	0 (0)	133 (1)	41 (40)	111 (8)	30 (1)	1 (0)	183 (49)	8 (2)	191 (51)
人数	3,281 (3,260)	1,084 (1,084)	26 (0)	4,413 (4,344)	4,413 (4,344)	50 (0)	12,050 (12,050)	4,214 (0)	0 (0)	16,314 (16,314)	3,331 (3,260)	13,134 (10,844)	4,240 (0)	22 (0)	20,727 (4,344)	208 (15)	20,935 (4,359)
6月	45 (45)	13 (13)	3 (3)	0 (0)	61 (61)	3 (0)	57 (0)	48 (0)	1 (0)	109 (0)	48 (45)	70 (13)	51 (3)	1 (0)	170 (61)	23 (10)	193 (71)
人数	3,124 (3,124)	1,358 (1,358)	521 (521)	0 (0)	5,003 (5,003)	169 (0)	7,533 (0)	7,468 (0)	52 (0)	15,222 (15,222)	3,293 (3,124)	8,891 (1,358)	7,989 (521)	52 (0)	20,225 (5,003)	176 (73)	20,401 (5,076)
7月	10 (10)	1 (1)	5 (5)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	6 (0)	6 (0)	0 (0)	12 (0)	10 (10)	7 (2)	11 (5)	0 (0)	28 (17)	10 (0)	38 (17)
人数	994 (920)	0 (0)	751 (751)	0 (0)	1,745 (1,671)	0 (0)	452 (0)	682 (0)	0 (0)	1,134 (0)	994 (920)	452 (0)	1,433 (751)	0 (0)	2,879 (1,671)	195 (0)	3,074 (1,671)
8月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	7 (0)	9 (0)
人数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (0)	21 (0)	0 (0)	26 (0)	0 (0)	7 (0)	33 (0)	0 (0)	26 (0)	0 (0)	28 (0)	54 (0)	265 (0)	319 (0)
9月	10 (10)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	2 (0)	11 (1)	3 (0)	16 (2)	10 (10)	4 (3)	12 (2)	3 (0)	29 (15)	2 (0)	31 (15)
人数	682 (682)	396 (396)	83 (83)	0 (0)	1,161 (1,161)	0 (0)	90 (0)	1,976 (0)	114 (0)	2,180 (2,180)	682 (682)	486 (396)	2,059 (83)	114 (0)	3,341 (1,161)	311 (142)	3,652 (1,303)
10月	11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	1 (0)	15 (0)	174 (0)	0 (0)	190 (0)	12 (11)	16 (2)	175 (1)	0 (0)	203 (14)	4 (0)	207 (14)
人数	351 (348)	76 (76)	310 (310)	0 (0)	737 (734)	28 (0)	1,344 (0)	32,893 (0)	0 (0)	34,265 (34,265)	379 (348)	1,420 (76)	33,203 (310)	0 (0)	35,002 (734)	112 (0)	35,114 (734)
11月	22 (22)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	25 (24)	0 (0)	11 (0)	204 (2)	0 (0)	215 (3)	22 (22)	12 (2)	205 (3)	1 (0)	240 (27)	5 (3)	245 (30)
人数	678 (678)	179 (179)	310 (310)	21 (0)	1,188 (1,167)	0 (0)	1,335 (0)	37,179 (39)	0 (0)	38,514 (39)	678 (678)	1,514 (179)	37,489 (349)	21 (0)	39,702 (1,206)	59 (0)	39,761 (1,206)
12月	15 (15)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	25 (0)	134 (0)	1 (0)	160 (0)	15 (15)	27 (2)	136 (2)	1 (0)	179 (19)	4 (4)	183 (23)
人数	528 (528)	86 (86)	269 (269)	0 (0)	883 (883)	0 (0)	2,405 (0)	22,680 (0)	61 (0)	25,146 (25,146)	528 (528)	2,491 (86)	22,949 (269)	61 (0)	26,029 (883)	77 (6)	26,106 (889)
1月	7 (7)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	9 (9)	1 (0)	4 (0)	37 (0)	0 (0)	42 (0)	8 (7)	6 (2)	37 (0)	0 (0)	51 (9)	5 (0)	56 (9)
人数	447 (447)	409 (409)	0 (0)	0 (0)	856 (856)	46 (0)	347 (0)	5,524 (0)	0 (0)	5,917 (5,917)	493 (447)	756 (409)	5,524 (0)	0 (0)	6,773 (856)	210 (0)	6,983 (856)
2月	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	8 (0)	45 (0)	3 (0)	57 (0)	3 (2)	8 (0)	45 (0)	3 (0)	59 (2)	2 (1)	61 (3)
人数	131 (131)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	131 (131)	47 (0)	1,163 (0)	7,320 (0)	241 (0)	8,771 (8,771)	178 (131)	1,163 (0)	7,320 (0)	241 (0)	8,902 (131)	14 (0)	8,916 (131)
3月	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	42 (0)	0 (0)	42 (0)	2 (2)	0 (0)	42 (0)	0 (0)	44 (2)	6 (1)	50 (3)
人数	79 (79)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	79 (79)	0 (0)	0 (0)	4,296 (0)	0 (0)	4,296 (4,296)	79 (79)	0 (0)	4,296 (0)	0 (0)	4,375 (79)	188 (0)	4,563 (79)
人数	164 (164)	30 (30)	14 (13)	3 (0)	211 (207)	7 (0)	232 (4)	730 (4)	8 (0)	977 (8)	171 (164)	262 (34)	744 (17)	11 (0)	1,188 (215)	76 (21)	1,264 (236)
合計	10,295 (10,197)	3,588 (3,588)	2,270 (2,244)	64 (0)	16,217 (16,029)	340 (0)	26,745 (0)	124,232 (39)	475 (0)	151,792 (39)	10,635 (10,197)	30,333 (35,888)	126,502 (22,83)	539 (0)	168,009 (1,6068)	1,815 (236)	169,824 (1,6304)

() は内数で無料入館者数

4 市町村別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 那覇市	20	1,635	5	553	4	368	1	22	30	2,578	28	1,260	58	3,838
2 うるま市	10	738	4	482	2	554	0	0	16	1,774	2	142	18	1,916
3 宜野湾市	5	648	1	220	1	20	0	0	7	888	5	139	12	1,027
4 宮古島市	15	586	1	53	0	0	0	0	16	639	1	109	17	748
5 石垣市	12	421	0	0	0	0	0	0	12	421	1	62	13	483
6 浦添市	5	702	2	491	0	0	0	0	7	1,193	13	616	20	1,809
7 名護市	13	699	0	0	0	0	0	0	13	699	0	242	13	941
8 糸満市	9	470	4	268	2	550	0	0	15	1,288	10	201	25	1,489
9 沖縄市	7	727	4	708	2	407	0	0	13	1,842	8	362	21	2,204
10 豊見城市	9	883	0	0	0	0	0	0	9	883	7	219	16	1,102
11 南城市	7	454	0	0	0	0	0	0	7	454	2	71	9	525
12 国頭村	2	30	0	0	0	0	0	0	2	30	1	27	3	57
13 大宜味村	1	24	0	0	0	0	0	0	1	24	0	2	1	26
14 東 村	1	8	0	7	0	0	0	0	1	15	0	10	1	25
15 今帰仁村	2	73	0	0	0	0	0	0	2	73	0	7	2	80
16 本部町	2	52	0	0	0	0	0	0	2	52	1	49	3	101
17 恩納村	3	75	0	0	0	0	0	0	3	75	2	58	5	133
18 宜野座村	1	16	1	86	0	0	0	0	2	102	0	10	2	112
19 金武町	2	59	0	0	0	0	0	0	2	59	1	32	3	91
20 伊江村	1	20	0	0	0	0	0	0	1	20	0	4	1	24
21 読谷村	0	0	0	0	1	310	0	0	1	310	2	56	3	366
22 嘉手納町	3	87	0	0	1	26	0	0	4	113	6	217	10	330
23 北谷町	2	154	1	198	0	0	0	0	3	352	2	68	5	420
24 北中城村	0	0	1	38	1	35	0	0	2	73	3	76	5	149
25 中城村	1	38	1	176	0	0	0	0	2	214	3	179	5	393
26 西原町	4	411	1	190	0	0	2	42	7	643	0	44	7	687
27 八重瀬町	4	442	2	107	0	0	0	0	6	549	1	166	7	715
28 与那原町	3	242	0	0	0	0	0	0	3	242	2	23	5	265
29 南風原町	4	398	1	11	0	0	0	0	5	409	2	79	7	488
30 久米島町	3	66	0	0	0	0	0	0	3	66	0	14	3	80
31 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 粟国村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 南大東村	1	13	0	0	0	0	0	0	1	13	0	3	1	16
36 北大東村	1	7	0	0	0	0	0	0	1	7	0	4	1	11
37 伊平屋村	1	16	0	0	0	0	0	0	1	16	0	5	1	21
38 伊是名村	1	19	0	0	0	0	0	0	1	19	0	4	1	23
39 多良間村	1	11	0	0	0	0	0	0	1	11	0	4	1	15
40 竹富町	5	54	0	0	0	0	0	0	5	54	0	21	5	75
41 与那国町	2	17	0	0	0	0	0	0	2	17	0	8	2	25
合 計	163	10,295	29	3,588	14	2,270	3	64	209	16,217	103	4,593	312	20,810

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

都道府県名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	0	0	2	206	17	1,829	0	0	19	2,035	7	333	26	2,368
2 青森県	0	0	0	0	1	102	0	0	1	102	2	58	3	160
3 岩手県	0	0	0	0	4	254	0	0	4	254	3	101	7	355
4 宮城県	0	0	1	79	2	179	0	0	3	258	2	90	5	348
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	1	21
6 山形県	0	0	1	104	4	330	0	0	5	434	2	77	7	511
7 福島県	0	0	2	148	2	143	0	0	4	291	3	126	7	417
8 茨城県	0	0	0	0	20	3,291	0	0	20	3,291	4	312	24	3,603
9 栃木県	0	0	0	0	21	3,484	0	0	21	3,484	2	460	23	3,944
10 群馬県	0	0	0	0	15	2,614	0	0	15	2,614	1	210	16	2,824
11 埼玉県	0	0	2	255	64	14,428	0	0	66	14,683	13	1,259	79	15,942
12 千葉県	0	20	1	34	49	10,304	1	142	51	10,500	16	789	67	11,289
13 東京都	2	120	13	1,732	154	26,898	3	108	172	28,858	107	4,066	279	32,924
14 神奈川県	0	4	5	745	73	15,653	0	0	78	16,402	31	1,180	109	17,582
15 新潟県	0	0	0	0	8	1,247	1	61	9	1,308	1	88	10	1,396
16 富山県	0	0	1	154	0	0	0	0	1	154	3	90	4	244
17 石川県	0	0	0	0	2	358	0	0	2	358	0	17	2	375
18 福井県	0	0	0	0	8	1,480	0	0	8	1,480	1	122	9	1,602
19 山梨県	0	0	1	16	16	1,985	0	7	17	2,008	8	202	25	2,210
20 長野県	0	0	1	81	11	1,632	0	0	12	1,713	3	155	15	1,868
21 岐阜県	0	0	0	0	36	6,162	0	0	36	6,162	2	357	38	6,519
22 静岡県	0	0	1	104	40	5,668	0	0	41	5,772	3	411	44	6,183
23 愛知県	0	0	8	1,459	55	9,824	2	105	65	11,388	28	848	93	12,236
24 三重県	0	0	2	94	7	693	0	0	9	787	5	158	14	945
25 滋賀県	0	0	2	448	5	927	0	0	7	1,375	12	118	19	1,493
26 京都府	1	29	16	2,168	17	1,815	0	0	34	4,012	35	433	69	4,445
27 大阪府	0	0	56	7,497	21	3,648	0	0	77	11,145	105	1,449	182	12,594
28 兵庫県	2	93	38	4,502	20	3,580	1	52	61	8,227	53	830	114	9,057
29 奈良県	0	0	11	1,273	0	0	0	0	11	1,273	18	150	29	1,423
30 和歌山県	0	0	2	77	2	224	0	0	4	301	2	53	6	354
31 鳥取県	0	0	0	0	2	35	0	0	2	35	2	33	4	68
32 島根県	0	0	0	0	2	190	0	0	2	190	1	15	3	205
33 岡山県	0	0	19	1,367	7	240	0	0	26	1,607	8	226	34	1,833
34 広島県	0	0	13	1,395	20	2,721	0	0	33	4,116	6	593	39	4,709
35 山口県	0	0	0	0	2	143	0	0	2	143	1	79	3	222
36 徳島県	0	0	3	324	0	0	0	0	3	324	0	27	3	351
37 香川県	0	0	5	638	1	138	0	0	6	776	1	89	7	865
38 愛媛県	0	0	0	0	3	177	0	0	3	177	0	9	3	186
39 高知県	0	0	6	567	0	0	0	0	6	567	0	47	6	614
40 福岡県	0	0	5	620	12	1,719	0	0	17	2,339	12	463	29	2,802
41 佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	54	1	54
42 長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43 熊本県	0	0	8	470	1	18	0	0	9	488	1	87	10	575
44 大分県	0	0	0	0	1	37	0	0	1	37	3	82	4	119
45 宮崎県	0	0	0	0	2	62	0	0	2	62	3	115	5	177
46 鹿児島県	2	74	2	188	0	0	0	0	4	262	1	55	5	317
合計	7	340	227	26,745	727	124,232	8	475	969	151,792	513	16,537	1,482	168,329
47 沖縄県	163	10,295	29	3,588	14	2,270	3	64	209	16,217	103	4,593	312	20,810

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

6 県内小・中・高校の地区別入館状況

沖縄県平和祈念資料館 令和5(2023)年度実績

県内小・中・高校の地区別入館状況



県内小・中・高校の入館校数

小学校**163**校 中学校**29**校 高等学校**14**校

(県内学校総数 小学校268校 中学校149校 高校63校 特支22校)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	92校	140校	163校
中学校	12校	25校	29校
高等学校	9校	20校	14校

平和講話実施総数(回数)

小学校 90校(91回) 中学校 12校(13回)

高等学校 6校(10回) 特別支援学校 3校(3回)

※特別支援学校は小・中・高の各分類に分けられています。

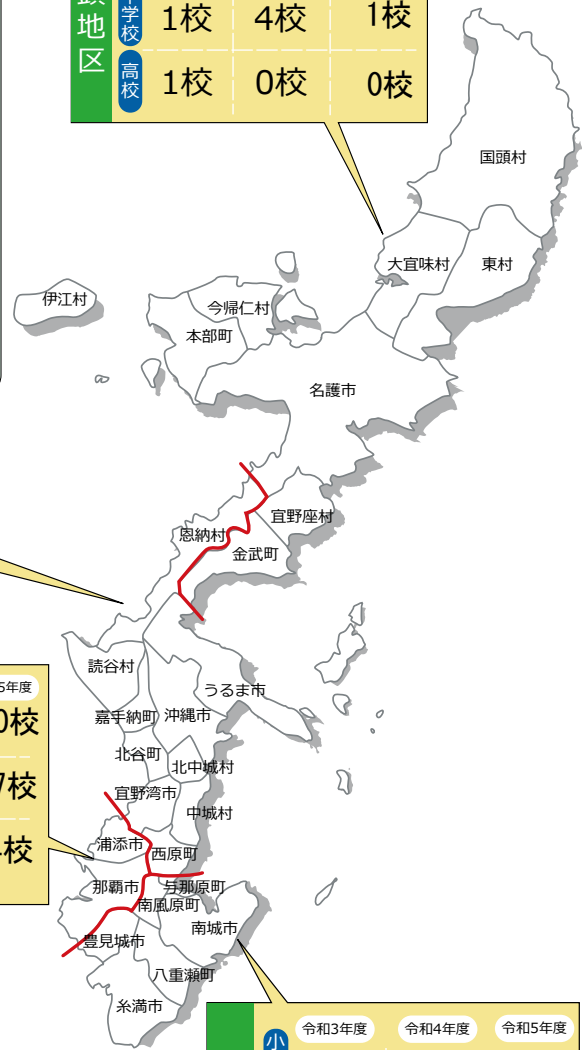
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	15校	33校	33校
中学校	3校	8校	13校
高校	6校	11校	8校

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	26校	34校	30校
中学校	4校	7校	7校
高校	2校	5校	4校

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	1校	14校	16校
中学校	0校	0校	1校
高校	0校	0校	0校

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	10校	9校	19校
中学校	1校	0校	0校
高校	0校	0校	0校

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	23校	20校	30校
中学校	1校	4校	1校
高校	1校	0校	0校



	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	17校	30校	35校
中学校	3校	6校	7校
高校	1校	4校	2校

●対象は、県立・国立・私立の小中学校とする。
(学童クラブ・適応指導教室での入館は含まない)

7 県外修学旅行団地方別入館者割合

沖縄県平和祈念資料館 令和5(2023)年度実績

県外修学旅行団の地方別入館状況

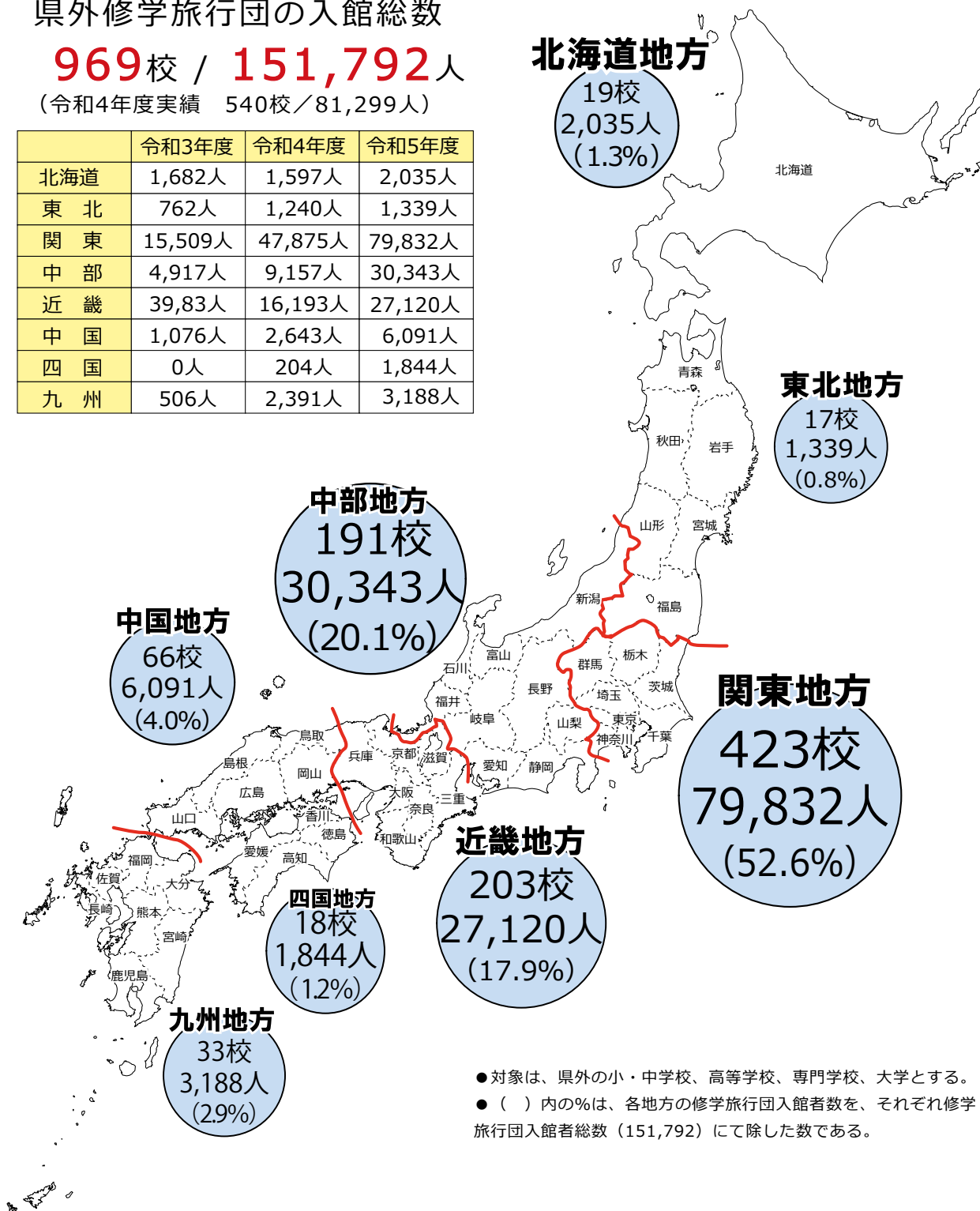


県外修学旅行団の入館総数

969校 / 151,792人

(令和4年度実績 540校 / 81,299人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
北海道	1,682人	1,597人	2,035人
東北	762人	1,240人	1,339人
関東	15,509人	47,875人	79,832人
中部	4,917人	9,157人	30,343人
近畿	39,83人	16,193人	27,120人
中国	1,076人	2,643人	6,091人
四国	0人	204人	1,844人
九州	506人	2,391人	3,188人



- 対象は、県外の小・中学校、高等学校、専門学校、大学とする。
- ()内の%は、各地方の修学旅行団入館者数を、それぞれ修学旅行団入館者総数(151,792)にて除した数である。

8 平和祈念資料館入館者数

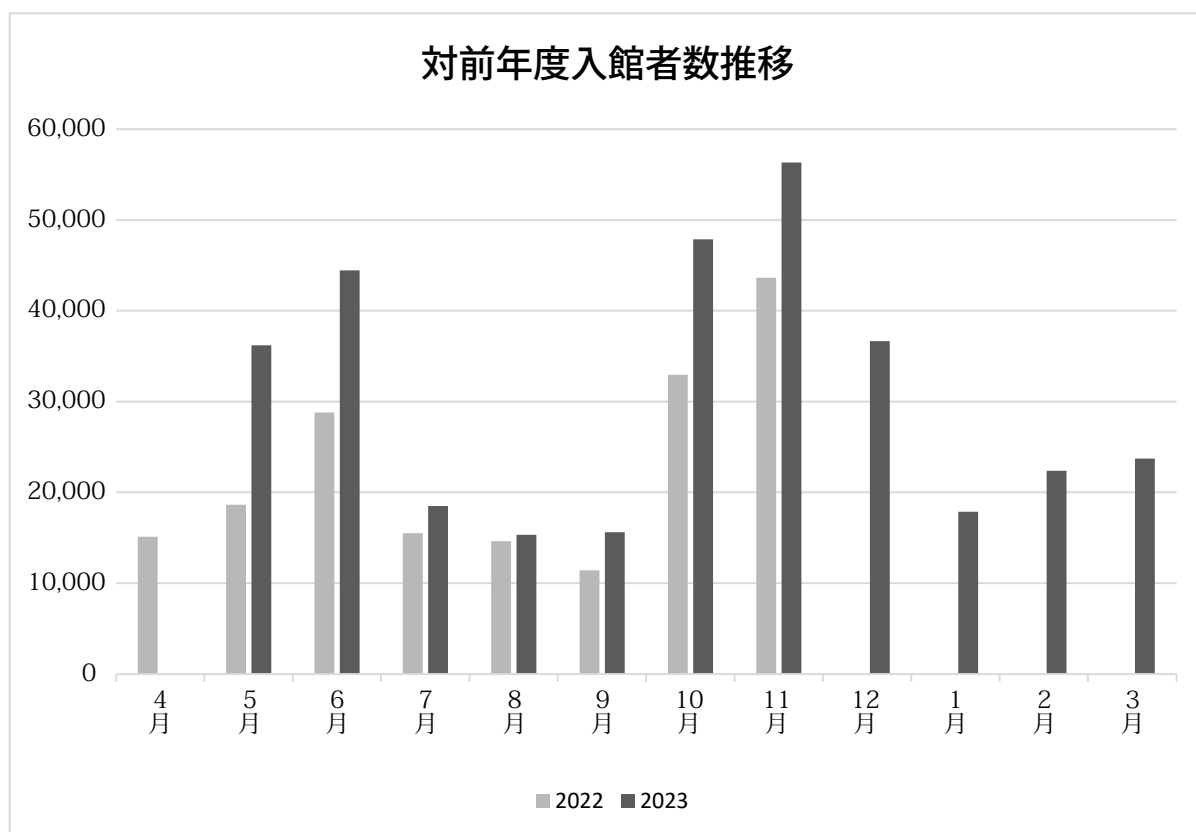
2022（令和4）年度

月	常設展示室	総入館者数 ※
	(有料)	
4月	13,351	15,121
5月	16,424	18,645
6月	22,677	28,805
7月	11,523	15,495
8月	10,791	14,634
9月	9,174	11,419
10月	32,208	32,965
11月	43,648	43,648
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	159,796	180,732

2023（令和5）年度

月	常設展示室	総入館者数 ※
	(有料)	
4月	0	0
5月	31,384	36,190
6月	34,080	44,437
7月	12,169	18,511
8月	9,897	15,316
9月	10,751	15,603
10月	45,069	47,857
11月	53,627	56,315
12月	34,210	36,673
1月	13,547	17,845
2月	17,807	22,369
3月	16,657	23,714
合計	279,198	334,830

※ 平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数。



IX 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成を目指す。

(1) 設立経過

1989年 (平成元)	5月28日	戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
	10月16日	沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。
1995年 (平成7)	4月25日	与党戦後50年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰藉事業の実施で合意。
	12月25日	平成8年度国庫予算において、マラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。 慰藉事業の内訳 ①慰霊碑建立 ②八重山平和祈念館建設 ③マラリア死没者慰籍の資料収集・編集事業 ④マラリア死没者慰籍のための追悼事業
1997年 (平成9)	3月31日	建物竣工
1998年 (平成10)	1月27日	八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月17日まで 計3回）
	5月	八重山平和祈念館基本計画策定
	11月20日	八重山平和祈念館監修委員会開催（翌年2月22日まで 計3回） 八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）
1999年 (平成11)	3月	「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
	5月28日	八重山平和祈念館開館式典
	5月29日	八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 延べ面積：520㎡
- ② 各室面積
 - 第1展示室：130㎡
 - 第2展示室：120㎡
 - 保管室：20㎡
 - 図書室：30㎡
 - 会議室：45㎡
 - 事務室：30㎡



八重山平和祈念館外観

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

	通常料金	団体料金 (※団体は20名以上)
大人	100円	70円
小人 (小学～大学生)	50円	35円

(6) 常設展の展示構成

- ①アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ②沖縄戦と八重山
- ③戦争マラリアの悲劇
- ④マラリア根絶に向かって
- ⑤戦争マラリア援護会の活動
- ⑥八重山地域における平和発信拠点を目指して

(7) 展示の内容

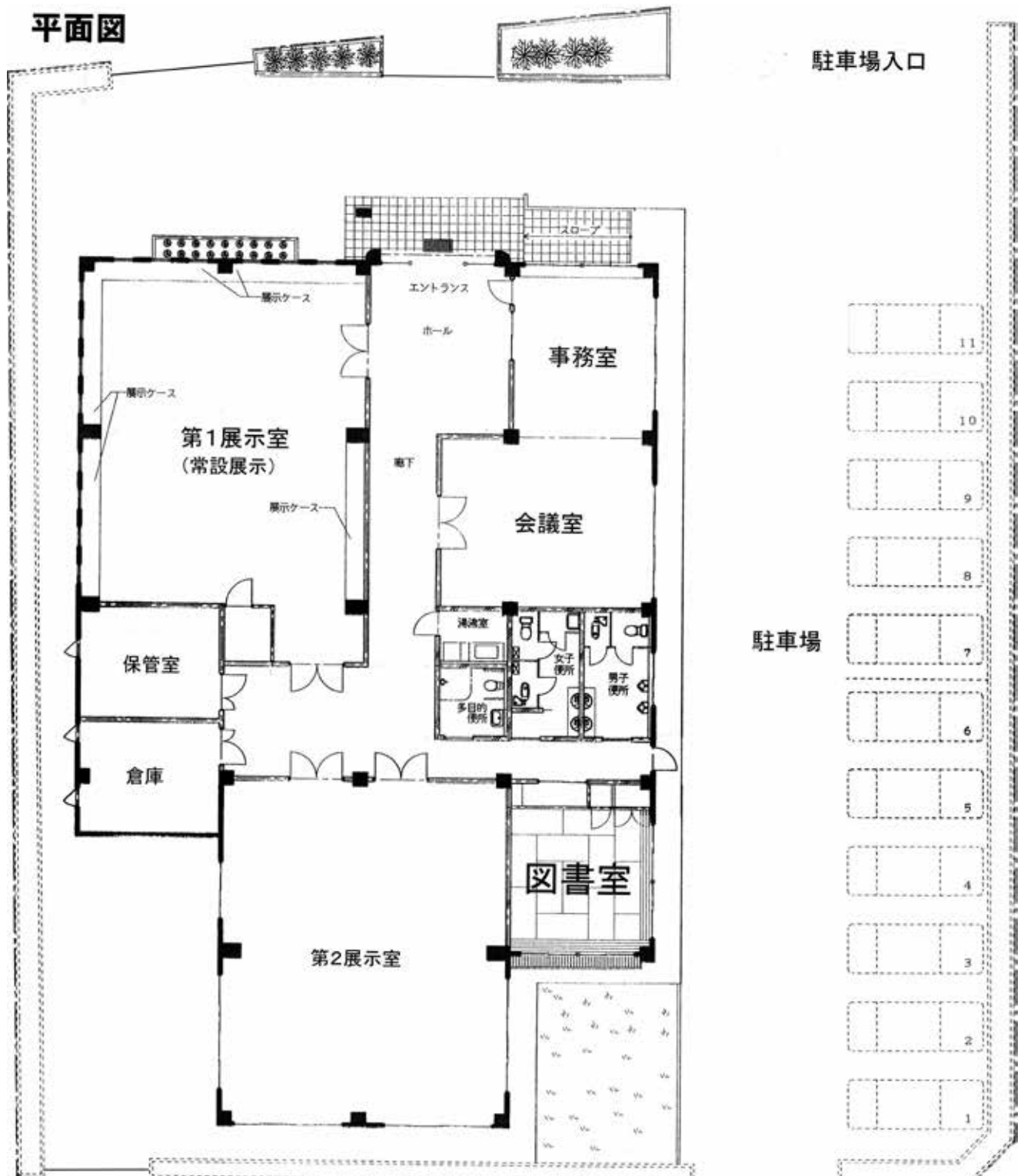
- ①写真、地図、絵のパネル等
- ②戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）



うりずんの季節には、色とりどりの花が通る人の目を楽しませ、当館の来館者を出迎えてくれます。

2 施設

平面図



3 事業概要

(1) 展示活動

① 6月企画展「八重山の戦争展」



令和5年
6/1(木)～7/2(日)

【会場】八重山平和祈念館 第2展示室
【開館】9:00～17:00
(月曜日休館)

八重山平和祈念館
沖縄県石垣市野間町7-3 TEL:0980-88-6161

ロシアのウクライナ侵攻など、人々の暮らしが戦争によって崩れていく様子をリアルタイムで感じる毎日が続いている一方、終戦から78年が経過し、戦争体験者はますます少なくなり直接体験談を聞くことも難しくなっています。

その中で、八重山の人々の生活が戦争によって壊されていった戦争の歴史と改めて向き合う機会とすることを目的に、戦争が近づき変化していく八重山の人々の生活、学校の様子、招集された島民や学徒達、戦時中の事故、戦争マラリアなど、戦時中の八重山を写真や絵、解説パネルや実物資料を用いて時系列に沿って展示しました。

6月は学校における平和学習が活発に行われる時期であり、多くの児童・生徒も来館されました。

【期 間】2023(令和5)年6月1日(木)～同年7月2日(日)

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】1,478名



展示の様子



観覧の様子

② 夏休み企画展「絵と絵本で語り継ぐ沖縄戦」

米軍が撮影した写真や記録ではなく、攻撃された側である当時の住民の視点から、戦争当時の記録・記憶と向き合う機会とすることを目的に、戦争体験者によって描かれた「戦争体験者が描く沖縄戦の絵」を中心に展示を行いました。

また、夏休み期間の子ども達の観覧を見込み、沖縄戦等に関する絵本など、多数の図書を図書コーナーに設置しました。

【期 間】2023(令和5)年8月1日(火)～9月3日(日)

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】456名



展示の様子



観覧の様子

③ 2月企画展「強制疎開—八重山と小笠原・硫黄島—」

小笠原群島・硫黄島列島の強制疎開から 80 年となる節目に際し、同じく強制疎開の記憶が強く残る八重山と小笠原・硫黄島双方の戦時下における記録や映像、体験者の証言を併せて展示しました。

【期 間】2024（令和6）年2月1日（木）～3月3日（日）

【場 所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】592 名



展示の様子



観覧の様子

(2) 平和教育活動

① 初任者教諭対象見学説明会

平和学習の場として当館を活用いただくことを目的として、八重山地域内中学校の初任者教諭及び初任者指導教諭を対象とした見学説明会を実施しました。7名の先生方にご参加いただき、当館の設立経緯、利用手続き、八重山の戦争、常設展示の解説を行いました。

【開催日】2023（令和5）年8月1日（火）

※6月実施予定であったが、台風の影響により延期実施となりました。



説明会の様子

②慰霊の日アニメビデオ上映会

6月23日慰霊の日に、戦争に関するアニメの上映会（上映作品『石の声』『かんからさんしん』）を実施しました。

当日は常設展示が入場無料ということもあり、児童・生徒から大人の方まで幅広く多くの方々が来館されました。

【開催日】2023（令和5）年6月23日（金）

【観覧者】約80名



上映会の様子

③第33回「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

八重山会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を行いました。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧しておりました。

【期間】2023（令和5）年7月12日（水）～21日（金）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】147名



展示の様子



観覧の様子

(3) 調査研究活動

①戦争体験者の証言収集

氏名	生まれ年	出身地	備考
田本 徹	昭和12年	石垣市平得	戦時の体験や戦争マラリアについて

(4) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会 八重山平和祈念館部会

八重山平和祈念館の運営状況の報告を行うとともに、今後の運営活動について議論・意見交換を行うため、同部会を開催しました。

【開催日時】2023（令和5）年8月23日（水）

【場 所】八重山平和祈念館会議室

【出席者】（運営員）里井洋一部会長、平良正栄委員、玉城律子委員

（本館）前川早由利館長、新垣光史学芸班長、

（分館）比嘉丞分館長、上原峻斗主任、綿貫円・鈴木理紗（学芸員：会計年度任用職員）



協議会部会の様子

(5) 共催事業：第17回平和コンサート

【主催】八重山戦争マラリア遺族会

【日時】2023（令和5）年11月12日（日）14時～

【場所】石垣市民会館 中ホール

【演 目】「忘勿石」独唱、リコーダー合奏、ギター独奏、
テノール独唱、バリトン独唱、トランペット独奏、
唄・琴・三線 他

【入場者】約250名



平和コンサートポスター

X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動紹介

沖縄県平和祈念資料館友の会（以下、「友の会」という）は、沖縄県平和祈念資料館設立理念をふまえ、学校及び地域における平和学習支援活動を通して、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えるとともに学習会等（平和講話、戦跡フィールドワーク、講演会、オンライン平和講話、研修会）の活動を行っている。

活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他



平和講話の講師の皆さん
(写真提供：南城市立大里中学校)

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行工程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんので、ご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は、原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体について、事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

内 容	協 力 金
県内学校及び地域における平和学習支援	1回につき 5,000円
平和講話	1回につき 15,000円
ポイントガイド	1回につき 5,000～7,000円（時間により変動）
バス乗車	1回につき 10,000円
その他	要相談

*協力金は、終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして、沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 講話・ガイド活動状況

団 体	実施件数	(前年度比)	実施人数	(前年度比)	派遣講師	(前年度比)
高等学校	47	(-1)	9067	(-874)	64	(-4)
中学校	25	(10)	3214	(466)	36	(18)
小学校	13	(0)	4997	(1632)	13	(-2)
その他	25	(4)	524	(37)	25	(5)
合計	110	(13)	17802	(1261)	138	(17)

5 2023（令和5）年度 活動内容

（1）第18回友の会定期総会・平和講話会

日 時：2023（令和5）年8月20日（日）
12：00～14：30

場 所：沖縄県平和祈念資料館祈念ホール

内 容：

①総 会 12：00～12：30

参加者：10名

②平和講話会 13：00～14：30

講 話：「広島市の被爆体験伝承者 山岡美和子さん（被爆2世）による講話」

講 師：山岡美和子さん（広島市の被爆体験伝承者）

参加者：60名



友の会定期総会

（2）平和学習フィールドワーク

ア 「浦添市城間アイテムポケットとマチナト飛行場」

日 時：2023（令和5）年4月29日（土） 10：00～13：00

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：沖縄戦で日米両軍の激しい攻防が繰り返された浦添市城間地域のアイテムポケットと呼ばれた地域や日本軍陣地壕、住民避難壕、軍馬退避壕、爆発弾痕の残る戦前の破風墓などを巡りながら、戦争遺跡について学習する。

参加者：80名



イ 「首里城周辺の埋没した戦跡壕を巡る」

日 時：2023（令和5）年5月21日（土） 10：00～13：00

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会 後援：養秀同窓会

概 要：戦時中、首里城跡周辺に日本軍が構築した各司令部壕（第32軍司令部壕、第5砲兵隊司令部壕、第62師団司令部壕）や学徒隊壕（一中壕、留魂壕）、特設警備隊壕（安国寺の壕）などを巡りながら、埋没した戦跡壕について学ぶ。

参加者：100名



XI 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年条例第11号）

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第19条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定等〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

2 知事は、前項の規定による選定をしようとするときは、あらかじめ、平和の礎指定管理者制度運用委員会の意見を聴かなければならない。

3 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消そうとする場合に準用する。

〔平和の礎指定管理者制度運用委員会〕

第17条 この条例の規定に基づく諮問に応じて調査審議を行わせるため、平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）を置く。

2 運用委員会は、この条例に定めるもののほか、平和の礎に係る指定管理者の選定及び指定管理者が行う平和の礎の管理に関する重要事項について、知事の諮問に応じて答申し、又は建議することができる。

3 運用委員会は、委員4人以内で組織する。

4 委員は、学識経験のある者その他知事が適当と認める者のうちから、知事が任命する。

5 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 8 前各項に定めるもののほか、運用委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第 18 条 知事は、第 16 条第 1 項の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

- 2 前項の規定は、法第 244 条の 2 第 11 項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

第 19 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前 3 号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第 20 条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第 21 条 指定管理者は、毎年度終了後 30 日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

第 22 条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

- 2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第 23 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成 12 年 3 月 31 日全部改正（平成 12 年 4 月 1 日施行）、平成 17 年 10 月 26 日一部改正（平成 18 年 4 月 1 日施行）、平成 31 年 3 月 29 日一部改正（令和元年 10 月 1 日施行）、令和 5 年 3 月 31 日一部改正（令和 5 年 4 月 1 日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大人	300円	1人につき 240円
	小人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大人	100円	1人につき 70円
	小人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第6条、第7条関係）

1 施設使用料

区 分	単 位	使 用 料
平和祈念資料館 (分館を除く。)	ホ ー ル	1時間につき 1,570円
	展 示 室	1日につき 4,540円
	大会議室	1時間につき 620円
	中会議室	1時間につき 430円
	小会議室	1時間につき 190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき 100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合の使用料の額は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

(平成 12 年規則第 87 号)

〔趣旨〕

第 1 条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成 12 年沖縄県条例第 11 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第 2 条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後 4 時 30 分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第 3 条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、第 1 号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

(1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和 49 年沖縄県条例第 42 号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第 2 条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1 月 1 日から同月 3 日まで

(3) 年末休館日 12 月 29 日から同月 31 日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第 4 号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第 4 条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第 1 に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第 1 号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第 5 条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第 8 条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第 2 条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 19 第 1 項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前 6 号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第 2 号、第 3 号及び第 7 号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第 2 号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第 1 項第 4 号、第 5 号及び第 6 号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第 6 条 条例第 6 条第 1 項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第 3 号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き 2 日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の 6 月前から 1 週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の 3 月前から 3 日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書(第4号様式。以下「使用許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書(第5号様式)に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書(第6号様式)を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書(前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。)を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届(第7号様式)を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

(1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。

(2) 国又は地方公共団体が使用するとき。

(3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

(1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。当該使用料の全額

(2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。当該使用料の5割

(3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。当該使用料の5割

2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書(第8号様式)を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

(1) 沖縄県が使用するとき。免除

(2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体(以下「国等」という。)が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書(第9号様式)を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書(第10号様式)を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第 13 条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

第 14 条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
- (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
- (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
- (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

第 15 条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
- (2) 騒音又は大声を発生し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
- (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
- (5) 許可された場所以外の場所への立入り
- (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
- (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
- (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第 16 条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第 17 条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第 18 条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第 11 号様式）又は資料寄託申請書（第 12 号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第 19 条 知事は、前条第 1 項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第 13 号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第 20 条 第 18 条第 1 項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第 21 条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第 22 条 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第 14 号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第 23 条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第 15 号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第 24 条 第 22 条第 1 項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第 25 条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前 2 項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第 26 条 条例第 15 条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第 16 号様式）によるものとする。

2 条例第 15 条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

(5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔平和の礎指定管理者制度運用委員会の組織等〕

第 27 条 平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、運用委員会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

4 運用委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

5 運用委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

6 運用委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 特定の事件につき特別の利害関係を有する委員は、運用委員会の決議があつたときは、当該事件に係る議決に参加することはできない。

8 運用委員会は、必要があると認めるときは、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

9 運用委員会の行う指定管理者の選定に係る調査審議の手続は、公開しない。

10 運用委員会の庶務は、子ども生活福祉部女性力・平和推進課において処理する。

11 その他運用委員会の運営に関し必要な事項は、会長が運用委員会に諮って定める。

〔事業報告書〕

第 28 条 条例第 21 条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

(1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況

(2) 業務に係る収支状況

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第 29 条 条例第 22 条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員 15 人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。

3 運営協議会の委員の任期は 2 年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

5 会長は、会務を総理し、運営協議会を代表する。

- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。
- 8 運営協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 9 運営協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 10 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 11 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 12 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 13 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 14 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第30条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）、令和元年9月13日一部改正（令和元年10月1日施行）、令和5年3月31日一部改正（令和5年4月1日施行）、令和5年4月7日一部改正（令和5年5月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種 別	品 目	単 位	使用料		
ホ ー ル	舞台器具	演台	1台	300円	
		司会者卓	1台	150円	
		花台	1台	100円	
		金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円	
		ワイヤレスマイク	1本	450円	
		カセットテープレコーダー	1台	300円	
		CDプレーヤー	1台	500円	
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円	
		ブルーレイディスク・DVDレコーダー	1台	500円	
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円	
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円	
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円	
		アッパーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	360円	
		ロアーホリゾンライト（150W×60灯）	1列	300円	
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円	
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円	
	会 議 室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
			ワイヤレスマイク	1本	450円
カセットテープレコーダー			1台	300円	
CDプレーヤー			1台	400円	
ブルーレイディスクプレーヤー			1台	400円	
その他		ビデオプロジェクター	1台	1,260円	
展 示 室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円	
		展示ケース（小）	1台	500円	

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区 分	単 位	使 用 料
平和祈念資料館 （分館を除く。）	ホ ー ル	1時間につき 2,120円
	展 示 室	1時間につき 890円
	大会議室	1時間につき 700円
	中会議室	1時間につき 460円
	小会議室	1時間につき 110円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき 100円

第1号様式（第4条関係）
表

年 月 日 観 覧 券 大 人 (個 人) 当日限り有効 300円 沖縄県平和祈念資料館

裏

← 5.75センチメートル →

ご 注 意

- 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。
- 本券の払い戻しはいたしません。
- 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。
- 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
- 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。

11.5センチメートル

表

年 月 日 観 覧 券 大 人 (団 体) 当日限り有効 240円 沖縄県平和祈念資料館

裏

← 5.75センチメートル →

ご 注 意

- 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。
- 本券の払い戻しはいたしません。
- 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。
- 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
- 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。

11.5センチメートル

表

年	月	日
観	覧	券
小	人	(個人)
当日限り有効		150円
沖縄県平和祈念資料館		

裏

← 5.75センチメートル →	
ご 注 意	
○本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。	○本券の払い戻しはいたしません。
○他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。	○常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
○常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。	
↑ 11.5センチメートル ↓	

表

年	月	日
観	覧	券
小	人	(団体)
当日限り有効		100円
沖縄県平和祈念資料館		

裏

← 5.75センチメートル →	
ご 注 意	
○本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。	○本券の払い戻しはいたしません。
○他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。	○常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
○常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。	
↑ 11.5センチメートル ↓	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 100円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 100円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 70円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 70円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 50円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 50円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日 観 覧 券 35円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 35円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

※ この観覧券の表には、それぞれ観覧する平和祈念資料館の背景写真が写されます。

観 覧 料 免 除 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

次のとおり 沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。） の観覧料の免除を申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

観覧の目的	
観 覧 者 数	人
観覧の日時	年 月 日 () 時 分から 時 分まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住所

団体名

代表者氏名

電話番号

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
展 示 室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
大会議室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
中会議室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
小会議室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
八重山平和 祈念館展示 室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
使用 附属設備					
入 場 料	無 料 有 料 (円)	指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員 名	
使用責任者 氏 名			使用責任者 の電話番号		
	施設使用料	附属設備 使用料	冷房使用料	使 用 料 減 免 額	計
使 用 料	円	円	円	円	円

(注) 太線の枠内は、記入しないでください。

第4号様式（第7条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可書

第 号
年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで申請のあった沖縄県平和祈念資料館の使用については、次のとおり許可します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
展 示 室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
大会議室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
中会議室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
小会議室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
八重山平和 祈念館展示 室	年 月 日 ()	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ()	午後・午前	時 分		
使 用 附 属 設 備					
入 場 料	無 料 有 料 (円)	指定席	自由席	入場予定人員	名
		整理券	会員券		
使用責任者 氏 名			使用責任者		
			の電話番号		
使 用 料	円				
許可の条件	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則を遵守すること。				

沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

次のとおり変更使用したいので申請します。

催物の名称				
許可年月日 及び許可番号		年 月 日 第 号		
変更の理由				
変更事項		変更前		
		変更後		
※	使用料	納 付 済 額 円	追 加 徴 収 額 円	変 更 後 の 額 円
	備 考			

- (注) 1 使用許可書を添付すること。
2 太線の枠内は、記入しないでください。

第6号様式（第8条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで申請のあった沖縄県平和祈念資料館の使用変更については、次のとおり許可します。

催物の名称			
許可年月日 及び許可番号	年	月	日 第 号
変更事項	変更前		
	変更後		
使用料	円		
備考			

沖縄県平和祈念資料館使用取消届

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

次のとおり使用の取消しをしたいので届け出ます。

催物の名称					
使用目的					
許可年月日 及び許可番号	年	月	日	第	号
許可を受けた 使用期間	年	月	日 ()	時	分から
	年	月	日 ()	時	分まで
使用取消 の理由					
※ 使用料	既納使用料	返還割合	返還額	備 考	
	円	円	円		

- (注) 1 使用許可書を添付すること。
2 太線の枠内は、記入しないでください。

沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

次のとおり使用料の返還を申請します。

催物の名称					
許可年月日 及び許可番号	年	月	日	第	号
使用期間	年	月	日 ()	時	分から
	年	月	日 ()	時	分まで
返還申請 の理由					
既納使用料	円	返還申請額		円	
備考					

(注) 使用料領収書を添付すること。

沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者
住 所
団 体 名
代表者氏名
電 話 番 号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	年 月 日 () 時 分から 年 月 日 () 時 分まで
減額・免除を申請する理由	
備 考	

(注) この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

次のとおり使用料を減額・免除します。

催物の名称						
使用目的						
催物の内容						
使用期間	年 月 日 ()		時 分		分から分まで	
	年	月	日 ()	時	分	
減額・免除	減免前の 使用料	円	減額・ 免除額	円	減免後の 使用料	円
備考						

資 料 寄 贈 申 込 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 込 者
住 所
氏 名
電 話 番 号

次の資料を八重山平和祈念資料館（分館を除く。）に寄贈いたします。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	

寄 贈 受 諾 証

申込みのあった資料の寄贈を受諾します。

ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。

年 月 日

沖縄県知事 印

第12号様式（第18条関係）

資 料 寄 託 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

氏 名

電 話 番 号

次の資料を八重山平和祈念資料館（分館を除く。）に寄託いたします。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

第13号様式（第19条関係）

寄 託 物 受 領 証

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで寄託申請のあった資料を受領しました。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

資 料 貸 出 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者
住 所
氏 名
電 話 番 号
保 証 人
住 所
氏 名
電 話 番 号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）の資料について、貸出しを申請します。
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸出申請理由	

資 料 貸 出 許 可 証

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸 出 条 件	<p>1 貸出申請者は、県内に居住又は住所を有するもので県内に身元 確実な保証人がいなければならない。</p> <p>2 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出 なければならない。</p> <p>3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはなら ない。</p> <p>4 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合 は、遅延理由書を提出しなければならない。</p> <p>5 貸出申請者は、貸出資料の原形に変更を加えてはならない。</p> <p>6 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しく はき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって 損害を賠償しなければならない。</p>

沖縄県知事 殿

申請者 所 在 地
団体の名称
代表者の氏名

指 定 管 理 者 指 定 申 請 書

平和の礎の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例第15条の規定により申請します。

添付書類

- 1 事業計画書
- 2 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- 3 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）
- 4 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- 5 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- 6 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- 7 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4判とする。

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項

(目的)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の所蔵する資料（以下「貸出資料」という。）の館外貸出しを許可するにあたって必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において、貸出資料とは沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオをいう。各資料の内容については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料とは、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（以下「規則」という。）第22条で定める資料であり、実物資料20種類をいう（別紙1）。
- (2) 沖縄戦写真パネルとは、写真の複製パネルをいう（別紙2）。
- (3) 沖縄戦の絵パネルとは、日本放送協会から寄贈された沖縄戦体験者が描いた絵の複製パネルをいう（別紙3）。
- (4) 児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネルとは、資料館が毎年主催している児童・生徒の平和メッセージ展の作文、詩及び図画部門において最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をいう。
- (5) 世界人権宣言絵画パネルとは、当館が制作した世界人権宣言に関する絵画パネルをいう（別紙4）。
- (6) 平和のウムイ地域版セットとは、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により制作したDVD及びパネル、証言集をいう（別紙5）。
- (7) 平和学習キットとは、学校等で活用される平和学習の教材としての貸し出しキットの複製資料及びパネル、絵本、紙芝居をいう（別紙6）。
- (8) 戦争体験証言ビデオとは、沖縄戦体験者の証言を収録し複製したビデオ及びDVD、集団疎開及び捕虜収容所での様子を収録し複製したビデオ及びDVD、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により証言を収録し複製したDVDをいう。

(貸出許可の申請)

第3条 資料の館外貸出しの許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、資料貸出申請書により、沖縄県平和祈念資料館長（以下「資料館長」という。）に申請しなければならない。申請書の様式については、次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第22条に定める資料貸出申請書（第14号様式）
 - (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル 沖縄県平和祈念資料館資料貸出申請書（第1号様式）
 - (3) 平和のウムイ資料 平和のウムイ資料貸出申請書（第2号様式）
 - (4) 平和学習キット 平和学習キット貸出申請書（第3号様式）
 - (5) 戦争体験証言ビデオ 戦争体験証言ビデオ貸出申請書（第4号様式）
- 2 申請者は、貸出日の2週間前までに資料貸出申請書をFAX等で提出しなければならない。
- 3 申請者は、申請の際に身元確実な保証人がいなければならない。ただし、申請者が地方公共団体等の代表者である場合にはその限りではない。

(貸出の許可)

第4条 資料の貸出は、資料館が適切と認める公共団体及び任意団体が、沖縄戦の実相又は教訓を伝え、平和の発信に資する学習又は展示活動等で使用することに対して許可する。

- 2 戦争体験証言ビデオについては、個人が沖縄戦に関する学習を目的に申請する場合には、許可することができる。

(許可証の交付)

第5条 資料館長は、申請を受けて資料の貸出を許可したときには、申請者に対し、貸出許可証を交付する。許可証については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第23条の資料貸出許可証（第15号様式）
- (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ 沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証（第5号様式）

2 前項の許可証には条件を付することができる。

(貸出期間)

第6条 館外への貸出期間は、平和のウムイ地域版セット及び平和学習キット、戦争体験証言ビデオについては最長で2週間、それ以外については最長で1ヶ月とする。ただし、資料館館長が必要であると判断した場合にはその限りではない。

(貸出数量)

第7条 一度の申請において、貸出可能な数量は次の各号に定める。

- (1) 沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネルについては、20点以内とする。
- (2) 平和のウムイ地域版セット及び平和学習キットについては、2点以内とする。
- (3) 戦争体験証言ビデオについては、5本以内とする。

(費用負担)

第8条 資料の貸出及び返却に要する費用は、全て申請者がこれを負担する。

(貸出資料の保管及び禁止事項等)

第9条 第4条第2項の規定により貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)は、貸出を受けた者(以下「利用者」という。)が、責任をもって保管しなければならない。

- 2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。
- 3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡または貸与してはならない。
- 4 利用者は、貸出資料の複製または原型に変形を加えてはならない。
- 5 利用者は、貸出資料を紛失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

(貸出資料の返還)

第10条 利用者は、貸出資料を貸出期限内に確実に返還しなければならない。

- 2 利用者は、平和祈念資料館の都合により貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。
- 3 利用者が貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- 4 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとすること。

(報告書の提出について)

第11条 利用者は、貸出資料の利用状況について、貸出資料利用報告書(第6号様式)を提出しなければならない。ただし、戦争体験証言ビデオについてはその限りではない。

(許可の取り消し)

第12条 資料館館長は、利用者がこの要項に違反したとき、または許可証に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取消により生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

附則

- ・この要項は平成29年4月1日から施行する。
- ・令和2年8月3日一部改正する。
- ・令和5年9月21日一部改正する。第3条4項を削除

平和祈念資料館資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名：

電話番号：

沖縄県平和祈念資料館の資料について、貸出しを申請します。

種 別	沖縄戦の写真パネル 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品	・ ・	沖縄戦の絵複製パネル 世界人権宣言パネル
資料名			
数 量	点 (20点以内)		
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで		
申請理由			

<別紙>

貸出申請資料明細

NO	種 別	資 料 名	数	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

平和のウムイ地域版セット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名：

電話番号：

子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望する地域版セットに○をつけて下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・北部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・中部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・那覇 (南部) 地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・久米島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・宮古島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・石垣島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 2 点、証言集 1 2 点) ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする (借用及び返却の日を含む)
申請理由	

平和学習キット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名：

電話番号：

平和学習キットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望するキットに○をつけて下さい。 ・平和学習キットA「戦争とくらし」19点 () ・平和学習キットB「沖縄戦の記憶」20点 () ・平和学習キットC「沖縄戦の記録写真」30点 () ・平和学習キットD「みんななかよく」絵本1点・紙芝居2点 ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする(借用、返却の日を含む)
申請理由	

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者：)

戦争体験証言ビデオについて、貸出しを申請します。

種 別	<p>希望するビデオの番号を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄戦体験証言ビデオ () ・平和のウムイDVD () ・日系二世がみた戦中・戦後DVD () ・戦争体験者証言多言語吹き替え映像「DVD1名収録」 1枚で貸出 () ・住民の見た 沖縄戦証言「多言語ブルーレイディスク70名収録」 2枚1組(セット)で貸出 ()
本 数	本 (5本以内を原則とする)
期 間	<p>令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで</p> <p style="text-align: center;">*期間：2週間以内を原則とする</p>
申請理由	

沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長

印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
資 料 名	別紙の通り
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 貸出資料は、貸出申請者が責任をもって保管しなければならない。 2 貸出申請者は、貸出資料を申請理由以外の目的で使用しないこと。 3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を複製又は原型に変更を加えてはならない。 5 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原型に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 6 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。 7 貸出申請者は、平和祈念資料館の都合により貸出資料を返還する場合資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。 8 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。 9 貸出申請者は、貸出資料を返還する際には、専門的技量を有する輸送業者にて輸送しなければならない。 10 貸出申請者は、貸出資料の利用状況について、沖縄県平和祈念資料館利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。

<別紙>

貸出許可資料明細

NO	資料種別	資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		
			点	

貸出資料利用状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 令和 年 月 日
 団体名
 代表者
 住 所
 電 話
 担当者

次のとおり、沖縄県平和祈念資料館貸出資料の利用状況を報告します。

利用目的 (行事名等)			
借用期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()		
利用場所		利用者数 (参観者数)	
借用資料	1 沖縄戦実物資料	(点)
	2 沖縄戦写真パネル	(点)
	3 沖縄戦の絵パネル	(点)
	4 児童・生徒の平和メッセージ作品	(点)
	5 世界人権宣言パネル	(点)
	6 平和のウムイ地域版セット	(セット)
	7 平和学習キット	(セット)
利用状況 および感想			

*利用状況写真、参考資料などがあれば添付し、資料返却時または返却後 1 週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1
 TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

資料貸出申請

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住所
氏名
電話番号

保証人
住所
氏名
電話番号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く）

の資料について、貸出しを申請します。

八重山平和祈念館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保管期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
貸出申請理由	

資料貸出許可証

令和 年 月 日

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇学校

校長 〇〇 〇〇 殿

沖縄県知事 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	令和 年 月 日（ ） から 令和 年 月 日（ ） まで
貸 出 条 件	<ol style="list-style-type: none">1 目的以外に使用しないこと。2 貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。3 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。4 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。5 貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。

<別紙①>

貸出許可資料明細

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇学校

校長 〇〇 〇〇 殿

沖縄県知事 玉城 康裕
(沖縄県平和祈念資料館)

NO	資料名	実物資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		

5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項

(趣旨)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則第22条に基づき、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用（以下「利用等」という。）の許可に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項における用語の意義は次の各号に定めるところによる。

- (1) 資料 資料館が保管する原資料等および写真資料をいう。
また資料館の建物自体の内外観もこれに含むものとする。
 - (2) 撮影 資料を被写体として撮影した静止画（スチル写真）や動画（映画、テレビ、ビデオ等）を記録することをいう。
 - (3) 複製 資料を被写体として、複写、印刷物、レプリカ等を作成することをいう。
 - (4) 掲載 資料の複製を紙媒体に掲載することをいう。
 - (5) 放映 資料の複製を電子媒体で放映することをいう。
 - (6) 利用 講演会、朗読会、コンサートなどにおいて資料を利用することをいう。
- 2 第1項の第1号及び第3号については、資料館が保管する電子データを提供することを含むものとする。

(許可の基準)

第3条 資料館長（以下「館長」という。）は、沖縄戦の実相を伝え、平和の構築に資する使用であると認められた場合において資料の利用等を許可する。

2 次の各号に掲げる事項にあたる場合は許可しない。

- (1) 資料の保存上、悪影響の生ずる可能性がある場合。
- (2) 営利目的等、対価を得て、一部もしくは限られた範囲のみの使用が認められる場合。
- (3) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (4) 過去に許可条件に違反した事実があると認められる場合。
- (5) その他、資料館の設立理念と合致しないなど許可することが適当でない認められる場合。

(許可申請)

第4条 資料の利用等の許可を希望する者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書（第1号様式）に事業の趣旨や主体者、事業内容を記載した企画書等を添付して館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

ただし申請期日については館長が特に認める場合において、この限りではない。

(審査および決定)

第5条 前条の規定による申請があった場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨および内容
- (2) 事業の主体者
- (3) その他必要な事項

(許可書の交付)

第6条 館長は、資料の利用等を許可する決定を行ったときは、申請者に対し沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書（第2号様式）を交付するものとする。

2 館長は、必要と認められる場合は、許可書に条件を付することができる。

(報告書の提出)

第7条 申請者は資料の利用等の完了後、速やかに使用状況報告書(第3号様式)に成果品を添えて、資料館に提出しなければならない。

(費用の負担)

第8条 資料の利用等に要する費用は、申請者が全てこれを負担する。

(禁止事項)

第9条 資料の利用等の許可を受けた者は次の各号に掲げる事項をしてはならない。

- (1) 申請書に記載した目的以外に使用すること。
- (2) 利用等の許可を得た資料を転貸しすること。
- (3) 資料等の使用により利益を得ること。

(許可の取り消し)

第10条 館長は、資料の利用等の許可を受けた者がこの要項に違反したとき、または許可書に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

附則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
（担当者名： ）
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

下記により保管資料の（ 撮影・複製・掲載・放映・利用 ）を許可くださるようお願いいたします。

申請にあたっては、沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項の規定を遵守し、著作権等貴館の権利を侵害するような行為を行わないことを誓約いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 4 利益発生の有無 有 ・ 無
- 5 添付書類（企画書等、事業の内容がわかるもの）
- 6 提供成果品

〈注意事項〉

*申請の際には返信用封筒（切手貼付）を添えて、利用開始14日間前までに申請すること。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書

沖平第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長 印

令和 年 月 日付けで申請のあった保管資料の（ 撮影 ・ 複製 ・ 掲載 ・ 放映 ・ 利用 ）について、下記のとおり許可します。

記

- 1 資料名

- 2 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）

- 3 提供成果品

*許可条件

- ①上記の目的以外に使用しないこと。
- ②資料を利用する際「沖縄県平和祈念資料館提供」と明記すること。
- ③児童・生徒平和メッセージは、作品オリジナルのスタイルを変更しないこと。
- ④写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ⑤使用目的完了後はすみやかに成果品および「使用状況報告書」を提出すること。
- ⑥資料に記載されている情報のうち個人情報の保護に十分に配慮し、違法または人権を侵害すると判断される場合には文書内容をそのまま公にしないこと。
- ⑦資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- ⑧前項に違反した行為があったときは、許可を取り消すことがある。この場合、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

使用状況報告書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
（担当者名： ）
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

令和 年 月 日付け沖平第 号で許可された保管資料の使用状況について、
下記のとおり報告いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 4 使用完了日
- 5 提供成果品

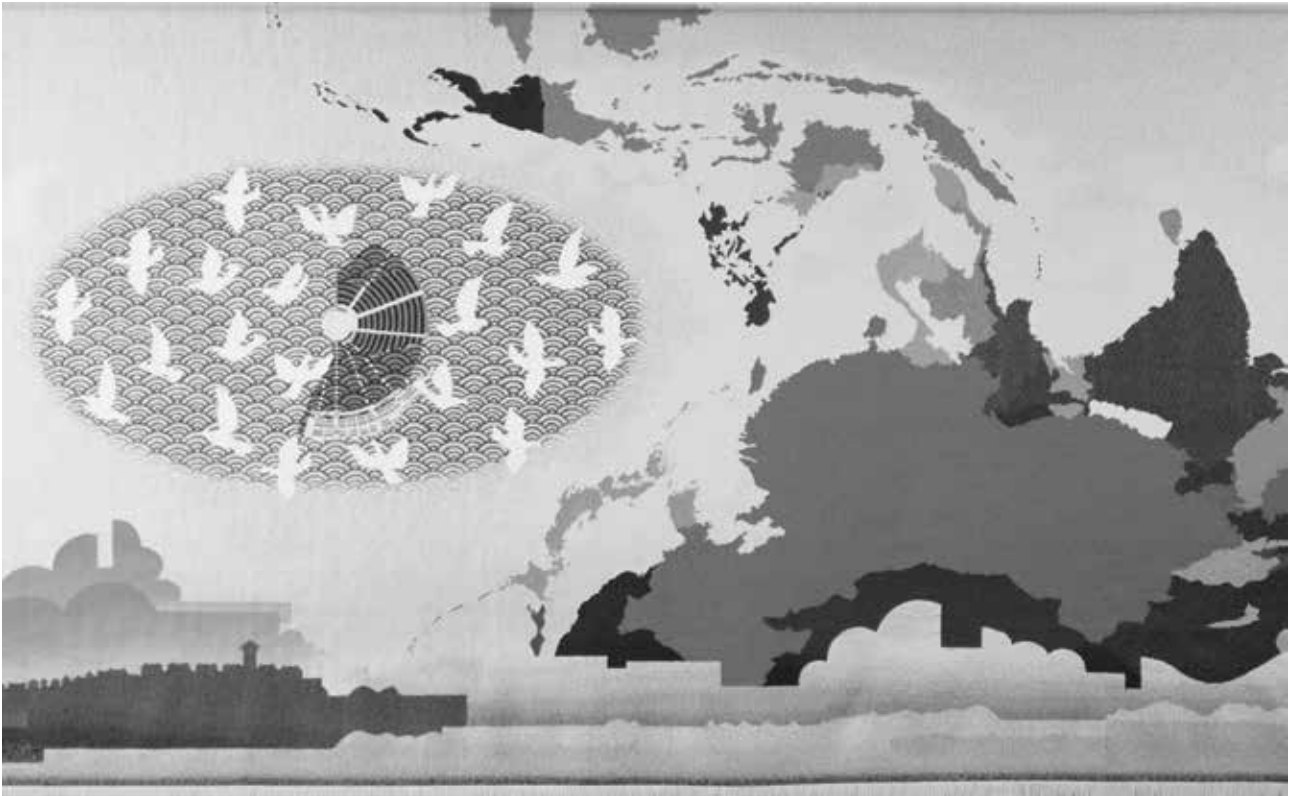
〈備考〉

- ①利用の際を記録した写真や新聞記事、参考資料等があれば添付すること。
- ②写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ③資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

Ⅺ 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

年度別	有料観覧											無料観覧者	観覧者数	開館日数	一日平均観覧者数	備考		
	観覧料種別			観覧料種別			出身別			計								
	大人個人(%)		小人個人(%)	大人団体(%)		小人団体(%)	県内	県外	外国									
	大人個人(%)	小人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	大人団体(%)	小人団体(%)												
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)							18,468	18,468	248	74				
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)							18,091	18,091	306	59				
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)							19,494	19,494	307	72				
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)							34,851	34,851	220	158				
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)							53,708	53,708	305	176				
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)		3,506	22,746	176			53,428	53,428	307	174				
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)		33,671	24,797	310			58,778	58,778	304	199				
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)		33,709	38,030	522			72,261	72,261	307	240				
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)		34,795	40,029	685			75,509	75,509	307	252				
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)		32,646	46,335	1,210			80,191	80,191	255	326				
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)		34,993	60,371	1,561			96,925	96,925	306	326				
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)		34,783	63,581	1,780			100,144	100,144	306	335				
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)		33,298	83,019	2,061			118,378	118,378	306	403				
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)		32,819	95,473	2,952			131,244	131,244	306	440				
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)		27,941	84,600	3,640			116,181	116,181	307	397				
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)		22,855	74,010	3,391			100,256	100,256	306	388				
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)		20,182	64,938	3,501			88,621	88,621	305	320				
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)		17,197	61,011	3,752			81,960	81,960	307	303				
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)		15,272	62,130	3,600			81,002	81,002	310	274				
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)		13,551	62,528	3,785			79,864	79,864	310	267				
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)		45,214	104,854	4,046			154,114	154,114	308	525				
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)		26,540	121,886	3,506			151,932	151,932	311	507				
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)		20,128	153,889	2,951			176,968	176,968	310	593				
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)		15,211	151,195	2,828			169,234	169,234	312	558				
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)		12,128	160,724	2,585			175,437	175,437	295	611				
											2,307,039	104,723	2,411,762					



平和祈念ホールの緞帳「アリア沖縄」(8.0m×4.5m)
沖縄を中心にした世界地図(上下が逆になっており、沖縄とアジアの国の位置関係が一目でわかる)

沖縄戦の真相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残酷な、これほど活版にめられたものはな

と思っている

この（戦争）は、体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは、たしかに 人間です

しかし、それ以上に

戦争を許さない奴力のできるのも

私たち 人間、下はないでしようか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば、と思いつけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆずることのできない

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第24号

2024(令和6)年9月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

八重山平和祈念館(分館)

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町79番地の3

TEL/FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

印刷：有限会社アトム印刷

住所：〒901-1303 沖縄県与那原町字与那原3157-3

TEL 098-944-1355 FAX 098-944-1716

平和祈念公園案内図

Peace Memorial Park Guide Map



大型休憩舎
Large-scale Resting Facility



沖縄県平和祈念資料館
Peace Memorial Museum



沖縄平和祈念堂
The Okinawa Peace Hall

沖縄県平和祈念資料館
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文二 614-1 | 電話 098-997-3844 | FAX 098-997-3947

公益財団法人 沖縄県平和祈念財団
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL FOUNDATION
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文二 444 | 電話 098-997-2765 | FAX 098-997-2767

公益財団法人 沖縄協会 沖縄平和祈念堂
THE OKINAWA FOUNDATION THE OKINAWA PEACE HALL
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文二 448-2 | 電話 098-997-3011 | FAX 098-997-2678

北口
North Gate

中央口
Central Gate

南口
South Gate

台湾の塔
Taiwan Monument

檺太の碑
Karafuto Monument

黎明之塔
Reimei Monument

沖縄師範健児之塔
Memorial for Students
of Okinawa Education College

国立沖縄戦没者墓苑
National War Dead
Peace Mausoleum

靈域園路
Memorial Path

島守之塔
Shimamori Monument

摩文仁の丘
Mabuni Hill

平和の丘
Peace Hill

沖縄県平和祈念財団
Okinawa Peace Memorial Foundation

式典広場
Ceremony Grounds

花壇
Garden Beds

エントランス広場
Entrance Plaza

韓国人慰靈塔
War Memorial
for Koreans

第1駐車場
Parking Lot

第2駐車場
Parking Lot

多目的広場
Multi-Purpose Ground

南幹線園路
South Main Path

木道
Board walkways

散策路
Walkways

公園管理事務所
Park Superintendent's Office

平和の火
Flame of Peace

平和の礎
The Cornerstone of Peace

子供広場
Children's Playground